



当初設計

2025年度

大門1号幹線・7-2

福山市大門町一丁目 地内

道路改良工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=150.4m 道路幅員 W=20.0m 路面切削工 A=1700m ² アスファルト舗装工(表層) A=2652m ² アスファルト舗装工(基層) A= 115m ² 側溝工 L= 274.5m 縁石工 L= 440.9m 区画線工 一式 附帯工事 下水マンホール蓋版工 N=6箇所	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路改良工事（大門1号幹線・7-2）に適用する。
- ・また、本特記仕様書に「令和7年度改訂交通信号機等工事共通仕様書」（別紙）を含むものとする。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。
- ・工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- ・受注者は、工事着手に先立ち、地権者に民地への出入の位置を確認し、歩道切り下げ箇所、民地進入路の位置や勾配について監督員と協議すること。

第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ」

第7節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 関連する別途工事

- ・関連工事名：道路改良工事（大門1号幹線・7-1）
- ・工事内容：道路改良工事
- ・関連工事名：令和6年度 国道2号大門駅南交差点改良工事
- ・工事内容：交差点改良工事

第2節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：広島県警察本部、福山東警察署
- ・協議内容：信号機設備の移設、通信ケーブル配線について
- ・協議先機関名：福山市上下水道局
- ・協議内容：工事に支障となる配水管について
- ・協議先機関名：中国電力（株）
- ・協議内容：工事に支障となる電柱移設について
- ・協議先機関名：西日本電信電話（株）
- ・協議内容：工事に支障となる架空ケーブル移設、埋設ケーブルについて
- ・協議先機関名：福山ガス（株）
- ・協議内容：工事に支障となるガス管について

第3節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第4節 借地

- ・面積：100m²
- ・期間：床掘、構造物据付、埋戻しまでの期間
- ・復旧方法：借地範囲を整地して返すこと。

第5節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第6節 建設副産物について

- (1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。
 - 1 建設廃棄物処理計画書
 - ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
 - ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあつては、それを示す書類を含む）
 - ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
 - ・各処分場の現地確認写真
 - ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し
 - 2 再生資源利用計画書
 - 3 再生資源利用促進計画書
- (2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。
なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。
 - 1 再生資源利用実施書
 - 2 再生資源利用促進実施書
 - 3 建設廃棄物処理実施書
 - ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
 - ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第7節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時的積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時的積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時的積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。
- ・なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時的積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第8節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。
- ・なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第9節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間 13 日間、年末年始 6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- ・なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
 - ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第10節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 再資源化利用計画の現場掲示について

- ・受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2節 長寿命化アスファルト混合物について

- ・長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数は、「舗装設計便覧(平成18年度)P.81」に則り、室内試験からアスファルト混合物の等値換算係数を評価し、その強度などに応じた等値換算係数を道路管理者が設定したものを使用する。
- ・長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数について、表-1に従うことを確認するため、技術資料を提出すること。

表-1 長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数	
混 合 物 種	等値換算係数
密粒度アスファルト混合物(13)	1.7

第3節 信号機設備移設工について

- ・「交通信号等工事共通仕様書」（第1章 第1適用範囲）に記載されている「広島県警察本部」は「福山市福山道路・幹線道路課」と読み替える。信号機通信ケーブル配線工事の施工者は広島県警本部の信号機工事指名業者であること。（下請業者も可とする）
- ・本工事は信号機通信ケーブルを移設する工事であり、信号の現示調整は特に要しないものとする。
- ・間接工費のうち技術者間接費及び機器間接費は見込んでいない。移設に伴い適用の必要が生じる場合は、発注者と受注者との協議対象とする。
- ・「交通信号等工事共通仕様書」に記載されている（第1章 第4工事現場の管理）に記載されている「1 主任（監理）技術者の配置等」、「2 現場代理人の配置等」については、福山市建設政策課が公表している主任（監理）技術者、現場代理人の適正配置によるものとする。

第4節 福山市週休2日適用工事について

- ・本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事である。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとする。

第5節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

交通信号機等工事共通仕様書

(令和7年度改訂)

第1章 総則

第1 適用範囲

- 1 本仕様書は、広島県警察本部が発注する交通安全施設の新設、改良及び改修並びに移設等の電気・電気通信工事に適用する。ただし、灯火式道路標識に係る工事は適用外とする。
- 2 特殊な工事については、別に定める仕様書によるものとする。
- 3 設計図書及び特記仕様書に記載された事項は、本仕様書に優先するものとする。

第2 用語の定義

- 1 監督職員
監督職員とは、請負工事の施工において、その指定を受けた発注者側の職員をいう。
- 2 指示
指示とは、発注者側の発議により監督職員が請負者に対し、監督職員の所掌事務に関する方針、基準などを示し実施させることをいう。
- 3 現場代理人
現場代理人とは、請負者が施工する工事について、工事現場の管理をつかさどる総括責任者をいう。

第3 一般事項

- 1 信号設備工事（以下「本工事」という。）は、広島県契約規則、広島県建設工事執行規則、広島県土木工事共通仕様書、設計図書の最新版及び本仕様書により施工すること。
なお、本工事の工期には、検査期間として14日間を見込んでいる。
- 2 本工事の施工に関し、建設業法等に抵触する行為は厳に行わないこと。また、建設業法に違反する一括下請契約、いわゆる裏ジョイント契約その他不適切な形態により工事を実施する等契約当事者間の信頼を損なう行為は行わないこと。
- 3 本工事は、電気設備の技術基準、及びその他関係規定に適合するように施工すること。
- 4 本工事に使用する機器、材料はすべて形式指定のもの、又は同等以上のものとする。
- 5 本工事の施工に際し、設計図面と現場との確実な照査を実施し、施工目的を達成すること。
なお、照査を行う中で、疑義等が生ずる場合については、監督職員へ直ちに連絡し、事前に指示を受けること。
- 6 本工事施工に伴う道路占用協議、共架申請、河川占用許可申請、専用回線申込の手続きは、原則、発注者において行う。ただし、これらの協議又は申請に際し必要となる資料について、別途、監督職員の指示がある場合については、当該資料の作成をしなければならない。
- 7 本工事施工に伴う道路使用許可申請、給電の新規及び廃止申込、諸報告、その他上記6以外の手続きは請負者において行い、給電申込の契約者名は管轄警察署長とすること。
なお、本工事の施工において設備の増減等に伴い、受電電力契約の変更が必要となる場合には、次のとおり請負者において変更契約を行うこと。
 - (1) 負荷設備の総消費電力が1kva未満となる場合（公衆街路灯Bから公衆街路灯Aに変更する。）
 - (2) 負荷設備の総消費電力が1kva以上となる場合（公衆街路灯Aから公衆街路灯Bに変更する。）
 - (3) 負荷設備に増減等があり、総消費電力が変動となる場合で、変更前後の総消費電

力が1kva未満の場合（公衆街路灯Aの変更契約をする。）

- 8 本工事完成后2箇年度（設置年度末日から起算）以内に、施工又は機器、材料の不良に基づく故障等が生じた場合には、請負者の責任において完全に修理すること。
- 9 請負者は、本工事完成后1箇年度（設置年度末日から起算）は、信号機設備の機能を保持するため、次に掲げる点検等を必要に応じて行うこと。

- (1) 機器の点検
- (2) レンズ及び灯器のしき掃
- (3) 電球取替
- (4) その他信号設備の機能保持に必要な手入れ

10 現場説明資料の配付

入札説明書、設計図面、仕様書などの現場説明資料の配付については、原則、データ情報を電子メールにて送信することにより行う。よって、送信を希望するアドレス先を発注者へ通知するとともに、変更がある場合については直ちに発注者（工事担当課）へ申し出ること。

なお、データ情報を受信した指名業者にあつては、直ちに「指名業者名」「担当者名」「連絡先」及び「受信を完了した旨の内容」を付記し、送信アドレス先へメールを返信すること。

また、やむを得ず外部記録媒体により現場説明資料の配付を受けようとする場合には、現場説明日の前日（前日が閉庁日の場合には、直近の開庁日）の12時までに発注者（工事担当課）へその旨を事前連絡するとともに、配付を受けようとする外部記録媒体内のデータについては全て消去し、ウイルスチェックを確実に実施した後、当日提示すること。事前連絡がない場合、外部記録媒体による配付には応じられない場合があるので、十分注意すること。

11 工事仕様書等の情報流出防止

発注者から配付する（配付形態はデータ、ペーパーを問わない。）仕様書や図面などの情報について、次のことを確実に遵守し、情報流出の防止に万全を期すること。

- (1) 発注者から配付を受けたデータ情報（以下「データという。」）の取扱い

ア ウイルスチェックの実施

データを取り扱うパソコンはもちろん、データを取り扱うパソコンと同一ネットワークで接続されているパソコンについては、最新のパターンに更新されたウイルス対策ソフトをインストールし、常時ウイルスチェックが行われる環境を整備すること。

イ ファイル共有ソフトの使用禁止

データを取り扱うパソコンへは「Winny」に代表されるファイル共有ソフト等は、絶対にインストールしないこと。

ウ 外部記録媒体の紛失防止

データを保存したメモリースティックなどの外部記録媒体を持ち出す場合には、持ち出し記録簿を作成する等外部記録媒体の管理体制を確立して、当該媒体の紛失防止に徹底を期すること。

- (2) ペーパー情報の取扱い

ア ペーパーの紛失防止

ペーパー情報の所在確認はもちろん、社外に持ち出す場合は、出社時、帰社時等適宜その所在を確実に確認し、外部記録媒体と同様に紛失防止に徹底を期すること。

イ スキャナーを使用したペーパー情報の取り込み

スキャナーを使用し、ペーパー情報を取り込む場合は、取り扱うパソコンのウイルスチェック及びファイル共有ソフトがインストールされていないことを確実に確認して、情報流出防止に万全を期すること。

- (3) 自宅での作業の禁止（当課が配付したものに限る。）

情報流出の多くは、データを自宅へ持ち帰って作業中に、ウイルス対策の行われて

いないパソコンやファイル共有ソフトを介し、インターネット上に流出している。
したがって、データはもちろん、ペーパーについても自宅へ持ち帰っての作業については禁止する。

(4) その他

万一、当課が配付等した情報が外部へ流出した場合、又は流出した可能性がある場合には、監督職員まで直ちに通報すること。

- 12 信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を使用しなければならないときは、発注者は引渡し前であっても工事目的物の全部又は一部を使用することができる。
- 13 設計図書及び仕様書等で不明、又は疑義のある事項、あるいは本仕様書に記載のないことで本工事に必要と認められるものは、あらかじめ監督職員の指示を受けること。
- 14 請負金額2千万円以上の工事は、原則として中間検査の対象とし、検査日は別途監督職員が連絡する。

第4 工事現場の管理

1 主任（監理）技術者の配置等

- (1) 建設業法第26条の規定により請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事する者で、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る。）を配置すること。
- (2) 請負者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者は、次のいずれかとすること。なお、発注者から請求があったときは、資格を証明する書類を提示すること。

ア 建設業法第15条第2号イ又はロに該当する者

イ 建設業法第15条第2号ハの規定により国土交通大臣が同号イ又はロに掲げる者と同等以上の能力を有するものと認定した者であって、次のいずれかに該当する者

(ア) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者

(イ) 平成16年2月29日以前に交付を受けた監理技術者資格者証を有する者

(ウ) 平成16年2月29日以前に監理技術者講習を受け、平成16年3月1日以後に監理技術者資格者証の交付を受けた者であって、監理技術者資格者証及び指定講習受講修了証を有する者

(3) 主任（監理）技術者の専任期間等

専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。

なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。

ア 契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）

イ 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間

ウ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間

なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。

エ 工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間

(4) 主任（監理）技術者の変更の特例

次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。

ア 受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき

イ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点

なお、いずれの場合も発注者と請負者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

(5) 主任（監理）技術者の兼務制限

ア 請負金額 4, 500 万円以上及び建設業法第 26 条第 2 項が適用されない工事

(7) 建設業法施行令第 27 条第 2 項が適用される密接な関係のある公共工事で、当該工事箇所相互の距離が 10 km 程度で同一の市町内（安芸郡 4 町については、同一市町として取り扱う。以下同じ。）であれば本件工事を含め 2 件の兼務を可能とする。

※ 密接な関係のある工事とは、工作物に一体性又は連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事（資材の調達を一括で行う場合や工事の相当部分を同一の下請け業者で施工する場合を含む。）をいう。

※ 工事箇所間の距離の算定に当たっては、複数箇所を合併して発注する場合を含め、最も近接する施工箇所を距離算定の基礎とする。

※ 本運用による取扱いの対象となる工事箇所は、複数箇所を合併して発注する場合を含め、全て同一の市町内でなければならない。

なお、請負金額が 1 億円未満のとき、次の条件を全て満たす場合も、本件工事を含め 2 件の兼務を可能とする。

a 工事現場間が、一日の勤務時間内に巡回可能な距離で、かつ工事現場において災害・事故その他の事象が発生した場合に、工事現場間の移動時間がおおむね 2 時間以内であること。

b 下請次数が 3 を超えないこと。

c 連絡員を工事現場に配置すること。

d 工事現場の施工体制を情報通信技術（CCUS 等）を利用する方法により確認するための措置を講じていること。

e 人員配置計画書を作成し、各工事現場及び営業所に備え置くこと。

f 工事現場の状況の確認をするために必要な映像及び音声の送受信が可能な情報通信機器（スマートフォンやタブレット端末等）が設置され、かつ当該機器を用いた通信を利用することが可能な環境が確保されていること。

g 上記のほか、監理技術者制度運用マニュアルにおける専任特例 1 号に係る条件を満たすこと。

(イ) 兼務の届出に当たり、下請工事の予定を明らかにすること。

(ウ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

イ 請負対象設計金額 4, 500 万円未満の工事

兼務制限なし。

2 現場代理人の配置等

(1) 請負者は、請負者と直接的な雇用関係を有する者を現場代理人として選定し、本

工事施工中は、常時本工事現場に配置すること。ただし、次に掲げる条件をいずれも満たす場合は、建設工事請負契約約款（以下「約款」という）第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

ア 請負金額4,500万円未満の建設工事であること。

イ 監督職員等と携帯電話等で常に連絡が取れること。

- (2) 現場代理人は、常に工事が安全に行われるよう現場管理を行うこと。また、災害防止については万全の措置を執り、特に火気の取扱いについては厳に注意すること。
- (3) 次の要件を満たす場合、他の公共工事の現場における現場代理人又は主任技術者との兼務を認める。

ア 請負金額4,500万円以上の工事

(ア) 建設業法施行令第27条第2項が適用可能な工事で、同一の専任の主任技術者が当該工事の監理を行うことが認められるものであること。

(イ) 兼務する公共工事が、本件工事を含め2件以内であること。

(ウ) 兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。

(エ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

(オ) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

(カ) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

イ 請負金額4,500万円未満の工事

(ア) 兼務する公共工事が、本件工事を含め5件（災害復旧工事及び路線委託に係る件数を除く。）以内であること。

(イ) 兼務する工事箇所が全て同一の市町内であること。

(ウ) 工事現場不在時の連絡体制が確保されていること。

(エ) 兼務する工事が同一の発注者によるものでない場合は、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しを提出できること。

(オ) 監督職員等の求めにより、速やかに工事現場に向かう等適切な対応ができること。

- (4) 本工事現場において他の工事がある場合には、常に相互協調して紛争を起こさないよう留意すること。

- (5) 本工事施工中は、道路使用の適正、交通の危険防止などに十分留意すること。

- 3 工事施工に際し、他の者が所管する工作物等に障害、損傷を与えた場合、又は第三者の生命、身体に危害を与えた場合は、速やかに監督職員に報告のうえ適切に処置すること。

- 4 工事中は、一般通行人に見え易い場所に「信号工事中」等の標示板を設置すること。

- 5 信号の滅灯を伴う工事施工に当たっては、あらかじめ管轄警察署に交通規制の一時解除の申請を行うこと。

- 6 請負者は、工事完了に際しては速やかに仮設物を撤去し、後片付け及び清掃を行うこと。

7 建設廃棄物処理関係

本工事から発生する建設廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）」及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号。以下「廃棄物処理法」という。）」を遵守し適正に処理すること。

建設リサイクル法で義務付けのある建設工事を実施する場合、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート、木材）が廃棄物になったものをいう。）については、当該廃棄物を基準に従って工事現場で分別（分別解体等）し、再資源化等適正に処理しなければならない。

建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処理すること。

なお、建設廃棄物の処理費用には広島県産業廃棄物埋設税相当額を見込んでいる。

- 8 暴力団等の不当要求及び工事妨害（以下「不当介入」という。）の排除について
 - (1) 暴力団等から不当介入を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、所轄の警察署に届け出ること。
 - (2) 発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じること。
 - (3) 排除対策を講じたにも関わらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。
 - (4) 発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。
 - (5) 暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。
 - (6) 当該被害により、工期の遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと
- 9 立入調査の実施について
発注者は、請負人が工事の施工にあたり遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているか立入調査を行うことができる。
請負人は発注者又は発注者の指名する者が工事現場、現場事務所又は営業所に立入調査を実施する場合は、これを受け入れなければならない。
- 10 その他留意事項
 - (1) 工事用資機材等の運搬において過積載にならないようにすること。
 - (2) 過積載を行っている資材納入業者に資材の搬入を行わせないこと。
 - (3) ダンプカーのさし枠装着等による違法行為は行わせないこと。
 - (4) 工事中の安全確保について、建設機械施工安全技術指針は、国土交通省大臣官房技術調査課及び国土交通省総合政策局建設施工企画課長通知（平成17年3月31日）を参考とすること。
 - (5) 交通誘導は必ず工事ヤードの内側で向かってくる通行車両に対面して行うこと。また、交通整理機材を効果的に活用し、事故に遭わないよう常に通行車両に注意して誘導にあたること。
 - (6) 短時間の工事資器材積卸しなどによる停車は、車道のできる限り左側端に沿うようにして行い、絶対に歩道上には停車しないこと。また、工事施工により歩道上に車両を停める場合は道路使用許可を得て行い、あらかじめカラーコン等で駐車スペースを確保して交通整理員の誘導により安全に行うこと。

第5 提出書類等

1 電力関係

請負者は、受電の新規、変更及び廃止申込書を電力会社へ提出する前に監督職員へその写しを提出し、内容の確認を受けること。また、受電の新規、変更及び廃止の完了後、速やかに契約番号及び使用開始年月日等の必要事項が記載された関係書類の写しを電力会社から受領し、監督職員へ提出すること。

なお、受電の変更に伴い供給地点特定番号の変更を把握した場合は、監督職員へ速やかに報告すること。

2 保管指示のある撤去品の取扱い

請負者は、工事施工に伴う既存施設の撤去品のうち保管の指示があるものは指定場所に返納するとともに、信号機等搬入完了届を提出すること。

3 工事写真

工事写真は広島県が定める写真管理基準の最新版に従うこととし、次のことに留意

すること。

- (1) 信号柱の基礎等、不可視となる出来形部分については、出来形寸法が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。

なお、基礎工事については床掘り、基礎砕石工、コンクリート打設の各段階における完了時点を撮影すること。

- (2) 写真は全て鮮明であること。また、工事前後の違いが確実に分かるように撮影し、一見して判別し難い施工部位は矢印等で表記すること。
- (3) 各工事場所毎に施工中の写真を1枚以上添付すること。
- (4) 写真には、工事関係者以外の人物が写り込まないこと。
- (5) 信号柱の基礎及び管路埋設の施工に係る工事写真は、監督職員に電子データを提出すること。

4 施工計画書

請負者は、工事着手前（工事始期日以降30日以内）に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等について次の項目が記載された施工計画書を作成し、監督職員へ提出しなければならない。ただし、本工事に関係のない項目及び簡易な工事については、監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

- (1) 工事概要
- (2) 計画工程表
- (3) 現場組織表
- (4) 指定機械
- (5) 主要船舶・機械
- (6) 主要資材
- (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- (8) 施工管理計画
- (9) 安全管理
- (10) 緊急時の体制及び対応
- (11) 交通管理
- (12) 環境対策
- (13) 現場作業環境の整備
- (14) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- (15) その他

受注者は、施工計画書に、次の事項を追加して記載しなければならない。

- (16) 段階確認に関する事項
- (17) 現場環境改善等の実施内容
- (18) 安全・訓練の活動計画

請負者は、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度当該工事を着手する前に変更に関する事項について、変更計画書を作成し提出すること。

監督職員が指示した事項については、請負者はさらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。

5 工事履行報告

約款第11条の履行報告は、工期が1ヶ月を越えるものについて、工事の進捗状況を毎月7日までに監督職員に書面をもって報告すること。

6 出来形管理基準

出来形管理基準は別紙1のとおりとする。

請負者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、別紙3信号機等設置図で定める設計値と実測値を対比して記録した出来形表又は出来形図を作成し、管理するものとする。記録は中間検査時及び完成検査時に監督職員に提出すること。

7 工事カルテ作成・登録

請負者は、受注時又は変更時の請負金額が500万円以上の工事においては、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、登録、途中変更、竣工、訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督職員の確認（サイン又は押印）を受けたうえ、登録時は契約締結の日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、途中変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、竣工時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

なお、現場管理費率に「CORINS登録にかかる費用」を見込んでいる。なお、途中変更時の登録が必要な場合とは、工期の変更、技術者の変更があった場合とする。

8 建設リサイクル

請負者は、建設リサイクル法第9条第1項に規定する「対象建設工事（下記《対象建設工事の定義》参照）」については、次の各号の規定を遵守しなければならない。

- (1) 請負者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート、コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について、建設リサイクル法及び廃棄物処理法を遵守し、適正に処理しなければならない。
- (2) 対象建設工事を請け負おうとする者は、建設リサイクル法第12条第1項に基づき、同法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

※ 「分別解体等の計画等」「工程表」を添付すること、

- (3) 請負契約の当事者は、建設リサイクル法第13条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成14年国土交通省令第17号。以下「省令」という。）第7条に基づき、①分別解体等の方法、②解体工事に要する費用、③再資源化等をするための施設の名称及び所在地、④再資源化等に要する費用について、請負契約に係る書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。
- (4) 対象建設工事の落札者は、次の事項に留意し、落札決定通知の日から5日以内に、発注者（工事担当課）に対して、「法第12条第1項に基づく書面」を提出し、建設リサイクル法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について説明（事前説明）をした後、発注者（契約担当課）に対して、「法第13条及び省令第7条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

なお、この場合、当該落札者は、契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について、発注者に請求できない。

ア 「法第12条第1項に基づく書面」及び「法第13条及び省令第7条に基づく書面」は、広島県の調達情報のホームページ中、様式集の建設副産物関係様式により作成すること。（<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>）

イ 「法第13条及び省令第7条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。

ウ 「法第13条及び省令第7条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は、特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用とし、再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとする。

- (5) 請負者は、その請け負った工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対して、法第12条第2項に基づき、法第10条第1項第1号から第5号までに掲げる事項について、告知書様式で告げなければならない。
- (6) 請負者は、契約締結後14日以内に、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利

用促進計画書」を作成し、施工計画書に含め本工事の監督職員に提出しなければならない。

- (7) 請負者は、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適性に処理されたことを確認し、工事完成時に、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督職員に提出しなければならない。

- (8) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、次の事項を書面に記載し、監督職員に報告しなければならない。

なお、書面は「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を兼ねるものとする。

- ・ 再資源化等が完了した年月日
- ・ 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 再資源化等に要した費用

- (9) 本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。ただし、建設資材廃棄物が、破碎等（選別を含む）により有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。

有用物とは有価物たる性状を有するものをいい、客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければならない。

- (10) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処理費）は、前号に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

《対象建設工事の定義》

「対象建設工事」とは、次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。

（ア）特定建設資材（1品目以上）

- ① コンクリート
- ② コンクリート及び鉄から成る建設資材
- ③ 木材
- ④ アスファルト・コンクリート

（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計 80㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計 500㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額 1億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額 500万円以上

（注）解体・増築の場合は、各々解体・増築部分に係る床面積をいう。

- 9 「現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届」を契約締結後14日以内に提出すること。

10 保険の付与及び事故の補償

- (1) 請負者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。
- (2) 請負者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。
- (3) 請負者は、請負代金額300万円以上の場合は、建設業退職金共済制度における共済証紙（以下「共済証紙」という。）の購入状況等を書面により、工事請負契

約締結後原則 1 か月以内（電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約締結後原則 40 日以内）に発注者（契約担当課）に提出しなければならない。また、請負者は、建設業退職金共済制度について、建設キャリアアップシステムの活用等により技能労働者等の就労状況を適切に把握し、これに基づく履行状況について、工事完成後、速やかに掛金充当実績総括表を作成し検査職員に提出しなければならない。報告に当たって、共済証紙を販売する金融機関が発行する発注者用掛金収納書を添付することとし、共済証紙を購入しなかった場合（請負契約額の増額変更等があった場合で、共済証紙の追加購入をしなかった場合を含む。）には、その理由を書面により発注者（契約担当課）に報告すること。

11 火災保険等

工事目的物及び工事材料を必要に応じ、火災保険又は建設工事保険等に附すること。この場合、発注者の指示がある場合については、当該証券等の写しを提出すること。保険契約期間は、契約日の翌日（工期始）から目的物引渡日までとすること。ただし、受注工事毎に附する保険ではなく、請負者が一定の期間内に受注する工事全体に対する保険の場合で、工期途中で保険契約満了日を迎える場合には、新契約を締結するなど不測の事態に対応できるよう万全を期すること。

12 工事を下請に施工させる場合

(1) 「県工事を下請に施工させる場合の留意事項」（建設工事関係要領等、広島県発行）を遵守し、元請、下請関係の適正化を図ること。

(2) 請負者は、この工事を施工するために下請契約を締結したときは、特定建設業の許可の有無にかかわらず、また、当該下請契約の請負代金の額の多寡にかかわらず、遅滞なく建設業法施行規則（昭和 24 年建設省令第 14 号）第 14 条の 6 の例によって各下請人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、その写しを発注者に提出しなければならない。また、工事を施工するために締結した下請負契約について、広島県土木工事共通仕様書に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督職員に提出しなければならない。なお、施工体系図及び施工体制台帳の内容に変更を生じた場合は、その都度変更した施工体系図及び施工体制台帳の写しを発注者に提出しなければならない。

施工体制台帳の写しには、下請業者との注文請書、下請業者の建設業許可証、工事に必要となる資格者証等、雇用関係証明書類及び作業員名簿を添付すること。

(3) この工事の施工に際して、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く。）を第三者に請け負わせようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。

(4) 社会保険等未加入対策の取扱いは次のとおりとする。

ア 請負者は、次に掲げる届出の義務を履行していない建設業者等（建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）第 2 条第 3 項に規定する建設業者及び同法第 3 条第 1 項ただし書の政令で定める軽微な建設工事のみを請け負うことを営業とする者をいい、当該義務がない者を除く。以下「社会保険等未加入建設業者」という。）を下請負人（同法第 2 条第 5 項に規定する下請負人をいう以下同じ。）としてではない。

(イ) 健康保険法（大正 11 年法律第 70 号）第 48 条の規定による届出の義務

(ロ) 厚生年金保険法（昭和 29 年法律第 115 号）第 27 条の規定による届出の義務

(ハ) 雇用保険法（昭和 49 年法律第 116 号）第 7 条の規定による届出の義務

イ アの規定にかかわらず、請負者は、次の各号に掲げる下請負人の区分に応じ、当該各号に定める場合は、社会保険等未加入建設業者を下請負人としてすることができる。

(ア) 受注者と直接下請契約（建設業法第 2 条第 4 項に規定する下請契約をいう。以下同じ。）を締結する下請負人で次のいずれにも該当する場合

- ・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合
 - ・ 発注者の指定する期間内（原則 30 日）に、当該社会保険等未加入建設業者がアに掲げる届出の義務を履行した事実を確認することができる書類（以下「確認書類」という。）を、受注者が発注者に提出した場合
- (イ) (ア)に掲げる下請負人以外の下請負人で次のいずれかに該当する場合
- ・ 当該社会保険等未加入建設業者を下請負人としなければ工事の施工が困難となる場合その他の特別の事情があると発注者が認める場合
 - ・ 発注者が受注者に対して確認書類の提出を求める通知をした日から 30 日（発注者が、受注者において確認書類を当該期間内に提出することができない相当の理由があると認め、当該期間を延長したときは、その延長後の期間）以内に、受注者が当該確認書類を発注者に提出した場合
- 13 主要資材の購入
- (1) 資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。
- (2) 請負者は資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称、所在地及び資材名等を「主要資材購入先名簿」により監督職員を通じて発注者に通知するものとする。
- 14 工事目的物の引き渡し
- 工事目的物の引き渡しについて、工事完成検査終了時に工事目的物の引渡しを行う際、引渡書を監督職員に提出すること。
- 15 建設発生土処分
- 当該工事により建設発生土の発生が見込まれる場合、記仕様書で指定する場所に搬出するものとし、完了後に伝票の写しを提出すること。
- 16 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の提示
- 適正な廃棄物処理を確認するため、請負者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を提示しなければならない。提示する産業廃棄物管理票は「D票」又は「E票」とする。
- なお、工期内に当該「D票」又は「E票」の提示が困難である場合については、当面当該「A票」を提示し、後日、当該「D票」又は「E票」を提示すること。
- 17 建設副産物情報交換システムへの登録
- 最終工事請負金額が 100 万円以上の工事については、建設副産物情報交換システム（COBRIS）へ登録すること。登録に際しては、副産物の発生しない工事についても対象とする。登録対象工事については、施工前に当該システムにより作成した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め、完成時に同様に作成した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」をそれぞれ監督職員へ提出すること。なお、これにより難しい場合には、監督職員と協議すること。
- 当該システムの利用及び操作方法については、(財)日本建設情報総合センターのホームページ（<http://www.recycle.jacic.or.jp/index.html>）を参照のこと。
- 18 信号制御に係る設定表
- 信号制御機の設定変更を伴う工事及び信号制御機を新設・更新する工事については、運用開始前までに監督職員へ設定表を提出し確認を受けるとともに、運用開始後は補正事項等を整理の上、速やかに監督職員に提出すること。
- また、信号制御機について、第 4 章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、製造工事の受注者が行うこと。
- 19 信号制御機等の錠
- 信号制御機等の錠については、発注者が承認したものに限る。請負者は、次の事項が分かる一覧表（様式不問）を作成し、当該錠を発注すること。
- ・ 工事番号及び監督職員氏名

- ・ 錠の品番、大きさ及び数量
- ・ 錠を使用する交差点名
- ・ 錠を使用する機器名及びメーカー

また、信号制御機等について、第4章「分離発注工事」に定める製造工事を行う場合は、当該機器の製造工事の受注者が行うこと。

20 信号制御機の製造及び改造

信号制御機の製造及び改造は、設計図書の現示階梯図で指定するとおり行うこと。

21 信号灯器の更新等、工事完了直後から工事目的物を運用するときは、請負者は工事完了後ただちに別紙2のチェックシートによる確認を行うこと。また、確認後のチェックシートは遅滞なく発注者へ電子メール、FAX又は持参により提出すること。

22 請負代金内訳書

請負者は、約款第3条に規定する請負代金内訳書を作成し、発注者に提出しなければならない。

23 その他

上記のほか、別に発注者が指示した場合、当該書類を提出すること。

第2章 共通工事

第1 土木工事

1 障害物処理

障害物の処理は次により施工すること。

- (1) 工事の支障となる障害物は、監督職員の指示に従って処理する。
- (2) 工事のため道路を掘削する場合は、事前に関係機関と地下埋設物占用協議を行うなど打ち合わせを行い、不測の事態に備えること。
- (3) 既存の電機工作物、給排水管、ガス管等の埋設物が露出する場合は、当該管理者の立ち会いを求め、損傷しないよう十分注意する。

2 掘削

掘削は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

- (1) 舗装の取り壊しは、コンクリートカッター等を使用して必要部分のみをカットする。
- (2) ブロック舗装のブロック平板は、損傷しないよう丁寧に取り扱い、支障のない位置に整理する。
- (3) みぞ掘り、つぼ掘りをし、又はえぐり掘りをしてはならない。
- (4) 掘り上げ土は、舗装部（又は衣土）、上層土及び下層土を区分してたい積し、飛散しないように注意する。
- (5) 工事のため、路面の排水を妨げないようにする。また、工事に支障を及ぼす雨水、わき水、たまり水などは、第三者に支障を与えないように排水する。
- (6) 掘削は所定の深さまで行い、石や突起物を取り除き床面を平坦にならし、底固めとする。
- (7) 道路横断箇所の掘削は、横断部の1/2又は1/3ずつ掘削し、その部分の埋設及び埋戻し完了後、次の掘削に移り、常に道路の片側部分の交通を確保する。

3 覆土及び埋戻し

埋設完了後の埋戻し工事は次によるほか、道路管理者及び所轄警察署長の許可条件に従うこと。

- (1) 掘削箇所は、必ず当日中に埋戻しを行い、安全な覆土を施し、交通その他に開放する。
- (2) 掘削土を埋戻す場合は、下層土は下層に、上層土は上層に確実に埋戻しする。
- (3) 掘削土をそのまま埋戻すことが不適当な場合には、他の良質な土砂を埋戻す。
- (4) 砂利道の表面仕上げを行う場合には、路面表土をもって掘削前の路面と同じように締め固める。
- (5) 所定の支持力が得られるようランマー、木たこ等で20cmごとに突き固めるか、水締めをしながら埋戻す。

4 路面復旧

路面復旧については、道路管理者その他の許可条件により完全に復旧すること。

なお、本復旧までの間は、アスファルト又はレミファルト等で仮復旧し、交通の支障とならないように努めること。

第2 基礎工事

基礎工事は、別紙3信号機等設置図に従い、次により施工すること。

1 床堀工事

第1「土木工事」に準じて施工すること。

2 基礎砕石工

所定の深さに掘り下げ床付面を平たんにならし、再生砕石を施して十分締め固めながら所定の厚さに仕上げるものとする。

なお、割栗石又は玉石を使用する場合は小端立として敷並べ、この上に目潰し砂利

を施し、十分締め固めながら所定の厚さに仕上げる。

仕上げ厚は普通地盤の場合、10 cm とする。

3 基礎コンクリート工

(1) 材料

コンクリート工事に用いる材料は、原則として J I S 認定工場で製造したレディーミクストコンクリートを使用する。

コンクリートの強度は、設計基準強度 18 - 8 とする。

(2) コンクリート工事

コンクリート工事は、次により施工すること。

ア 打ち込み

コンクリートの打ち込みに際しては、管類、その他打ち込み材を移動させないように注意し、適当な器具で突き固める。

イ 養生

コンクリート打ち込み後は、急激な温度変化（特に低温）、乾燥、荷重、衝撃等の有害な影響を受けないよう十分これを保護する。

ウ 型わく

型わくは、コンクリート部材の位置、形状及び寸法に正しく一致させ、堅固で荷重、乾湿、振動の影響によって狂いの起こらない、かつ安全にこれを取り外すことができ、またモルタル漏れのない構造とする。コンクリートが必要な強度を発揮するまで存続した後、構造物に衝撃や振動を与えないよう静かに取り外す。取り外し後、コンクリートの不良個所を発見した場合は、監督職員の指示に従い、念入りに補修する。

エ モルタル仕上げ

モルタル仕上げの指示がある箇所は、コンクリートにモルタルが密着するように仕上げる。モルタルの調合は容積調合で、普通、セメント：砂＝1：2 又は 1：3 とする。

第3章 信号機等設置工事

第1 信号専用柱工事

1 建柱

- (1) 建柱位置は、設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。
なお、柱から基礎側端までのコンクリートかぶり厚は10cm以上確保する。
- (2) 建柱は原則として砂締め（スパイラルダクトと柱の隙間に砂を充填し、水を注入して固める）又はベース式により行い、特に指定する場合以外は、支線、支柱、根かせを使用しない。
- (3) 根入れは「柱長の1/6以上」とする。ただしベース式の場合は除く。
- (4) 電柱には、必要に応じて足場ボルトを設ける。

2 反射材

コンクリート柱は指定の反射シートを、鋼管柱は指定の反射シート又は反射ステッカーを別紙3信号機等設置図のとおり取付けること。なお、反射シートの合わせ部は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側でかつ金具の出っ張りが歩道内側にならないよう施工すること。

3 電柱札

信号柱には、柱番号（県警〇号柱）、柱の製造年月（西暦で表記）、製造メーカー、規格が分かる電柱札を取り付けること。なお、表示には不滅インク、刻印等の滅失しないものを使用すること。

4 鋼管柱の耐食処理及び地際補強

(1) 直管及び曲管

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の地際部から上下20cmまでの範囲とする。

また、基礎上部が地盤面と同等の高さとなる非舗装の場合は、地際部に雨水等が溜まらないように、モルタル金ごてにより信号柱に向けて適切な排水勾配をつけて表面仕上げをすること。

なお、基礎上は目視できるように、土砂等を被せずに施工すること。

(2) ベース式

鋼管柱の地際部は、工場製作段階で補強管の取付、及び変性エポキシ樹脂塗料又はそれと同等以上の耐食効果のある塗装を行うこと。塗装する範囲は鋼管柱の最下部から45cmまでの範囲とし、プレート部も含むものとする。また、アンカーボルトの露出部には保護キャップを取り付け、キャップとプレートの隙間には防水処理を施すこと。

第2 信号機等取付工事

1 信号制御機取付工事

(1) 取付位置

制御機の設置位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。なお、原則として制御機の横方向が道路と平行で、取付位置は車両の進行方向に対し柱を挟んで反対側になるように設置し、歩行者等の通行の支障とならないようにすること。

(2) 取付方法

制御機の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とする。

ア 自立式は、別紙3信号機等設置図の制御機基礎に設置する。また、制御機内底面のケーブル入線部は防湿対策を施すこと。

イ 電柱抱込式は、付属の取付金具を使用すること。

ウ 他所管の電柱に取り付ける場合は、設置条件を遵守し、毀損したり障害を与え

ないようにする。

エ 扉は原則として歩道側から開け配管が障害となり十分な扉の開閉ができないことのないよう施工すること。

(3) 接地工事

第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

2 信号灯器取付工事

(1) 取付位置等

信号灯器（以下「灯器」という。）の取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図によるほか、詳細については監督職員の指示による。

(2) 取付方法

ア 付属のバンド、ブラケット又は、自立ポール等の取付金具を使用する。

イ 他所管の電柱に取り付ける場合は、取付条件を遵守し、毀損したり障害を与えないようにする。

ウ 灯器が、強風、地震にも十分耐えるよう堅固に取り付ける。

エ 車両用灯器のアーム長が3m以上の場合は、振れ止め金具を取付けること。

(3) 接地工事

第3章第3-5「接地工事」に準拠する。なお、自立式歩行者用灯器はリブプレートに接地線を電氣的、機械的に堅固に接続すること。

3 押ボタン箱取付工事

(1) 取付位置

押ボタン箱の種別、取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、押ボタン箱の取付方向については監督職員の指示による。

(2) 取付方法

押ボタン箱の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。

(3) 接地工事

第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

4 車両感知器取付工事

(1) 取付位置

車両感知器の種別、取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。

(2) 取付方法

車両感知器制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。また、車両感知器送受器の取付は「信号灯器取付工事」に準じて施工する。

(3) 接地工事

第3章第3-5「接地工事」に準拠する。

5 視覚障害者用付加装置取付工事

(1) 取付位置

視覚障害者用付加装置の取付位置は、設計図書及び別紙3信号機等設置図に従い、詳細については監督職員の指示による。

(2) 取付方法

視覚障害者用付加装置制御機筐体の取付方法は、自立式又は電柱抱込式とし、「信号制御機取付工事」に準じて施工する。

スピーカーは専用アームに取付け、スピーカーの位置が横断歩道中心線上となるよう設置する。

(3) 誘導音出力

南北方向に横断する歩行者に対して「ピヨ」及び「ピヨピヨ」、東西方向に横断する歩行者に対して「カッコー」及び「カカッコー」を音響出力すること。

(4) 接地工事

第3章第3－5「接地工事」に準拠する。

(5) 運用開始

運用開始（更新時を除く）は竣工検査に合格した後とし、それまでは試験調整時以外に音を鳴らしてはならない。

6 その他留意事項

(1) 使用するターンバックル

信号灯器や車両感知器などの支持に使用するターンバックルについては、脱落防止措置が執られたものを使用すること。

(2) 信号灯器などの取り外し

信号灯器や車両感知器などの取り外しの際には、補強ステー等が脱落しないようロープ等で結び部品に至るまでの脱落防止措置を講ずること。また、取り外し中は交通規制を確実に実施し、歩行者や車両等への接触事故を未然に防ぐこと。

(3) バンド類の取付

配管等を固定するため地上高2.5m未満の位置で自在バンド等を使用するときは、出張り部の向きを調整し、歩行者等が接触する恐れのないよう配慮すること。

第3 配線工事

1 一般事項

(1) 電線の途中接続、電線管内での接続は、絶対に行わない。

(2) 電線と機器端子との接続は、緩むおそれのないように、二重ナット又はスプリングワッシャを使用し、十分締め付ける。

なお、より線の場合は圧着端子を使用する。

(3) 機器筐体内では電線を束線バンド、ビニールテープ等で束ね、整頓し、後の改良や保守業務を行う者が作業しやすいようにしておくこと。

2 架空配線工事

(1) 地上高

架空配線が道路を横断する場合は、地表上6m以上とし、歩道上で交通に支障がない場合は基本的に5m以上とする。また軌道を横断する場合は、給電線との間隔を0.6m以上とし、その他については「電気設備の技術基準の解釈について」第68条の規定に従い施工すること。

(2) 架空配線の引き留め

吊線は、支持点にシンプル、巻付クリップ等を使用し堅固に取り付け、この場合、配線に無理がないようにする。なお、引き留め時にメッセンジャーワイヤーが切断される場合は、別紙3信号機等設置図のとおりビニル絶縁電線(IV2.0mm²)とアースクランプにより切断部を接続すること。

(3) 灯器への入線（引き下げ）

灯器への配線の引き下げは、ケーブル支持金物及びツツミ形碍子等により柱に接触しないよう引き下げるほか、灯器内に余長を確保する。

(4) 接続端子函の取付

制御機立ち上がり配線と架空配線、又は灯器引き下げ配線と架空配線との接続用に、防水形の接続端子函を原則として地上高5m以上の位置に取り付ける。

なお、端子数及び取り付け柱の指定は、設計図による。

(5) 制御機立ち上がり配線

制御機からの立ち上がりケーブルは、電線管で防護し、柱上の接続端子函に接続する。

なお、電線管の先端は、雨水等の浸入を防止する処置を施すと共に、電線管及びプラントチューブがU字状になる部分については最下部に水抜き穴を施すこと。

(6) 他所管の電柱に取り付ける場合は、取付条件を遵守し、毀損したり障害を与えないようにする。また、信号機用のケーブルであることが判るよう指定のケーブル表示札を、別紙3信号機等設置図のとおり取付けること。

3 地中配線工事

地中配線にて行う場合は、次により施工すること。

- (1) 使用管路
ケーブルの埋設は管路式とし、内部に浸水しないよう施工すること。
使用する管路の形状、寸法は別途指定する。
- (2) ハンドホール等
ケーブルの接続箇所、分岐箇所及び屈折箇所には、ハンドホールを設けることとし、その形状、寸法は別途指定する。
- (3) 管路の埋設位置
管路の埋設位置については設計図によるほか、詳細については監督職員の指示による。
なお、管路の位置を示す埋設シートを管路の上部に敷設すること。
- (4) 埋設の土かぶり
土かぶりは、歩道部では0.6m以上、車道部では1.2m以上とする。ただし、保安上支障がなく、かつ道路に関する工事の実施上支障がない場合で、監督職員の指示を得た場合はこの限りでない。
- (5) 埋設土工事
管路埋設土工事に関しては、第2章「共通工事」に準拠する。

4 電線引込工事

電線引込工事は、次により施工すること。

- (1) 屋外配電盤の取付
制御機の直近の所定位置に自動遮断機、積算電力計、タイムスイッチ等必要に応じた装置を内蔵した防水形屋外配電盤を取り付ける。
工事設計書において停電対策用配電盤（窓なし）を指定している場合、通電状況を確認することができる表示灯、発電機用ケーブル差込口及び抜け防止コンセントを備えること。
- (2) 電源引込線の入線（引き下げ）
電源引込線の接続点から屋外配電盤、及び制御機までの配線は、電線管で保護する。

5 接地工事

金属筐体、メッセンジャーワイヤーはD種接地（接地抵抗100Ω以下）を施すこと。

なお、信号制御機筐体以外の接地は、信号制御機筐体の接地極と共通接地とするが、これが不可能な場合は独立接地とする。自立式機器筐体は原則として独立接地とする。

6 その他留意事項

- (1) 信号制御機、その他機器の設置及び配線等の接続に際し、雨水や虫等の侵入の恐れがある部位については、防水及び侵入防止の処理を施すこと。
- (2) 配線の確実な確認
配線の間違ひは、信号機の誤動作・滅灯などを引き起こし、これに起因する交通事故に発展する恐れがある。現場では、複数の作業員によるチェック体制を確立するとともに、平素から事故を未然に防ぐための信号機関係設備の構造研究や事故事例の検証を行い、作業員の能力向上を図るよう社内教養を徹底すること。
なお、灯器コモン線は接続不良であっても正常な動作をしているように見える場合があるため、端子接続時は特に注意すること。
- (3) 作業完了後の動作確認
信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実に行うこと。
- (4) 工事機材の適正な使用

工事で使用する工具や重機等の工事機材は、取扱説明書等で示された正しい方法により使用すること。

第4章 分離発注工事

第1 分離発注工事の内容

分離発注とは、信号機の設置等工事を、機器の製造、改造等（以下「製造工事」という。）と製造工事を除く設置等の工事（以下「設置工事」という。）とで分担し、施工する工事をいう。

第2 用語の定義

1 機器

機器とは、次のものをいう。

- (1) 制御機
- (2) 配電盤
- (3) 視覚障害者用付加装置
- (4) 車両用灯器
- (5) 歩行者用灯器
- (6) 押ボタン箱
- (7) 車両感知器
- (8) その他設計図書で特に指定するもの

2 製造工事

製造工事とは、機器のうち設計図書で指定されたものの製造、改造、試験調整する工事をいう。

3 設置工事

設置工事とは、機器及び材料を使用し信号機の設置等をする工事をいう。

第3 工事の範囲等

1 製造工事

製造工事は、次により施工すること。

- (1) 機器の製造
設計図書に基づき指定された機器を製造すること。
- (2) 機器の改造
信号の制御や付加機能のために機器に必要な改造を行うこと。
- (3) 試験調整
現場に設置された機器が正常に動作するよう試験調整するほか、設定表がある場合は当該設定表に従い動作するように設定を行うこと。
- (4) 作業完了後の動作確認
製造工事は機器が現場において正常に動作することをもって完成とするため、信号制御機、信号灯器など交通安全施設機器を新設、更新等したときは、現示階梯図等の設定表に基づいて、目視、制御機内のパネル・ランプ等により動作確認を漏れなく確実にすること。
- (5) その他
機器の納入場所は、別途発注する設置工事の工事現場を原則とし、時期等について設置工事の受注者と連絡調整を行うこと。

2 設置工事

設置工事は、次により施工すること。

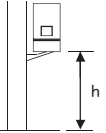
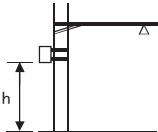
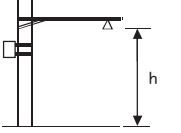
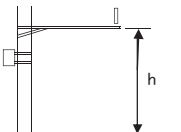
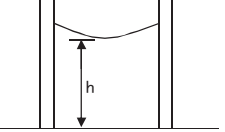
- (1) 土木工事
第2章「共通工事」に準拠する。
- (2) 基礎工事
第2章「共通工事」に準拠する。

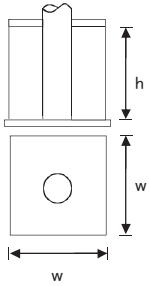
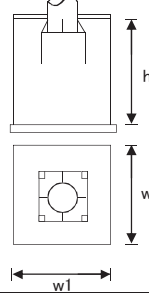
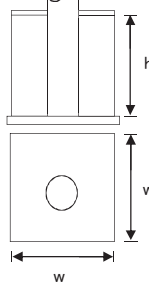
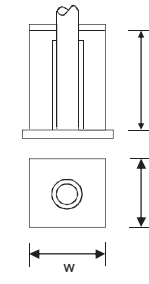
- (3) 信号専用柱工事
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。
- (4) 信号機等設置工事
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。
- (5) 配線工事
第3章「信号機等設置工事」に準拠する。

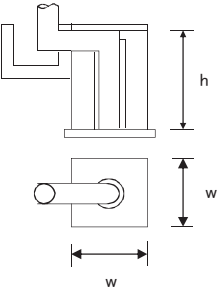
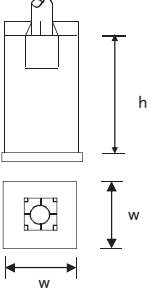
第4 受注者間の協力

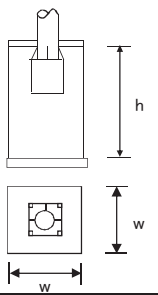
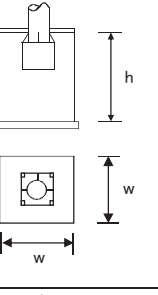
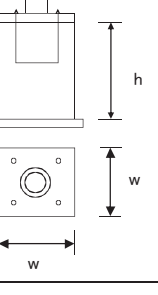
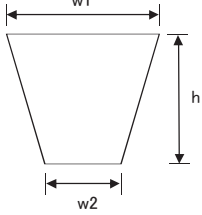
製造工事及び設置工事の受注者は円滑に工事が完成するよう、必要な事項について連絡及び連携を図り、相互に協力すること。

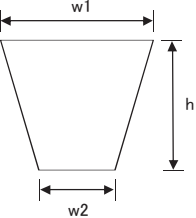
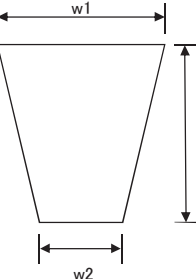
また、疑義が生じた場合は速やかに監督職員の指示を受けること。

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	交通信号機工	交通信号制御機取付工	信号制御機	側柱式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は、配電盤本体下部から測定。		側柱式視覚障害者用付加装置制御機は、本規格値を適用する。
				自立式制御機取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。制御機下部から測定。 D型配電盤使用の場合は、配電盤本体下部から測定。		
		車両用感知器取付工 無線伝送装置取付工	車両用感知器筐体	取付工	高さ h	±100	取付箇所毎。		一灯点滅式信号機制御機及び無線伝送装置制御機は、本規格値を適用する。
			送受波器	取付工	高さ h	+500	取付箇所毎。 送受波器本体下部から測定。		
			アンテナ	取付工	高さ h	基準値以上	取付箇所毎。 アーム下部から測定。		
	架空ケーブル工	制御・通信ケーブル架線工		架線工	高さ h	基準値以上	ケーブルたるみの最低部で測定。		

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	基礎工(B型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下、信号柱工については、現場の埋設物等の支障物件の有無により、変形基礎とする場合は、監督員と協議のうえ施工する。 適用範囲は、基礎のコンクリート部分とする。
					幅 w	+50			
				基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	信号柱基礎	配筋工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
			細径柱基礎	基礎工(直管)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	信号柱工	信号柱基礎工	細径柱基礎	基礎工(曲管)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
				基礎工(ベース型)	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	自立式信号設備工	自立式歩行者用灯器設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		以下、自立式信号設備工については、現場の埋設物等の支障物件の有無により、変形基礎とする場合は、監督員と協議のうえ施工する。
					幅 w	+50			
		自立式押ボタン装置設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
		自立式制御機設置工		基礎工	高さ h	+50	基礎一基毎。		
					幅 w	+50			
	埋設工	管路埋設工		埋設工(舗装厚3cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		以下、埋設工については、埋設物等の支障物件の有無により、変形埋設とする場合は、監督員と協議のうえ、施工する。
					幅 w1, w2	±30			

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
交通信号機設備	埋設工	管路埋設工		埋設工(舗装厚5cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1, w2	±30			
				埋設工(舗装厚10cm)	深さ h	±30	1施工箇所につき1箇所。		
					幅 w1, w2	±30			

工事完了後チェックシート

工事実施日		令和 年 月 日	
施工業者名			
上記実施日に施工した場所			
上記実施日に施工した内容 ※該当に○をし、数量を記載		・信号制御機 更新・移設()基 ・車灯 更新・移設()灯 ・歩灯 更新・移設()灯 ・車両感知器 更新・移設()ヘッド ・押ボタン箱 更新・移設()個 ・視覚障害者付加装置 更新・移設()基 ・信号柱 更新・移設()本 ・ケーブルの張替・引留替え()径間 ・その他()	
特記事項			

種別	責任者	実施者	チェックポイント
工程連絡			・工事実施前に監督員に工事予定日等の連絡をしている。

共通項目			・設計図面で指定した位置に、指定した規格の機器が設置されている。
			・設置する機器に損傷や部品の欠落などの欠陥がない。
			・日常の出来形管理を的確に行い、設置高さ等の基準が守られている。
			・機器は確実に固定されており、ナット等に緩みがない。
			・機器筐体の扉は確実に閉められており、衝撃等で開くことがない。

信号制御機			・現示階梯図で示すとおりに動作している。(全灯器を確認)
			・設定表のとおりに正しく設定されている。(すべての設定項目を確認)
			・半感応、連動機能などオプション機能の動作は仕様書に規定されたとおりである。
			・地域制御機のときは、下位装置との通信が正常である。

車両用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。

歩行者用灯器			・現示階梯図で示すとおりに動作している。
			・灯器の向き・角度は適正である。

車両感知器			・車両を感知したときは制御機内の感知ランプが点灯する。
			・車両を感知して所定の信号現示が表示される。

押ボタン箱			・押ボタンを押すことにより所定の信号現示が表示される。
			・押ボタン箱の窓に「おまちください」「おしてください」が正常に表示される。

視覚障害者用 付加装置			・歩行者信号が青のときスピーカーから誘導音が出力されている。
			・南北方向が「ビヨ」「ビヨビヨ」、東西方向が「カッコー」「カカッコー」となっている。
			・音量は移設、更新前と同じである。

信号柱			・柱に傾きがない。
			・路面の復旧が適正に行われている。
			・設置替えした機器の動作は正常である。
			・柱間ケーブルを付け替えたとき、関係する全ての機器の動作が正常である。

その他			・責任者が積荷の状況を確認し、過積載防止に取り組んでいる。
			・現場内の整理整頓、後片付け、清掃を日常的に行っている。
			・保安施設の設置、警備員の配置は、道路使用許可証どおり適切に実施している。

工事完了後に確認した結果は上記チェックシートのとおりです。

確認責任者 _____ 印

確認実施者 _____ 印

※ チェックシートは、信号工事を実施した日毎に作成し、作成後遅滞なく電子メール、FAX又は持参により監督員へ提出すること。
※ チェックポイントに従って確認し、適正であれば責任者・実施者欄に○を記入すること。
※ 確認責任者だけでなく、他の作業員等、複数人による確認を実施すること。

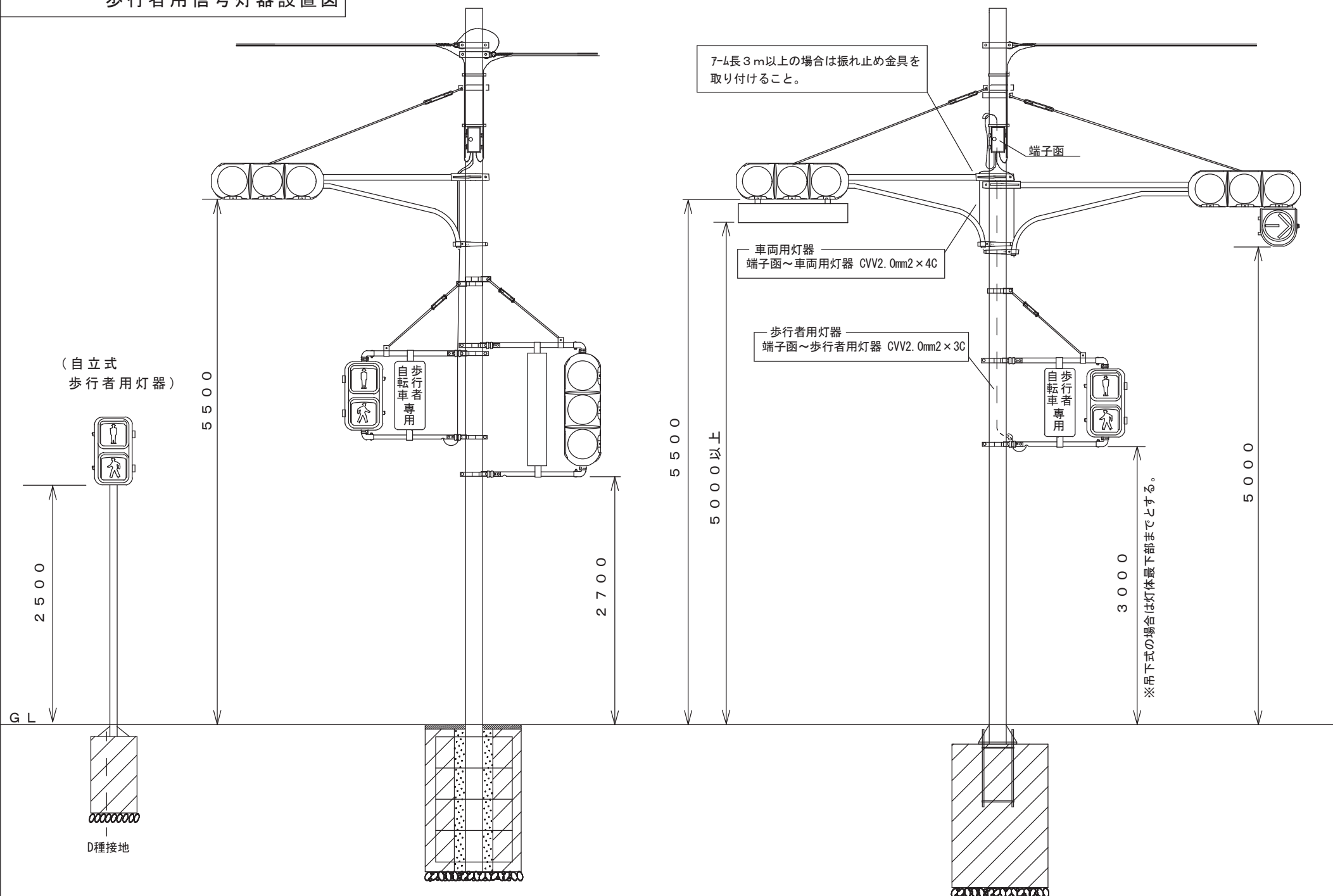
別紙 3 信号機等設置図

図 番 1	車両用灯器歩行者用信号灯器設置図
図 番 2	一灯点滅式信号機設置図
図 番 3	信号制御機設置図 (1)
図 番 4	信号制御機設置図 (2)
図 番 5	車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置設置図
図 番 6	視覚障害者用付加装置 高齢者等感応用押ボタン箱設置図
図 番 7	架空ケーブル・専用柱設置図
図 番 8	専用柱基礎仕様図
図 番 9	管路埋設自立式機器用基礎等仕様図
図 番 1 0	可変標識設備設置図

図番 1 車両用灯器
歩行者用信号灯器設置図

(外配線方式)

(柱内配線方式)



図番 2 一灯点滅式信号機設置図

受電線（中電施工）

一灯点滅式信号制御機
電源引込口～制御機 CV5.5×2C
端子箱～制御機 CVV2.0mm2×3C
制御機～接地棒 1V2.0mm2

一灯点滅式信号機制御機

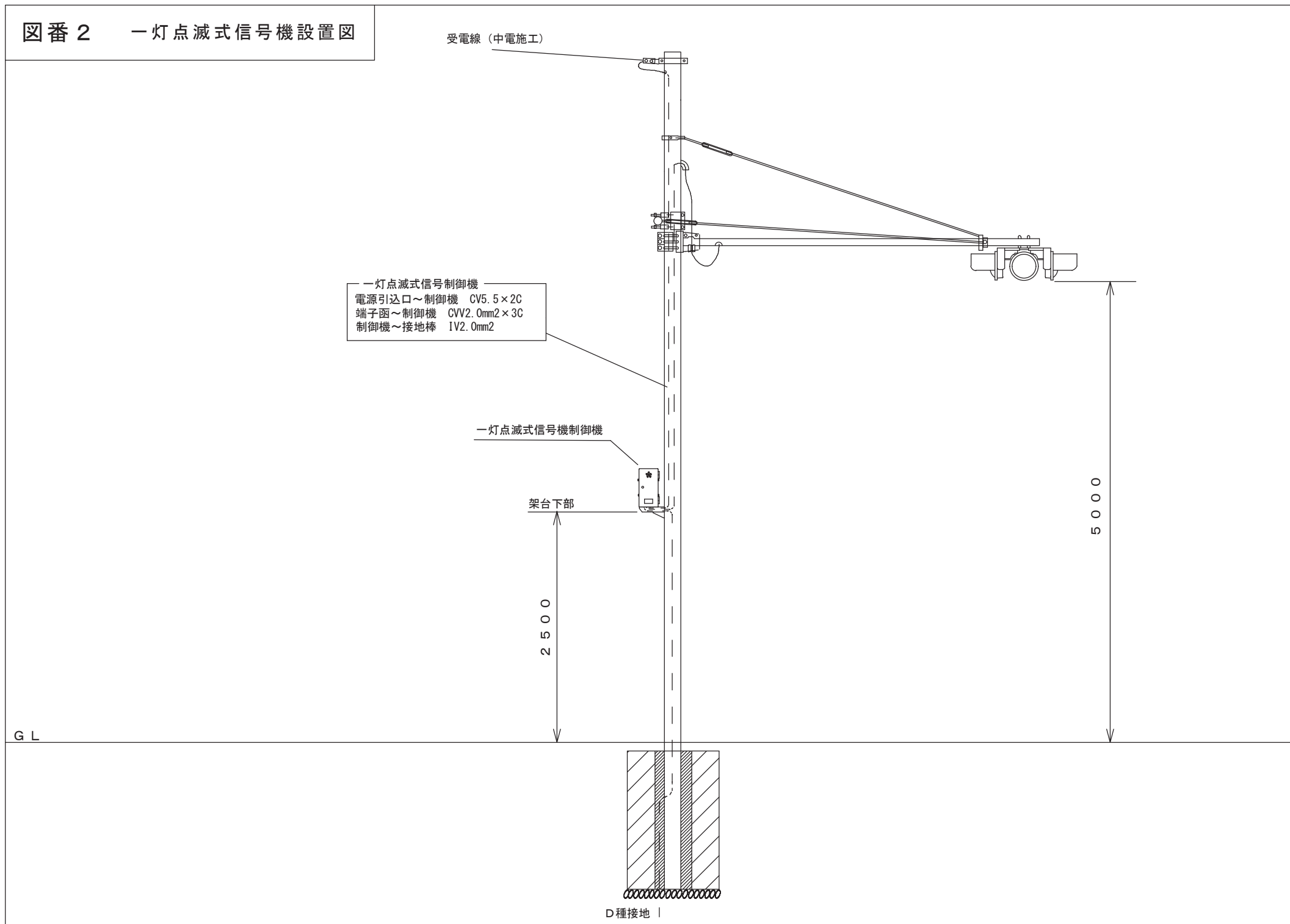
架台下部

2500

5000

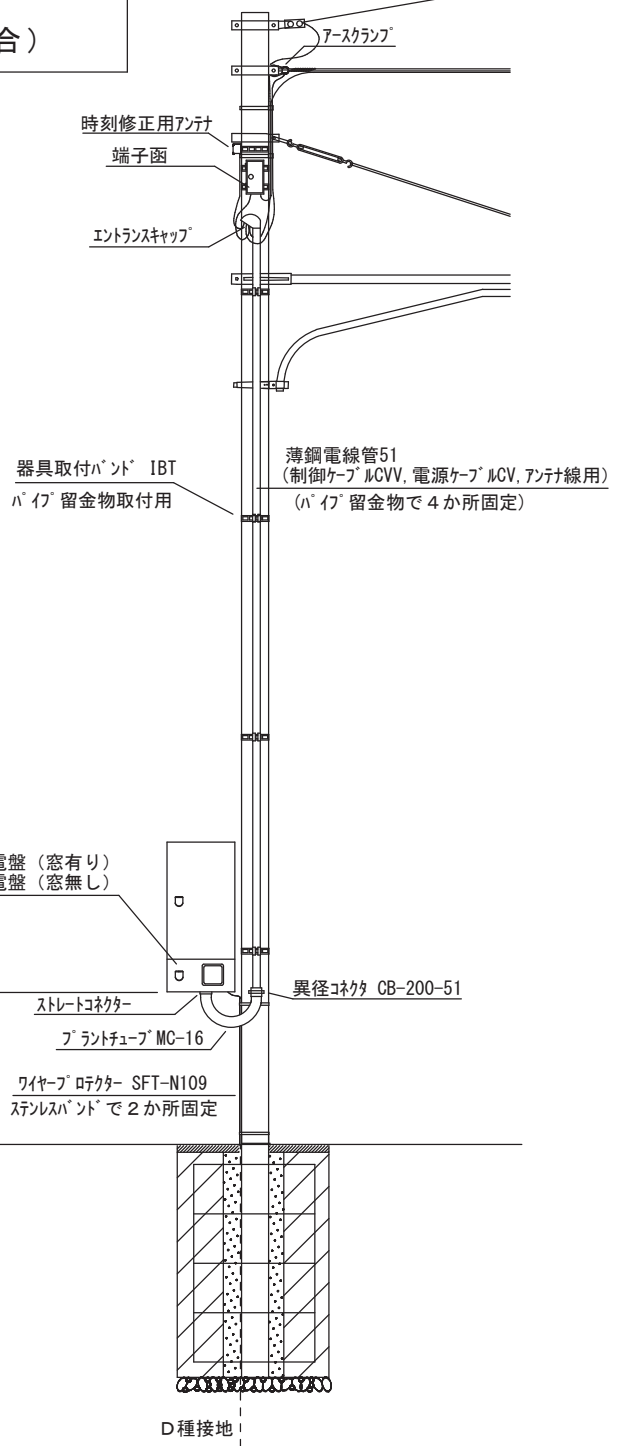
G L

D種接地 |

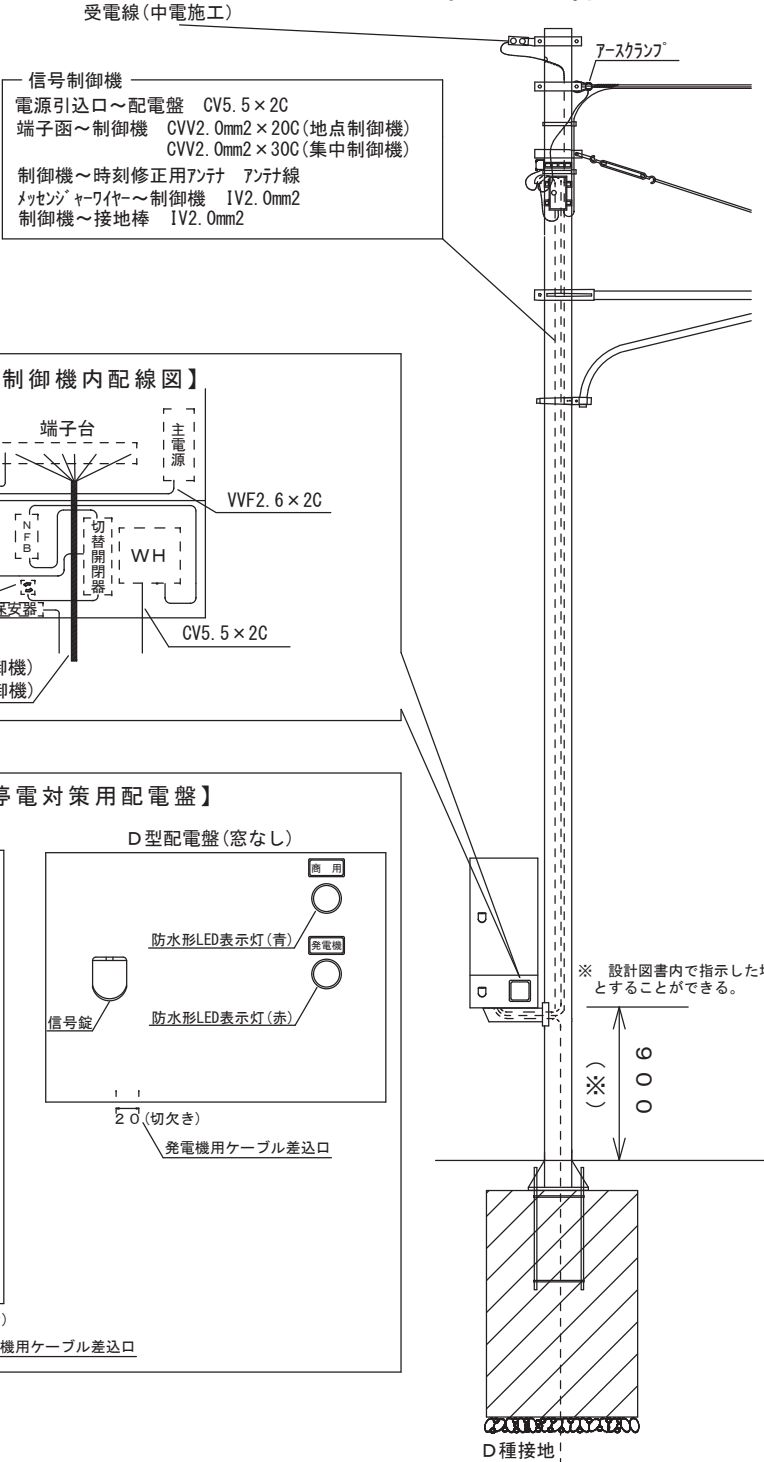


図番 3 信号制御機設置図 (1)
(配電盤設置の場合)

(外配線方式) 受電線 (中電施工)

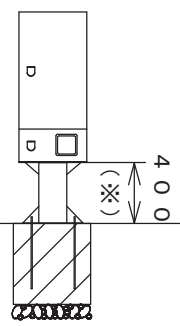


(柱内配線方式)



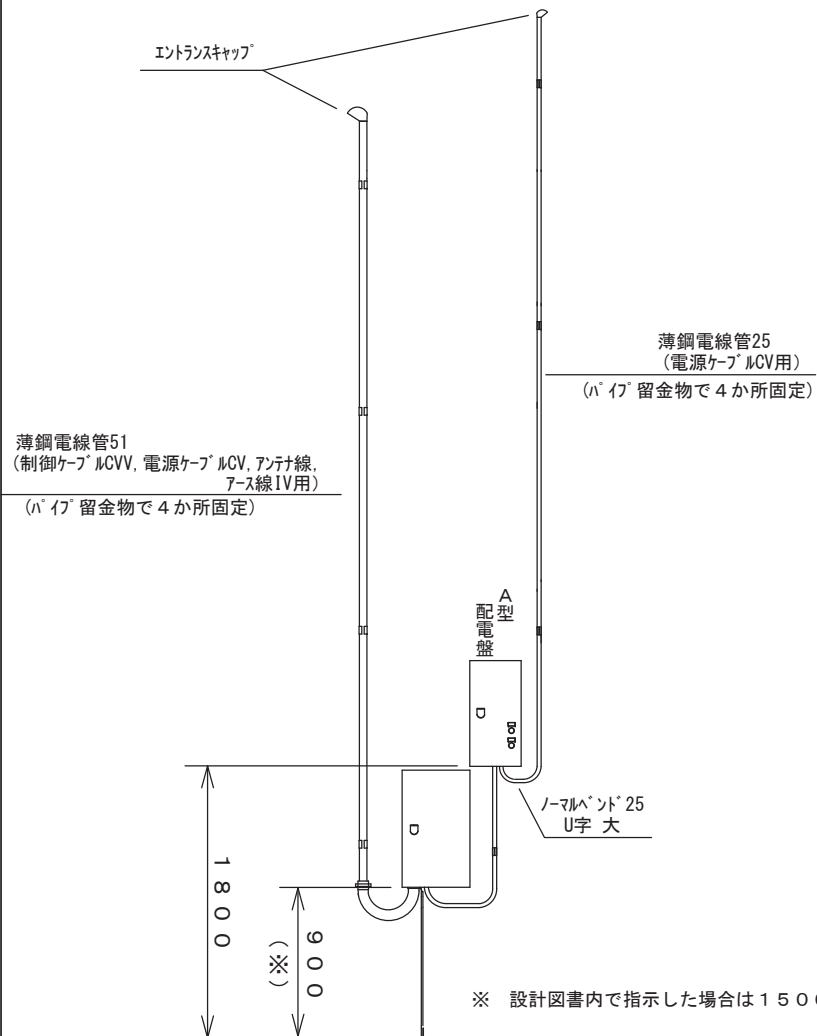
(自立式)

従量制受電 : 配電盤 (窓有り)
定額受電 : 配電盤 (窓無し)



図番 4 信号制御機設置図 (2)

(A 型配電盤使用時)

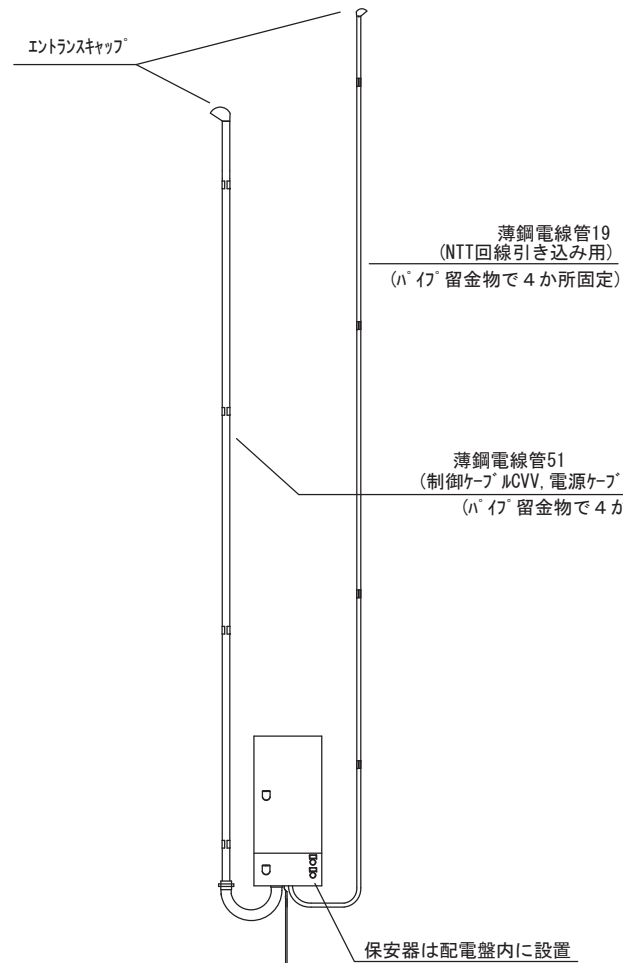


※ 設計図書内で指示した場合は1500mm以上とすることができる。

D種接地

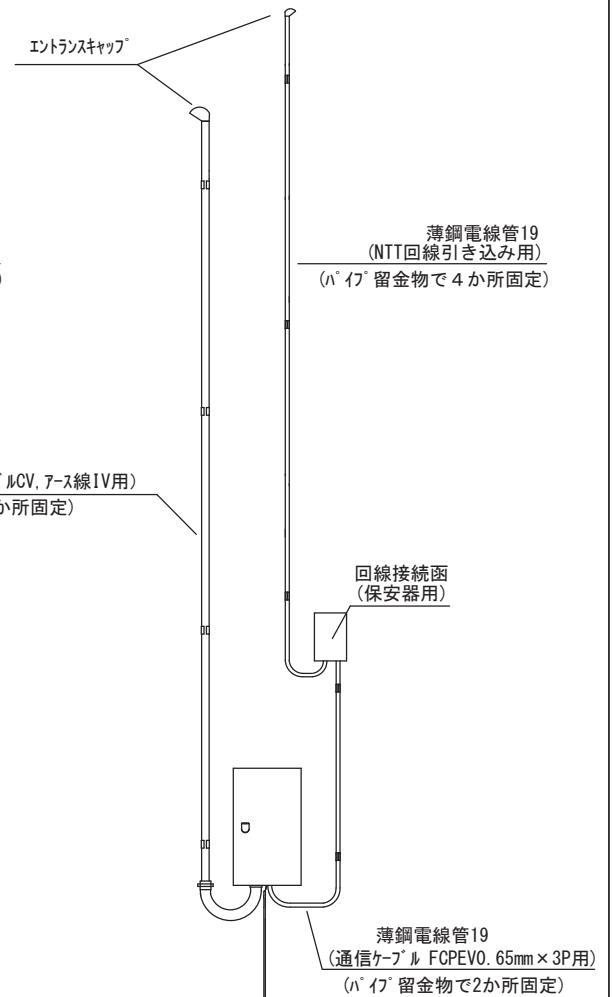
(集中制御機配管図)

(D 型配電盤使用時)



D種接地

(回線接続函使用時)



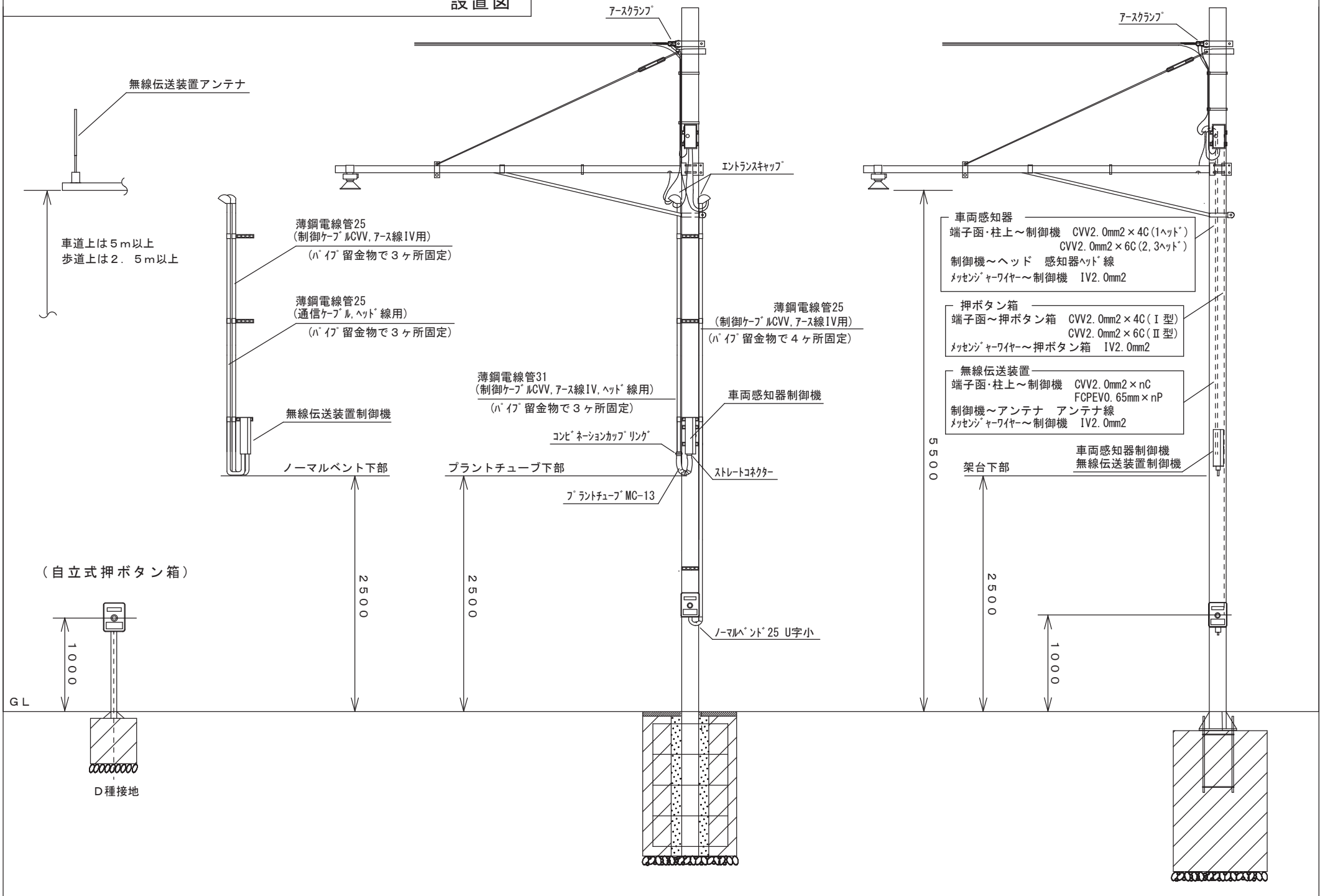
D種接地

図 番 5

車両感知器・押ボタン箱・無線伝送装置
設置図

(外配線方式)

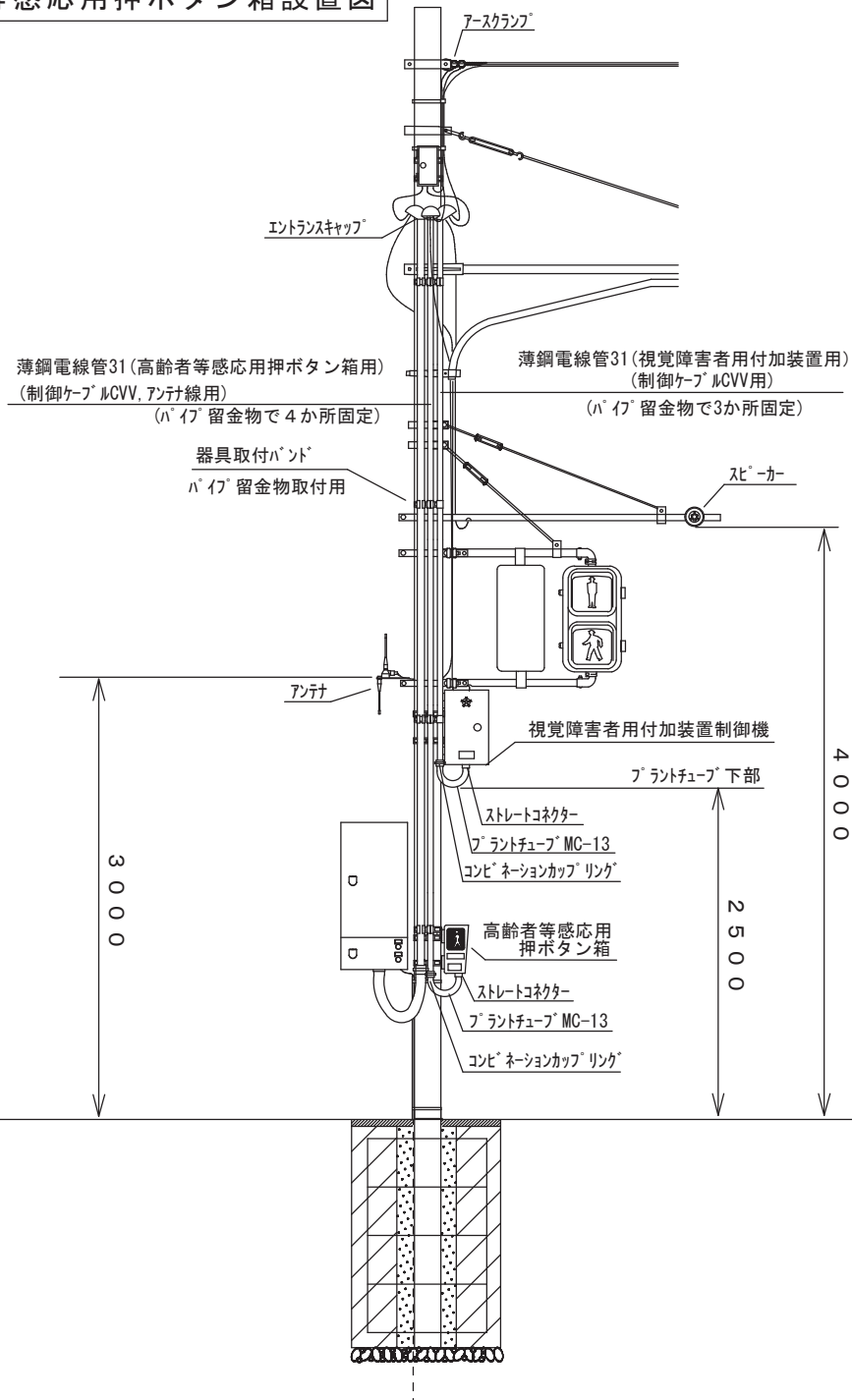
(柱内配線方式)



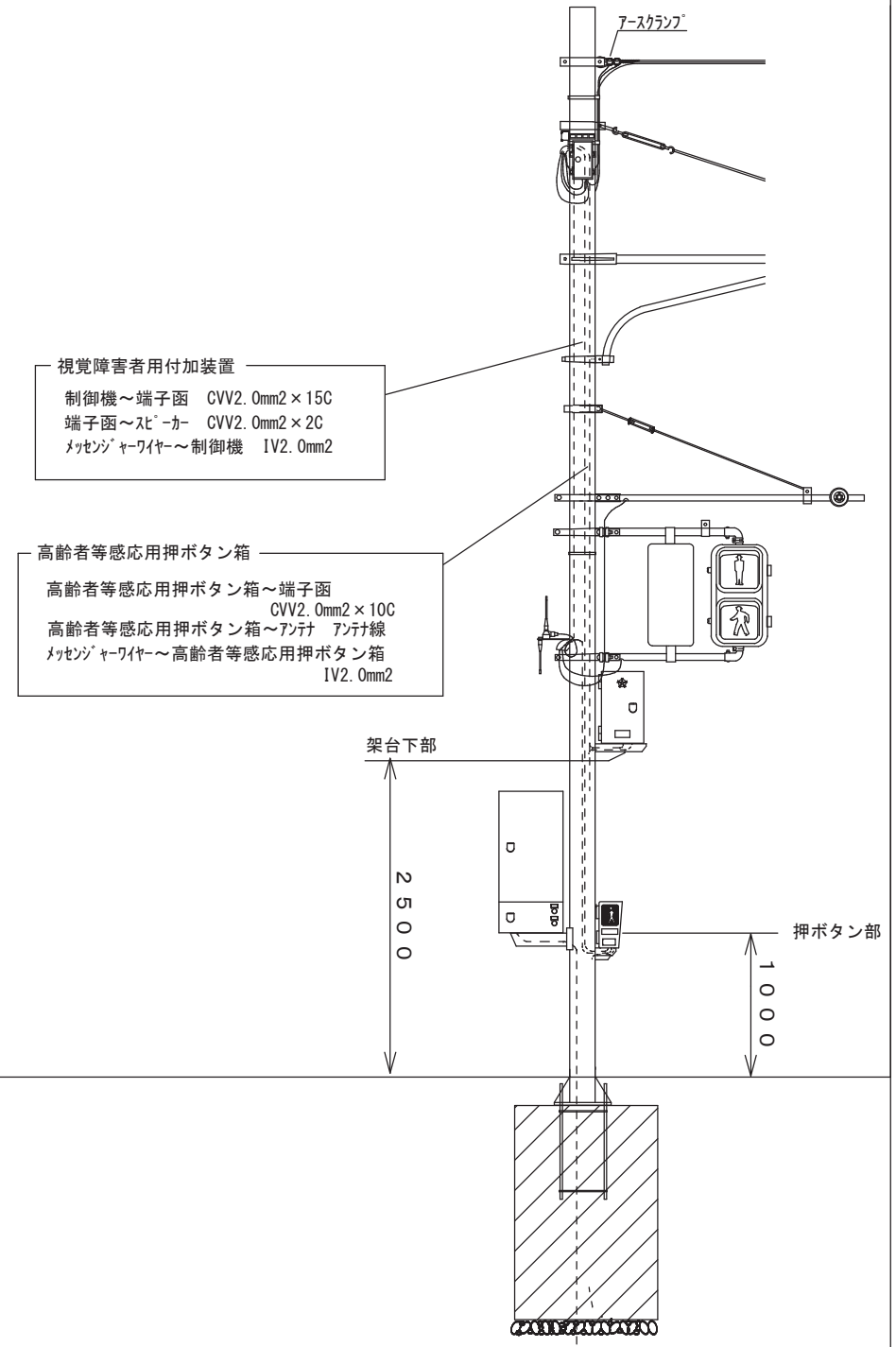
図番 6

視覚障害者用付加装置
高齢者等感応用押ボタン箱設置図

(外配線方式)



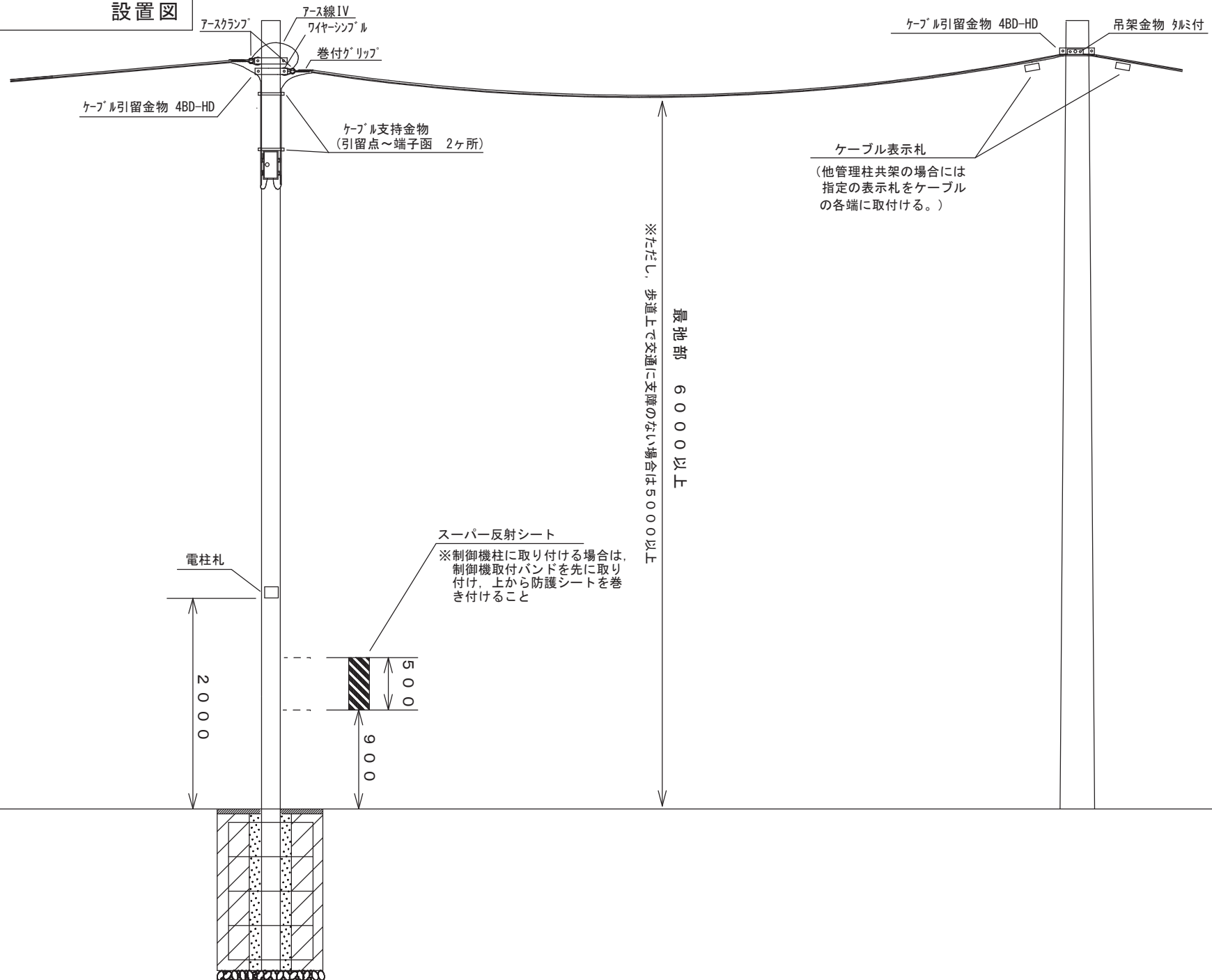
(柱内配線方式)



図番 7 架空ケーブル・専用柱
設置図

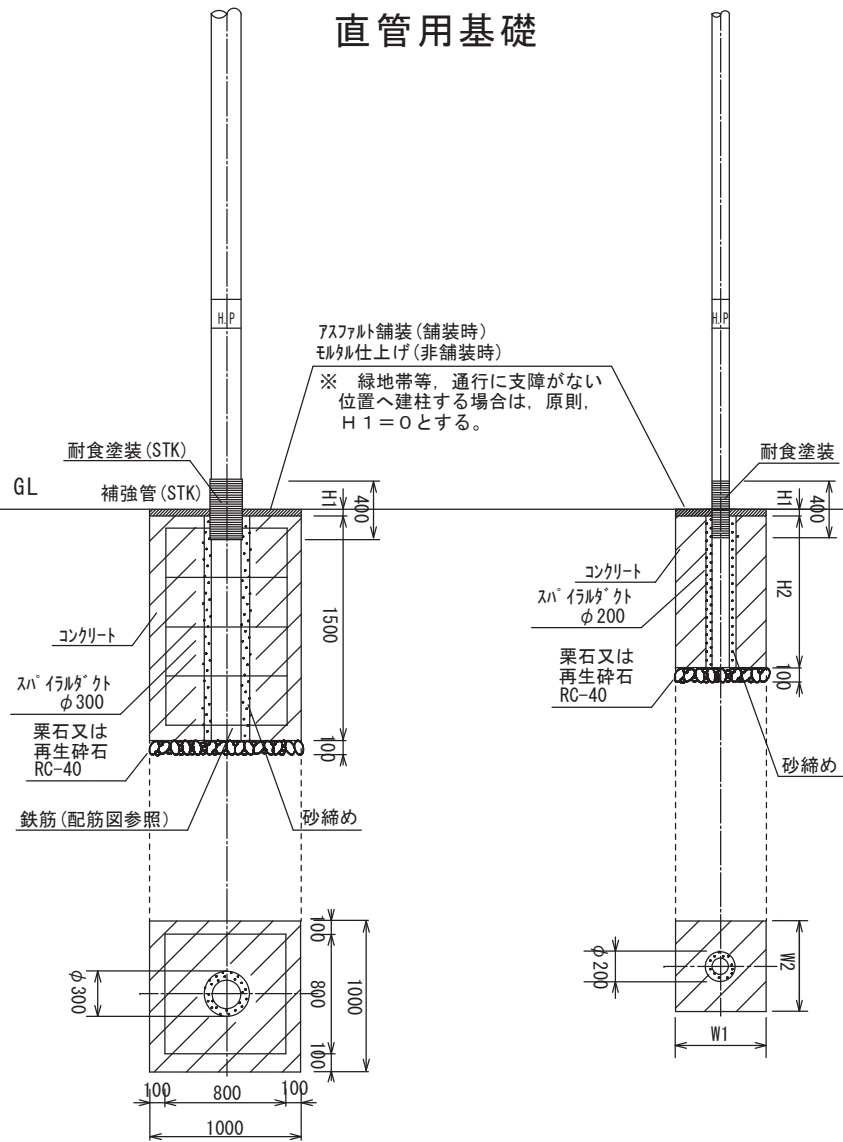
(ケーブル引留金物で引留の場合)

(吊架金物で引留の場合)



図番 8 専用柱基礎仕様図

直管用基礎

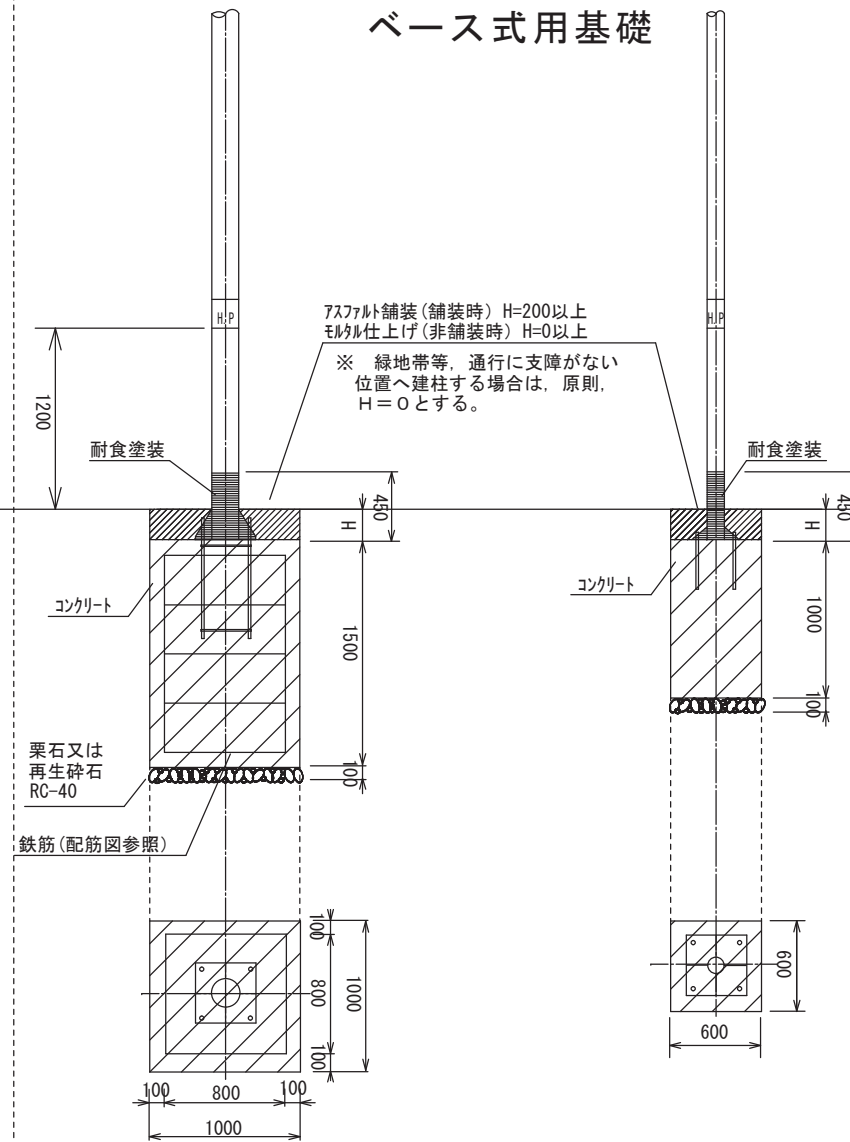


適用 : CP9-14-500
STKφ165.2-9000L 直管
STKφ190.7-9000L 直管
STKφ216.3-9000L 直管

適用 : STKφ114.3-6000L 直管
(H2=1000 W1=600 W2=600)
STKφ114.3-9000L 直管
(H2=1500 W1=800 W2=800)

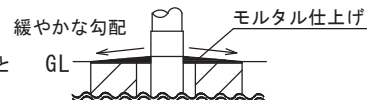
※ H・H1=0の場合
地際部に雨水等が溜まらないように, モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること
基礎上部に土砂等を被せないこと

ベース式用基礎

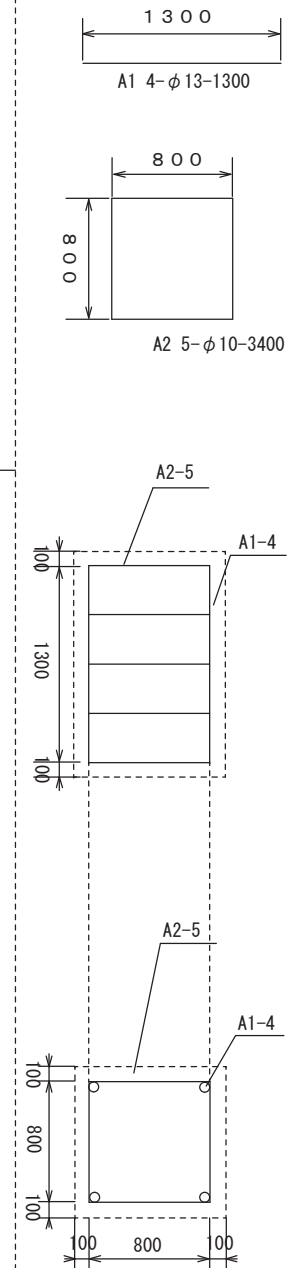


適用 : STKφ165.2 BP-1, 2, 4~6
STKφ190.7 BP-1, 2, 4~6
STKφ216.3 BP-1, 2, 4~6

適用 : STKφ114.3 ベース式

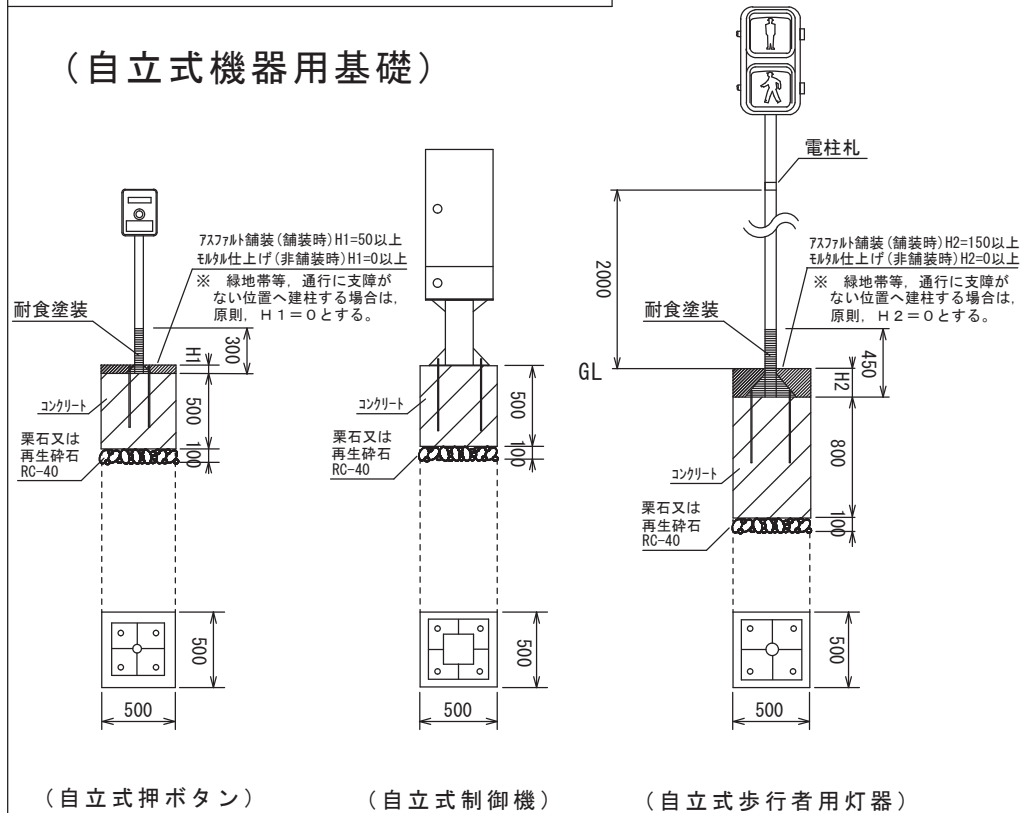


配筋図



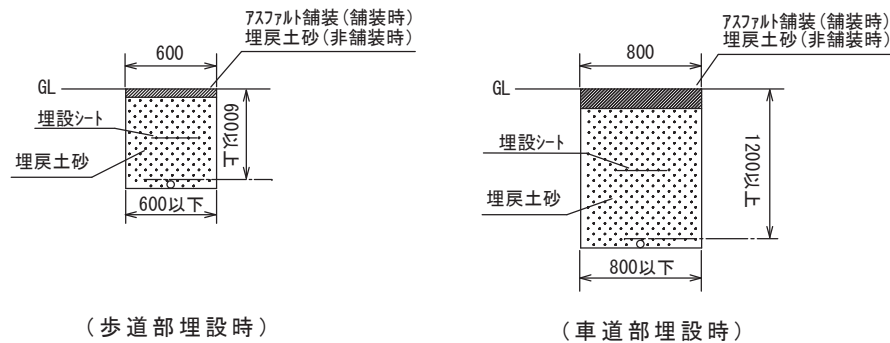
図番 9 管路埋設 自立式機器用基礎等仕様図

(自立式機器用基礎)



※ H1・H2=0の場合
地際部に雨水等が溜まらないように、モルタル金ごてで信号柱に向けて緩やかな勾配をつけること
基礎上部に土砂等を被せないこと

(管路埋設)



曲管用基礎

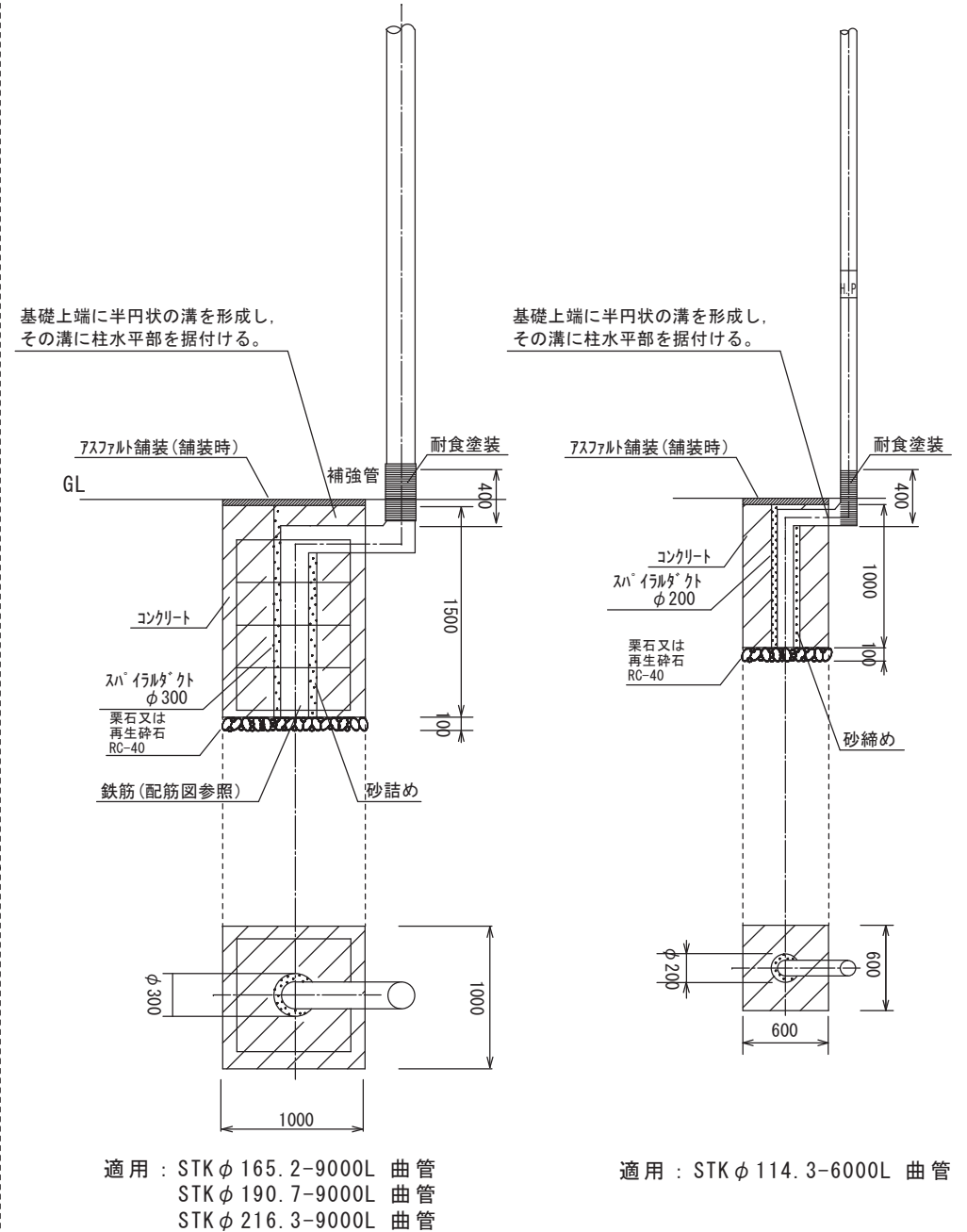
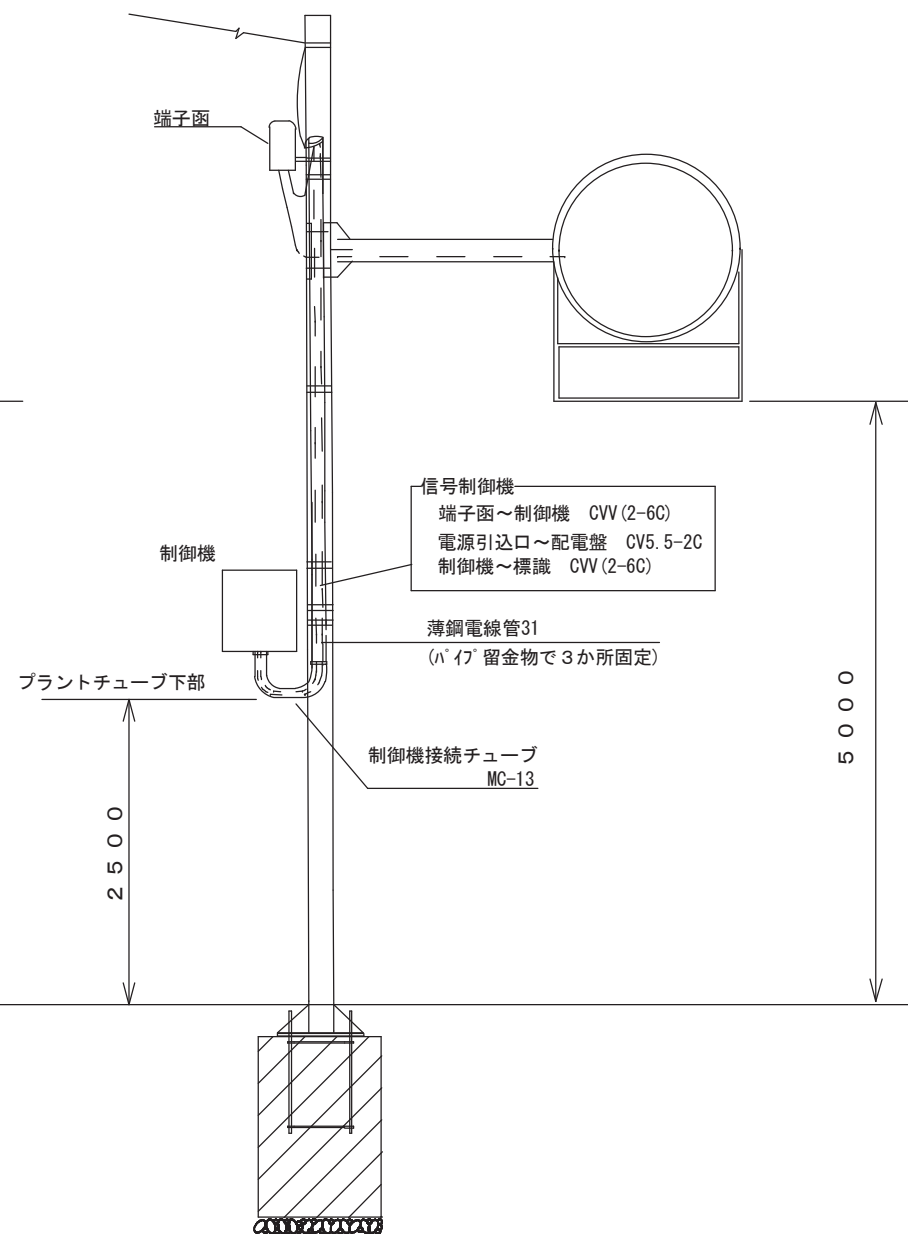
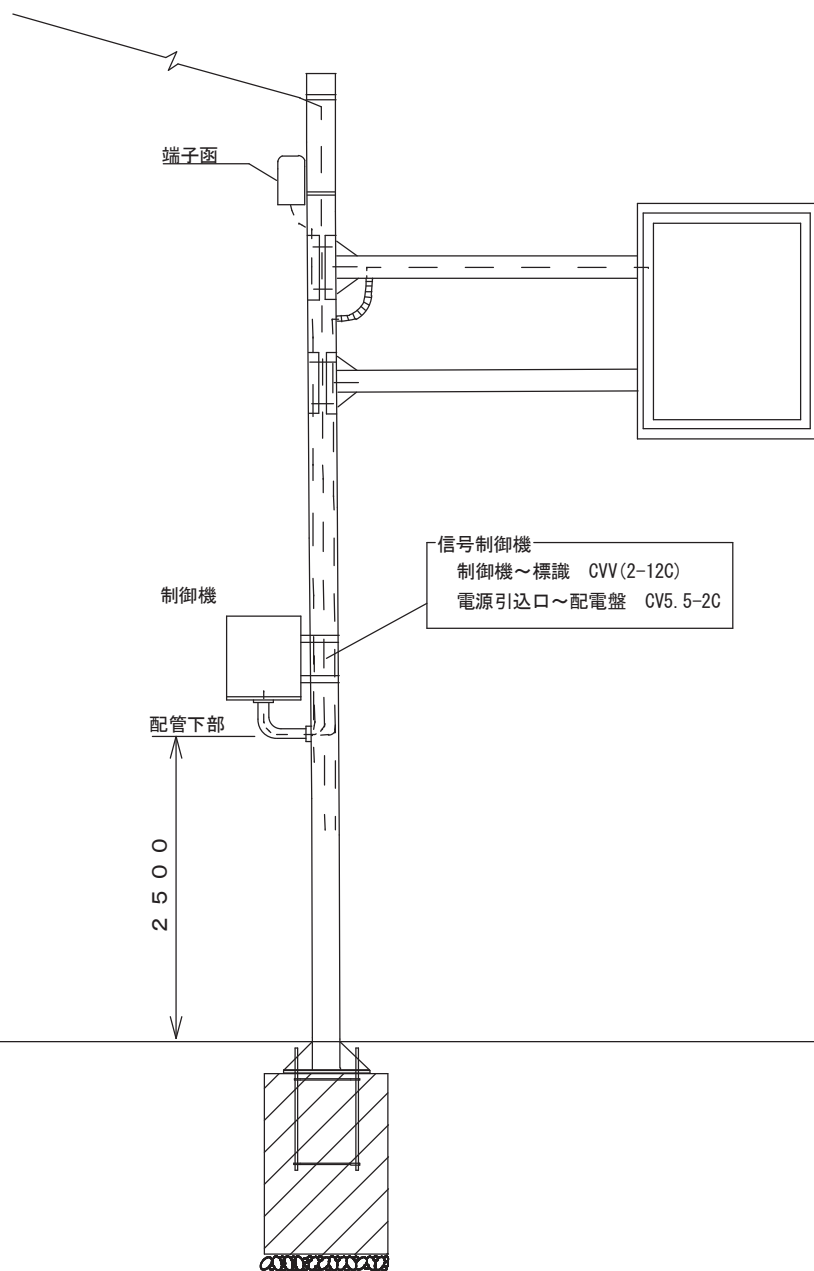


図 番 1 0 可変標識設備設置図

(3 可変灯火式)

(単独全反射式)



土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について

1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。

(1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。

ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。

イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。

ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものをいう。

(2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

(3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。

(4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間

イ 工場製作のみが行われている期間

ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

(5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。

(6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。

2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。

ア 完全週休2日(土日)

1 (1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

イ 月単位の週休2日

1 (1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

ウ 通期の週休2日

1 (1)ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

- 11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

12 土木工事（港湾工事を含む。）に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

14 土木工事については、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したとき、港湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及 び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休2日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトロラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1)

ご協力をお願いします	
週休2日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課 電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社 電話 000-000-0000

(2)

週休2日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
(A3サイズ以上)

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07. 07. 01 (0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッカクレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
		当世代	前世代
工種	06 舗装工事		
施工地域・工事場所区分	03 一般交通影響有り(1)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0%		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0. 04%)		
消費税率 (%)	10		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良					Y1E01 レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101 レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101 レベル3
掘削 【土質, 施工方法, 押土の有無】 【障害の有無, 施工数量】	1	式			Y1E01010101 レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	180	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001 表
路体盛土工	1	式			Y1E010103 レベル3
路体盛土 【施工幅員】	1	式			Y1E01010301 レベル4
路体盛土 施工幅員2.5m未満	30	m3			SPK24040004 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路体盛土 施工幅員2.5m未満	20	m3			SPK24040004 00 単第0 -0002 表
単粒度碎石4号 30～20mm	20	m3			TTPCD0130 00
防草コンクリート	1	式			Y1E010109 レベル3
張りコンクリート 【Co規格, Co夜間割増の有無】	1	式			Y1E01010901 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	2	m3			SPK24040153 00 単第0 -0003 表
残土処理工	1	式			Y1E010110 レベル3
土砂等運搬 【土質】	1	式			Y1E01011002 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離0.2km以下	80	m3			SPK24040002 00 現場→仮置き場 単第0 -0004 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	80	m3			SPK24040007 00 仮置き場内、流用土 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離0.2km以下	80	m3			SPK24040002 00 仮置き場→現場 単第0 -0004 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	190	m3			SPK24040002 00 現場→処分場 単第0 -0006 表
残土等処分	1	式			Y1E01011003 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設発生土受入費 土砂	190	m3			T9003 00
舗装工	1	式			Y1G0103 レベル2
路面切削工 (車道部)	1	式			Y1G010301 レベル3
路面切削 【施工区分・平均切削深さ】 【段差すりつけ撤去作業の有無】	1	式			Y1G01030101 レベル4 F=0.5
路面切削 全面切削6cmを超え12cm以下 段差すりつけの撤去作業無し	1,700	m2			SPK24040303 00 夜間 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬(路面切削) 【殻種別】	1	式			Y1G01030102 レベル4 F=0.5
殻運搬(路面切削) DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)	133	m3			SPK24040304 00 夜間 単第0 -0008 表
殻処分 【殻種別】	1	式			Y1G01030103 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入 路面切削殻	312	t			T9006 00 夜間
オーバーレイ工 (車道部)	1	式			Y1G010304 レベル3
表層(車道・路肩部) 【材料種類, 材料規格, 舗装厚, 平均幅員】	1	式			Y1G01030405 レベル4 F=0.5
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	2,140	m2			SPK24040241 00 夜間 単第0 -0009 表
レベリング 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚49mm	406	m2			SPK24040241 00 夜間 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト舗装工 (車道部)	1	式			Y1G020402 レベル3
路床盛土 【施工幅員】	1	式			Y1E01010501 レベル4
路床盛土 施工幅員2.5m未満	20	m3			SPK24040005 00 単第0 -0011 表
再生クラッシュラン 40～0mm	20	m3			T0247 00
下層路盤 【路盤材種類, 路盤材規格, 仕上り厚】	1	式			Y1G02040207 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40	157	m2			SPK24040232 00 単第0 -0012 表
上層路盤 【路盤材種類, 路盤材規格, 仕上り厚】	1	式			Y1G02040208 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚150mm 1層施工	115	m2			SPK24040234 00 単第0 -0013 表
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下	115	m2			SPK24040234 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基層 【材料種類, 材料規格, 舗装厚, 平均幅員】					Y1G02040209 レベル4
	1	式			
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	115	m2			SPK24040239 00 単第0 -0015 表
アスファルト舗装工 (歩道部)	1	式			Y1G020402 レベル3
上層路盤 【路盤材種類, 路盤材規格, 仕上り厚】					Y1G02040208 レベル4
	1	式			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	266	m2			SPK24040235 00 単第0 -0016 表
表層 【材料種類, 材料規格, 舗装厚, 平均幅員】					Y1G02040211 レベル4 F=0.5
	1	式			
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚40mm	266	m2			SPK24040244 00 夜間 単第0 -0017 表
上層路盤 【路盤材種類, 路盤材規格, 仕上り厚】					Y1G02040208 レベル4
	1	式			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 路盤材(各種)	246	m2			SPK24040235 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層 【材料種類, 材料規格, 舗装厚, 平均幅員】					Y1G02040211 レベル4 F=0.5
	1	式			
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚50mm	246	m2			SPK24040244 00 夜間 単第0 -0019 表
仮舗装工					Y1G020402 レベル3
	1	式			
表層 【材料種類, 材料規格, 舗装厚, 平均幅員】					Y1G02040211 レベル4
	1	式			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	125	m2			SPK24040241 00 単第0 -0020 表
排水構造物工					Y1E0109 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010901 レベル3
	1	式			
床掘り 【土質】					Y1E01090102 レベル4
	1	式			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	90	m3			SPK24040015 00 単第0 -0021 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 【土質区分, 土質】	1	式			Y1E01090103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外 (小規模)	40	m3			SPK24040020 00 単第0 -0022 表
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
L型側溝 【幅, 高さ, Co規格】	1	式			Y1G01040301 レベル4
L型側溝A 歩車道境界ブロックAを含む	51	m			V0000000001 00 単第0 -0023 表
L型側溝B 歩車道境界ブロックBを含む	11	m			V0000000002 00 単第0 -0028 表
管(函)渠型側溝 【幅, 高さ, Co規格】	1	式			Y1G01040307 レベル4
管 (函) 渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 円形側溝 (各種) 基礎碎石有り	116	m			SPK24040094 00 単第0 -0030 表
【材料】管渠型側溝	1	式			V0000000003 00 単第0 -0031 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 【側溝規格】	1	式			Y1E01090304 レベル4
自由勾配側溝 材料別途 1000≧重量	98	m			SDT00015 00 単第0 -0032 表
【材料】自由勾配側溝	1	式			V0000000004 00 単第0 -0033 表
止水壁 【Co規格, Co夜間割増の有無】	1	式			Y1E01090901 レベル4
止水壁	2	箇所			V0000000005 00 単第0 -0035 表
集水桝	1	式			Y1E010905 レベル3
プレキャスト集水桝 【桝規格】	1	式			Y1E01090504 レベル4
プレキャスト集水桝 管渠型側溝 (管理桝)	5	基			V0000000015 00 単第0 -0036 表
【材料】管渠型側溝管理桝	1	式			V0000000016 00 単第0 -0038 表

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
プレキャスト集水桝 L35号、R35号集水桝	2	基			V0000000013 00 単第0 -0039 表
【材料】L35号、R35号集水桝	1	式			V0000000014 00 単第0 -0043 表
管渠工	1	式			Y1E010904 レベル3
暗渠排水管 【作業区分, 管種別, 管径】	1	式			Y1E01090403 レベル4
暗渠排水管	1	式			V0000000006 00 単第0 -0044 表
縁石工	1	式			Y1G0206 レベル2
縁石工	1	式			Y1G020603 レベル3
歩車道境界ブロック 【ブロック規格】	1	式			Y1G02060301 レベル4
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜両面R 設置 RC-40 養生工有り	116	m			SPK24040287 00 縁石工A 単第0 -0051 表

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック 水抜きB種(H250用箱型 L600) 片斜両面R 設置 RC-40 養生工有り	17	m			SPK24040287 00 縁石工A 単第0 -0052 表
歩車道境界ブロック 端部B種(H250用 L600) 片斜両面R 設置 RC-40 養生工有り	10	m			SPK24040287 00 縁石工A 単第0 -0053 表
歩車道境界ブロック 歩道接続部(180/204×120×600) 設置 RC-40 養生工有り	77	m			SPK24040287 00 縁石工B 単第0 -0054 表
地先境界ブロック 【ブロック規格】	1	式			Y1G02060302 レベル4
地先境界ブロックA A種(120×120×600) 設置 RC-40	135	m			SPK24040288 00 一般部 単第0 -0055 表
地先境界ブロックB A種(120×120×600) 設置 RC-40 養生工有り	80	m			SPK24040288 00 車両乗入部 単第0 -0056 表
区画線工	1	式			Y1G0209 レベル2
区画線工	1	式			Y1G020901 レベル3
溶融式区画線 【施工方法区分, 規格・仕様区分, 厚さ】 【排水性舗装用の有無】	1	式			Y1G02090101 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) 実線_15cm					SDT00001 00
	340	m			単第0 -0057 表
区画線設置(溶融式) 実線_20cm					SDT00001 00
	150	m			単第0 -0058 表
区画線設置(溶融式) 破線_15cm					SDT00001 00
	150	m			単第0 -0059 表
区画線設置(溶融式) ゼブラ_45cm					SDT00001 00
	67	m			単第0 -0060 表
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算					SDT00001 00
	71	m			単第0 -0061 表
標識工					Y1G0106 レベル2
	1	式			
小型標識工					Y1G010601 レベル3
	1	式			
標識柱 【柱規格, 柱長さ, 施工規模】					Y1G01060101 レベル4
	1	式			
標識柱・基礎設置(路側式) [単柱式・複柱式] 単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径 φ60.5 [規]2基以下					SS000067 00
	1	基			単第0 -0062 表

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識板 【標識板規格】					Y1G01060102 レベル4
	1	式			
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下					SS000223 00
	2	基			単第0 -0063 表
道路付属施設工					Y1G0107 レベル2
	1	式			
道路付属物工					Y1G010702 レベル3
	1	式			
車線分離標 【車線分離標規格, 施工区分, 施工規模】					Y1G01070204 レベル4
	1	式			
車線分離標(固定式)(貼付式) 設置 高さ_650mm [規]30本以上					SS000095 00
	38	本			単第0 -0064 表
視覚障がい者誘導タイル工 【規格】					Y1H04030504 レベル4
	1	式			
視覚障がい者誘導タイル設置工 MMA樹脂製 300*600 相当品 普通舗装用 車両乗入無 施工量10m2～15m					V0000000007 00
	15	m2			単第0 -0065 表
道路鋸 【道路鋸規格, 施工区分, 施工規模】					Y1G01070203 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
道路鈺(貼付式) 設置 両面反射 [規]10個以上30個未満					SS000091 00
	17	個			単第0 -0066 表
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
	1	式			
防護柵撤去工					Y1E011201 レベル3
	1	式			
防護柵撤去(ガードレール)					Y1E01120101 レベル4
	1	式			
防護柵撤去 土中建込 A, B, C(支柱間隔4m)					SS000127 00
	15	m			ガードレール 単第0 -0067 表
防護柵(横断・転落防止柵)撤去					Y1E01120103 レベル4
	1	式			
横断・転落防止柵 防護柵撤去 コンクリート建込 ビーム式・パネル式					SS000153 00
	73	m			転落防止柵 単第0 -0068 表
道路付属物撤去工					Y1E011203 レベル3
	1	式			
車線分離標撤去 【施工区分, 施工規模】					Y1E01121102 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
車線分離標(固定式)(貼付式) 撤去 [規]10本未満					SS000095 00
	5	本			単第0 -0069 表
構造物取壊し工					Y1E011206 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分, 工法区分】					Y1E01120601 レベル4
	1	式			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00
	33	m3			単第0 -0070 表
舗装版切断 【舗装版種別, 舗装版の全体厚】					Y1E01120602 レベル4
	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00
	380	m			単第0 -0071 表
舗装版破碎 【舗装版種別, 舗装版厚】					Y1E01120603 レベル4
	1	式			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下					SPK24040305 00
	590	m2			単第0 -0072 表
排水構造物撤去工					Y1E011208 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
蓋版撤去 【蓋種類】	1	式			Y1E01120813 レベル4
蓋版撤去	1	式			V0000000008 00
運搬処理工	1	式			単第0 -0073 表 Y1E011216 レベル3
殻運搬 【殻種別】	1	式			Y1E01121601 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.0km超)	44	m3			SPK24040151 00
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	33	m3			単第0 -0076 表 SPK24040151 00
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)	3	m3			単第0 -0077 表 SPK24040151 00
殻処分 【殻種別】	1	式			単第0 -0078 表 Y1E01121602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート塊受入費 再生工場搬入 無筋	102	t			T9004 00
コンクリート塊受入費 再生工場搬入 鉄筋	77	t			T9005 00
アスファルト殻受入費 再生工場搬入 舗装版破碎	8	t			T9007 00
現場発生品運搬 【発生材種類】	1	式			Y1E01121603 レベル4
現場発生品 積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	1.12	t			SPK24040411 00
現場発生品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)	1.12	t			ガードレール、転落防止柵 単第0 -0079 表 SPK24040410 00
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]、現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					単第0 -0080 表 #0046
スクラップ控除 鉄屑(ヘビーH3)	1.12	t			T9008 00
現場発生品運搬 【発生材種類】	1	式			Y1E01121603 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品_積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	0.01	t			SPK24040411 00 廃プラスチック 単第0 -0079 表
現場発生品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)	0.01	t			SPK24040410 00 単第0 -0081 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
廃プラスチック処分	0.01	t			T9009 00
道路防災設備工	1	式			Y1G0211 レベル2
信号機等移設工	1	式			Y1G010702 レベル3
信号機等移設	1	式			Y490032706K レベル4
信号機等移設	1	式			V0000000009 00 単第0 -0082 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046

本工事費 内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
信号機等移設_機器	1	式			V0000000011 00 単第0 -0102 表
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B	171	人			R0369 00
交通誘導警備員	1	式			Y1E01152101 レベル4 F=0.5
交通誘導警備員B 【夜間】 設計労務単価の補正割増し(1.5)	20	人			R0369 00
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
役務費					Z0003

本工事費 内訳表

頁0 -0021

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
役務費					YZZ03 レベル2
	1	式			
役務費					YZZ03001 レベル3
	1	式			
借地料 土地の借上げ等に要する費用					YZZ03001001 レベル4
	1	式			
借地料 借地面積100m2, 借地日数2.9ヶ月					F5000000001 00
	1	式			
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
建設機械運搬費					YZZ04001001 レベル4
	1	式			
建設機械の貨物自動車等による運搬 路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 片道運搬距離 23.3km 往復運搬					S1000013 00
	1	回			単第0 -0103 表

本工事費 内訳表

頁0 -0022

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費					
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
※※工事原価※※					
一般管理費率分					前払補正率… 率参照額……
計算情報…… 対象額…… 率……					
契約保証費					
計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費 内訳表

頁0 -0023

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額……… 率………					
工事費					

附帯工事 内訳表

頁0 -0024

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
附帯工事					X2000
管路施設(開削工法)					Y1I01 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y1I0101 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01010101 レベル4
機械掘削工(小型バックホウ)	1	式			SG1D0001001 00
管路埋戻	2	m3			単第0 -0106 表 Y1I01010102 レベル4
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	1	式			SG1D0002002 00
再生粒度調整砕石 30～0mm	1	m3			単第0 -0108 表 TTPC00010 00
	1	m3			

附帯工事 内訳表

頁0 -0025

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシャー 40～0mm	0.3	m3			T0247 00
石材小型車割増	1	m3			F9000000017 00
発生土処理	1	式			Y1I01010103 レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	2	m3			SG1E0003002 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					単第0 -0110 表 #0041
発生土受入費 再資源化施設 L=2.7km	2	m3			F9000000021 00
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3
組立1号マンホール	1	式			Y1I01020202 レベル4

附帯工事 内訳表

頁0 -0026

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
福山市型鑄鉄製マンホールふた（高機能） T-25（転落防止装置含む）φ600mm口環付 分流通	6	枚			F9000000004 00
高さ調整部材 調整高 25～75mm 福山市承認型 M16	6	個			F9000000011 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	1	個			TH003098 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	2	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	2	個			TH003102 00
無収縮モルタル 25kg袋	7	袋			TH003190 00
型枠 無収縮流動性モルタル用	6	回			F9000000016 00
蓋(受枠とも)及び調整Coブロック据付工	5	組			SG1D0044004 00
蓋(受枠とも)及び調整Coブロック据付工	1	組			単第0 -0112 表 SG1D0044004 00
					単第0 -0113 表

附帯工事 内訳表

頁0 -0027

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	1	個			TH003064 00
ブロック据付工 (斜壁,直壁等又はスラブの作業)	1	個			SG1D0044003 00 単第0 -0114 表
既設構造物撤去工	1	式			Y1I010609 レベル3
既設人孔撤去	1	式			Y1I01060903 レベル4
蓋(受枠とも)及び調整Coブロック撤去工	6	組			VG1D0044005 00 単第0 -0115 表
ブロック撤去工 (斜壁,直壁等又はスラブの作業)	1	個			VG1D0044003 00 単第0 -0116 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	0.1	m3			SDT00031 00 単第0 -0070 表
殻運搬処理	1	式			Y1I01060105 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	0.4	m3			SPK24040151 00 単第0 -0117 表

附帯工事 内訳表

頁0 -0028

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co塊受入費 再資源化施設	0.9	t			F9000000023 00
現場発生品運搬	1	式			Y1I01060621 レベル4
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	0.5	t			SPK24040411 00 単第0 -0118 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)	0.5	t			SPK24040410 00 単第0 -0119 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ 鉄屑	0.5	t			F9000000020 00
付帯工	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3

附帯工事
 内訳表

頁0 -0029

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断					Y1I01060101 レベル4
	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK24040306 00
	44	m			単第0 -0071 表
舗装版破碎(小規模)					Y1I01060103 レベル4
	1	式			
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK24040018 00
	17	m2			単第0 -0120 表
殻運搬処理					Y1I01060105 レベル4
	1	式			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)					SPK24040151 00
	3	m3			単第0 -0121 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As塊受入費 再資源化施設					F9000000022 00
	8	t			
舗装復旧工					Y1I010603 レベル3
	1	式			

附帯工事
 内訳表

頁0 -0030

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤(歩道部)					Y1I01060303 レベル4
	1	式			
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RC-40					SPK24040233 00
	2	m2			単第0 -0122 表
石材小型車割増					F9000000017 00
	0.5	m3			
上層路盤(歩道部)					Y1I01060305 レベル4
	1	式			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚150mm 1層施工 RM-30					SPK24040235 00
	12	m2			単第0 -0123 表
石材小型車割増					F9000000017 00
	2	m3			
上層路盤(車道・路肩部)					Y1I01060304 レベル4
	1	式			
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下					SPK24040234 00
	13	m2			単第0 -0124 表
基層(歩道部)					Y1I01060307 レベル4
	1	式			

附帯工事
 内訳表

頁0 -0031

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当たり平均仕上厚50mm	17	m2			SPK24040242 00 単第0 -0125 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(歩道部)	1	式			Y1I01060409 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当たり平均仕上厚50mm	17	m2			SPK24040244 00 単第0 -0126 表
仮設工	1	式			Y1I0105 レベル2
交通管理工	1	式			Y1I010501 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1I01050101 レベル4
交通誘導警備員B 3人配置	11	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

附帯工事
 内訳表

頁0 -0032

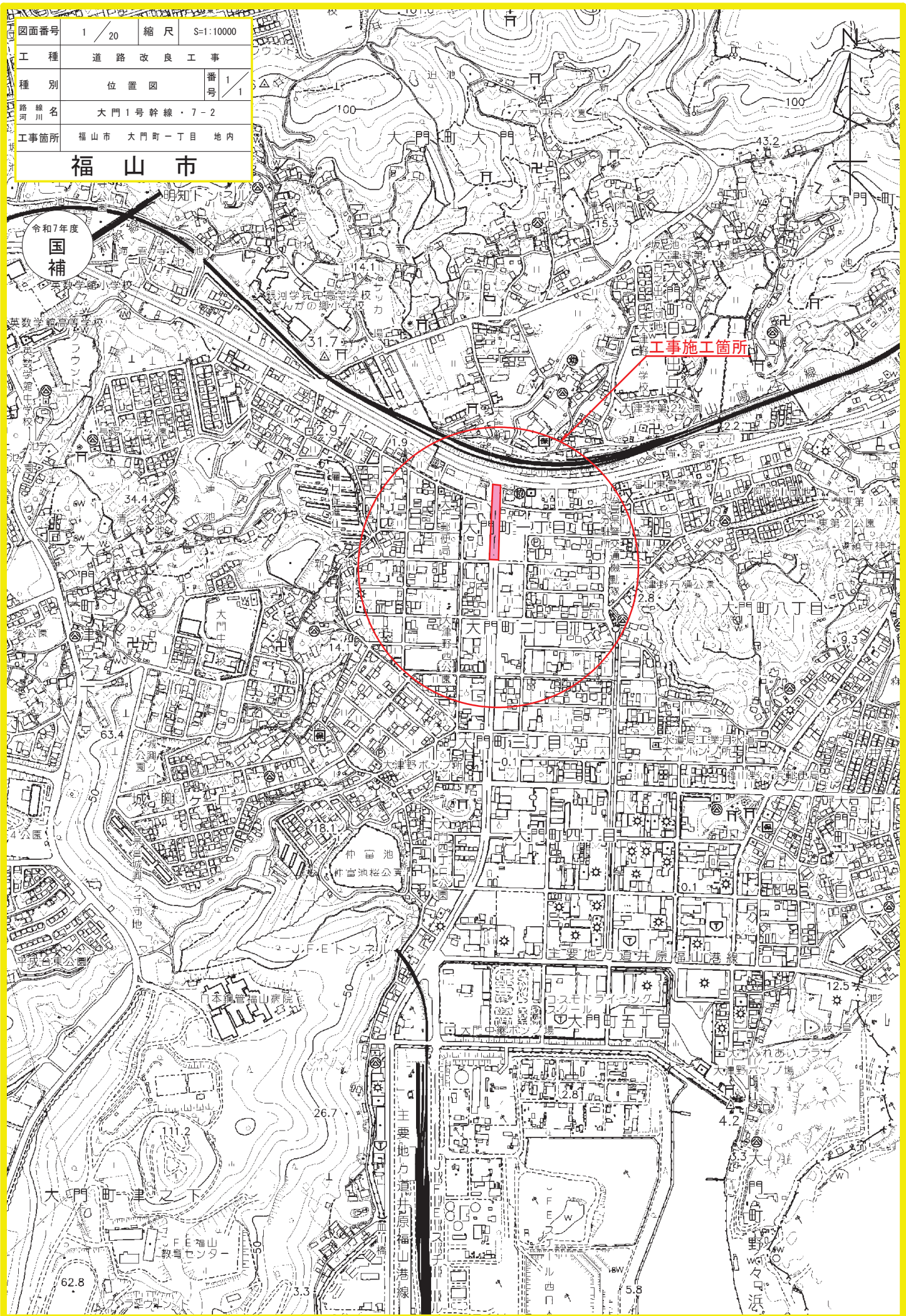
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					率参照額……
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 率参照額……
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

附帯工事
 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費					
工事費計					
契約保証費計					

図面番号	1 / 20	縮 尺	S=1:10000
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	位 置 図	番 号	1 / 1
路 線 名	大 門 1 号 幹 線 ・ 7 - 2		
工事箇所	福 山 市 大 門 町 一 丁 目 地 内		
福 山 市			

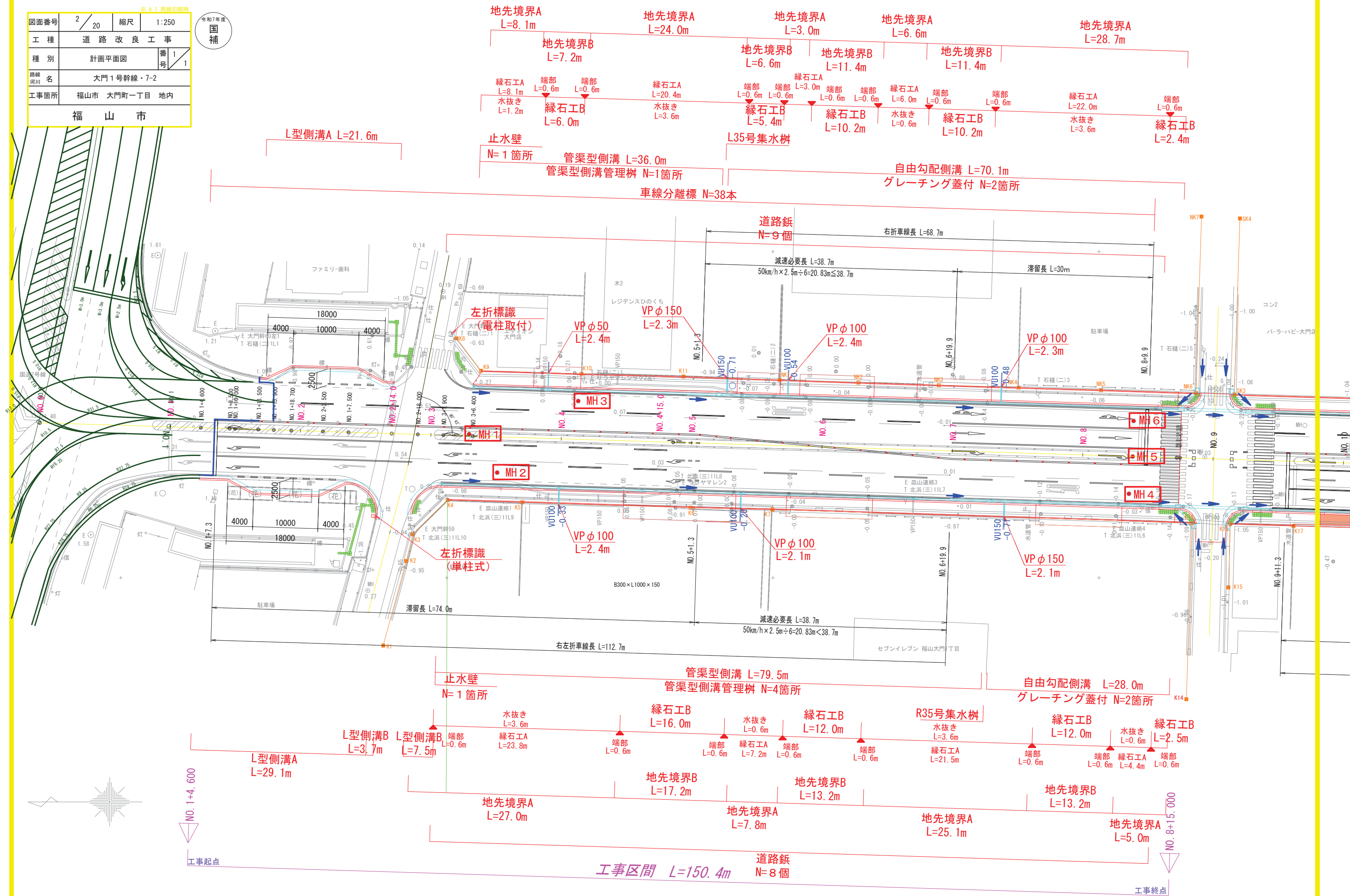
令和7年度
国補



図面番号	2 / 20	縮尺	1:250
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	計画平面図	番号	1 / 1
路線 河川	大門 1 号幹線・7-2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

※ A 1 用紙印刷時

令和7年度
国補



※ A Ⅰ 用紙印刷時

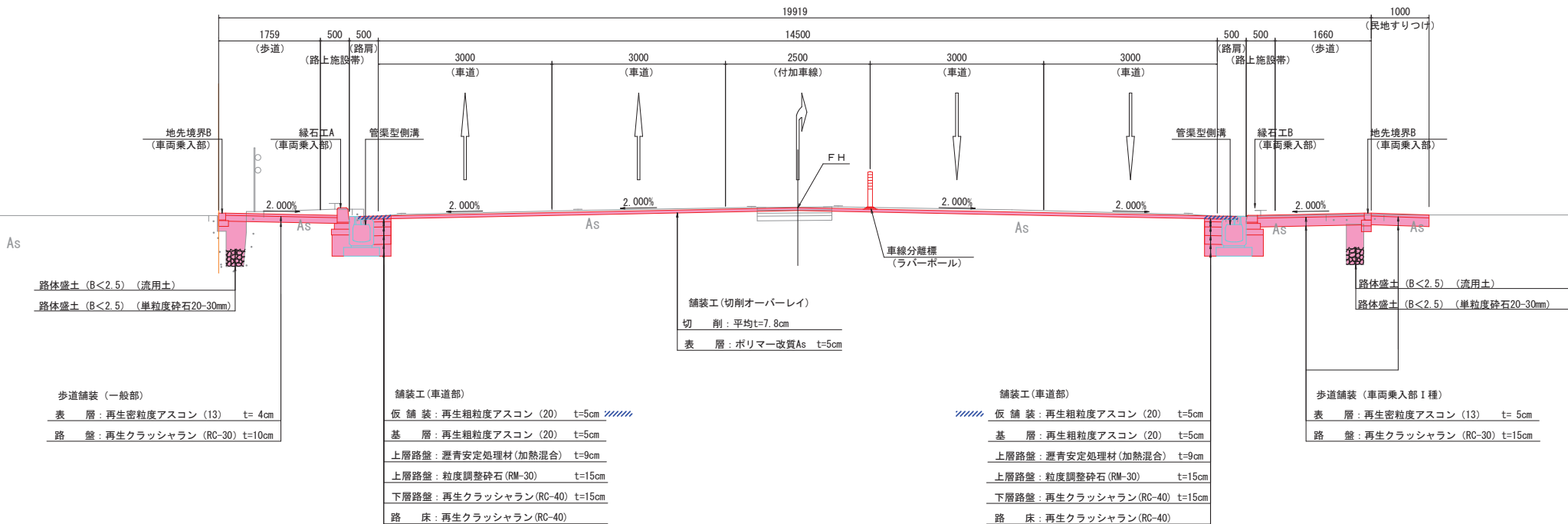
図面番号	4 / 20	縮尺	1:50
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	標準断面図	番 号	1 / 1
路線 河川	大門 1 号幹線・7-2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

※ポリマー改質アスファルトは（シナヤカファルト）と同等以上の材料を使用する

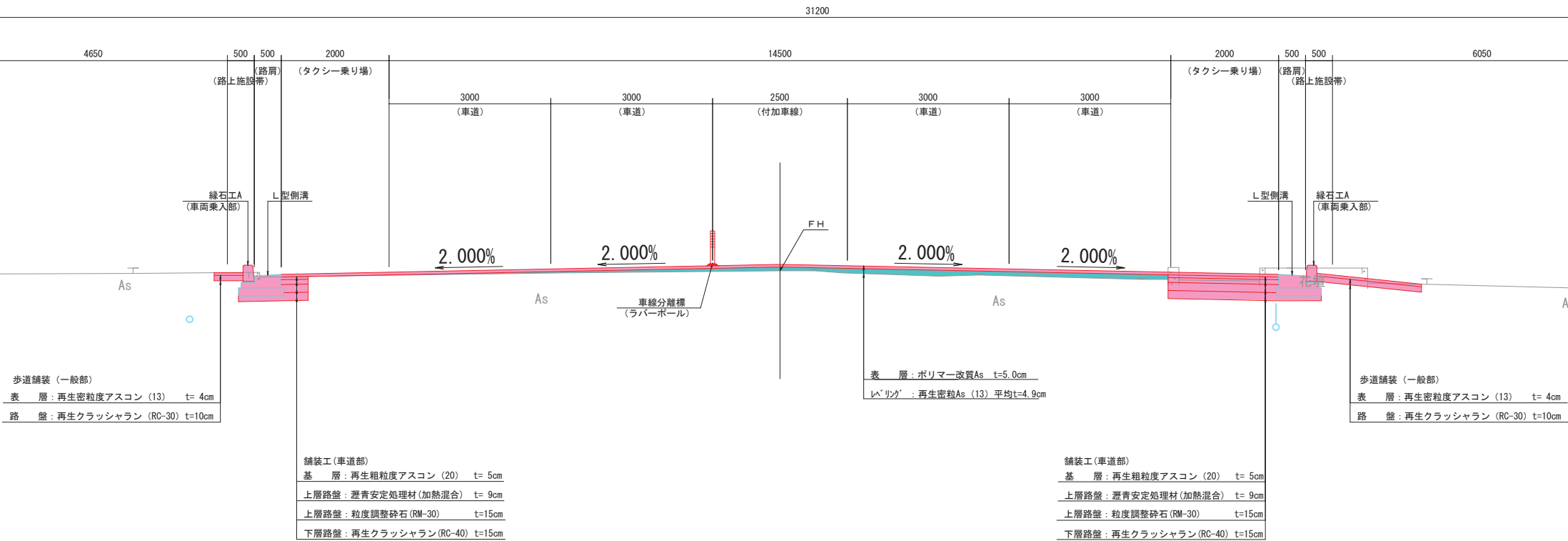


設 計 条 件	
路 線 名	大門 1 号幹線
道 路 規 格	第4種第1級（第4種第2級）
設 計 速 度	V=50km/h
舗装計画交通量	N6交通1,000～3,000（28,500台/日）
設計C B R	8%以上

NO. 8付近



NO. 2付近



※ A 1 用紙印刷時

図面番号

5 / 20

縮尺

1:100

工種

道路改良工事

種別

横断面図

番号

1 / 3

路線
河川

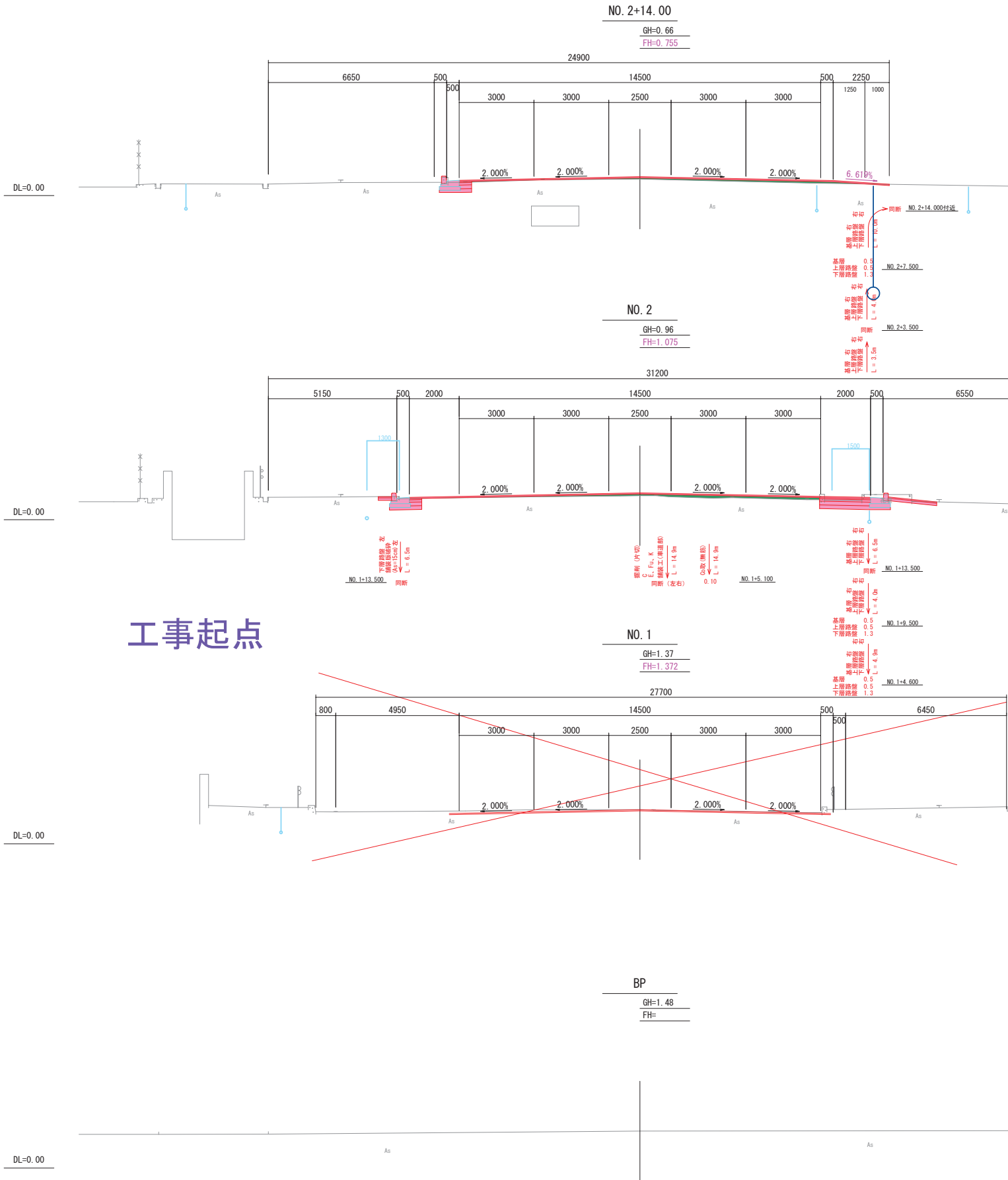
大門1号幹線・7-2

工事箇所

福山市 大門町一丁目 地内

福山市

令和7年度
国補



NO. 2+14.00			
道路土工		舗装工(車道部)	
掘削 (F-P)	m ²	表層 (t=5cm)	m
掘削 (片切)	m ²	基層 (t=5cm)	m
路体盛土 (B<2.5)	m ²	上層路盤 (t=9cm)	m
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	上層路盤 (t=15cm)	m
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	下層路盤 (t=15cm)	m
路床盛土 (B<2.5)	m ²	路床	m
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	レベリング	m
路床盛土 (4.0≤B)	m ²		
擁コンクリート	m ²		
作業土工			
床固(土砂)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤R<4.0)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 R<1.0)	m ²		
基面整正	m		
構造物撤去工			
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²		
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²		
舗装版破砕	左側(m) 右側(m)		
71.7x81舗装 (t=4cm)	—		
71.7x81舗装 (t=15cm)	1.0		
NO. 2			
道路土工		舗装工(車道部)	
掘削 (F-P)	m ²	表層 (t=5cm)	m
掘削 (片切)	m ²	基層 (t=5cm)	m
路体盛土 (B<2.5)	m ²	上層路盤 (t=9cm)	m
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	上層路盤 (t=15cm)	m
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	下層路盤 (t=15cm)	m
路床盛土 (B<2.5)	m ²	路床	m
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	レベリング	m
路床盛土 (4.0≤B)	m ²		
擁コンクリート	m ²		
作業土工			
床固(土砂)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤R<4.0)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 R<1.0)	m ²		
基面整正	m		
構造物撤去工			
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²		
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²		
舗装版破砕	左側(m) 右側(m)		
71.7x81舗装 (t=4cm)	—		
71.7x81舗装 (t=15cm)	0.9		
NO. 1			
道路土工		舗装工(車道部)	
掘削 (F-P)	m ²	表層 (t=5cm)	m
掘削 (片切)	m ²	基層 (t=5cm)	m
路体盛土 (B<2.5)	m ²	上層路盤 (t=9cm)	m
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	上層路盤 (t=15cm)	m
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	下層路盤 (t=15cm)	m
路床盛土 (B<2.5)	m ²	路床	m
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²		
路床盛土 (4.0≤B)	m ²		
擁コンクリート	m ²		
作業土工			
床固(土砂)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤R<4.0)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 R<1.0)	m ²		
基面整正	m		
構造物撤去工			
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²		
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²		
舗装版破砕	左側(m) 右側(m)		
71.7x81舗装 (t=4cm)	—		
71.7x81舗装 (t=15cm)	—		
BP			
道路土工		舗装工(車道部)	
掘削 (F-P)	m ²	表層 (t=5cm)	m
掘削 (片切)	m ²	基層 (t=5cm)	m
路体盛土 (B<2.5)	m ²	上層路盤 (t=9cm)	m
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	上層路盤 (t=15cm)	m
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	下層路盤 (t=15cm)	m
路床盛土 (B<2.5)	m ²	路床	m
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²		
路床盛土 (4.0≤B)	m ²		
擁コンクリート	m ²		
作業土工			
床固(土砂)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤R<4.0)	m ²		
埋戻(最大埋戻幅 R<1.0)	m ²		
基面整正	m		
構造物撤去工			
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²		
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²		
舗装版破砕	左側(m) 右側(m)		
71.7x81舗装 (t=4cm)	—		
71.7x81舗装 (t=15cm)	—		

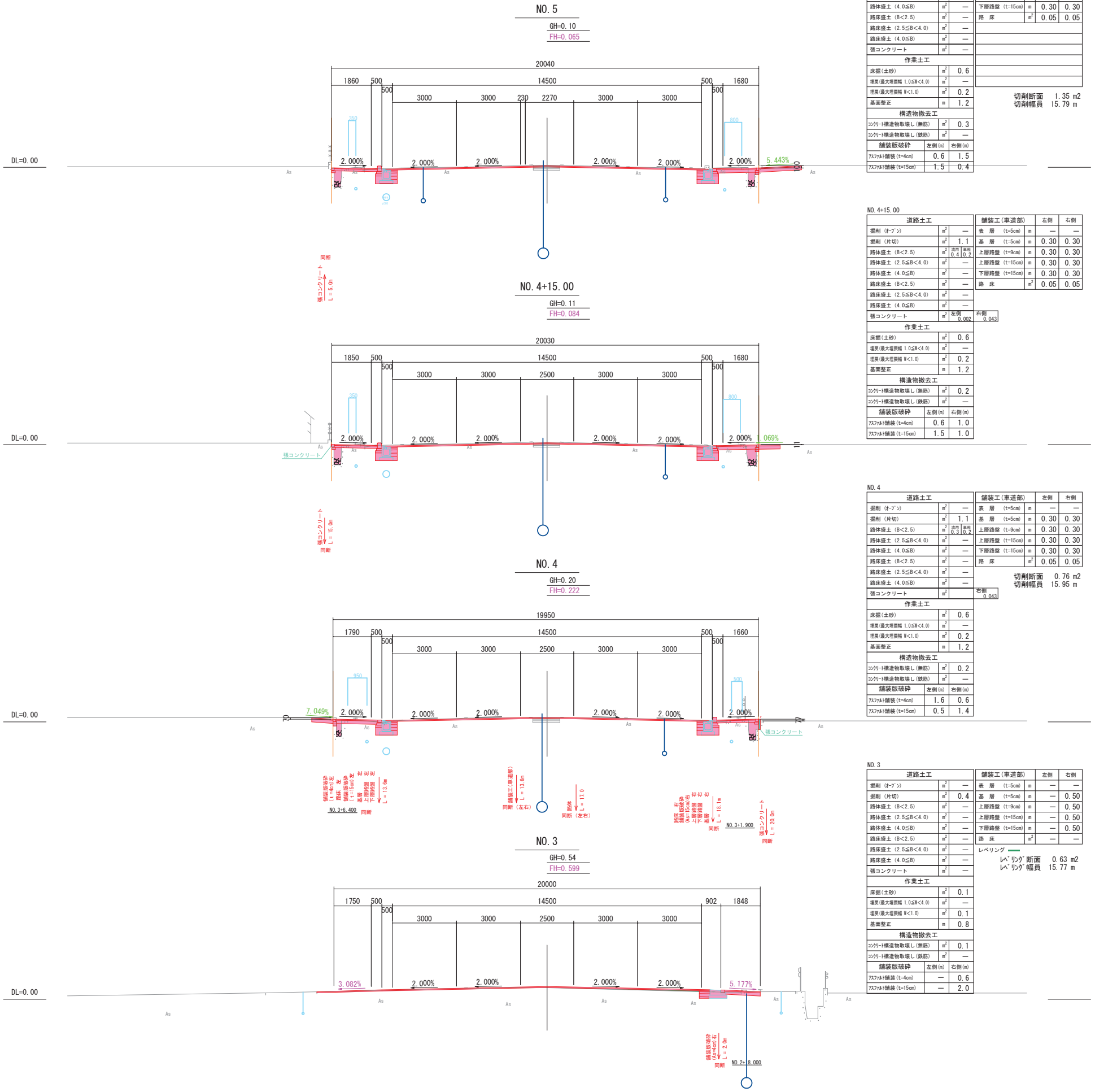
工事起点

レベリング 断面
レベリング 幅員

※ A 用紙印刷時

図面番号	6 / 20	縮尺	1:100
工種	道路改良工事		
種別	横断面図	番号	2 / 3
路線 河川	大門1号幹線・7-2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福山市			

令和7年度
国補



NO. 5		道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (F-P)	m ²	—	表層 (t=5cm)	m	—	—	—
掘削 (片切)	m ²	1.5	基層 (t=5cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (B<2.5)	m ²	0.4	上層路盤 (t=9cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—	上層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	—	下層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路床盛土 (B<2.5)	m ²	—	路床	m ²	0.05	0.05	0.05
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—					
路床盛土 (4.0≤B)	m ²	—					
強コンクリート	m ²	—					
作業土工							
床掘(土砂)	m ²	0.6					
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤B<4.0)	m ²	—					
埋戻(最大埋戻幅 B<1.0)	m ²	0.2					
基面整正	m	1.2					
構造物撤去工							
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²	0.3					
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²	—					
舗装版破砕	左側(m)	右側(m)					
717x81舗装 (t=4cm)	0.6	1.5					
717x81舗装 (t=15cm)	1.5	0.4					

切削断面
切削幅員 1.35 m²
15.79 m

NO. 4+15.00		道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (F-P)	m ²	—	表層 (t=5cm)	m	—	—	—
掘削 (片切)	m ²	1.1	基層 (t=5cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (B<2.5)	m ²	0.4	上層路盤 (t=9cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—	上層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	—	下層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路床盛土 (B<2.5)	m ²	—	路床	m ²	0.05	0.05	0.05
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—					
路床盛土 (4.0≤B)	m ²	—					
強コンクリート	m ²	0.043					
作業土工							
床掘(土砂)	m ²	0.6					
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤B<4.0)	m ²	—					
埋戻(最大埋戻幅 B<1.0)	m ²	0.2					
基面整正	m	1.2					
構造物撤去工							
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²	0.2					
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²	—					
舗装版破砕	左側(m)	右側(m)					
717x81舗装 (t=4cm)	0.6	1.0					
717x81舗装 (t=15cm)	1.5	1.0					

切削断面
切削幅員 0.76 m²
15.95 m

NO. 4		道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (F-P)	m ²	—	表層 (t=5cm)	m	—	—	—
掘削 (片切)	m ²	1.1	基層 (t=5cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (B<2.5)	m ²	0.4	上層路盤 (t=9cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—	上層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	—	下層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路床盛土 (B<2.5)	m ²	—	路床	m ²	0.05	0.05	0.05
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—					
路床盛土 (4.0≤B)	m ²	—					
強コンクリート	m ²	0.043					
作業土工							
床掘(土砂)	m ²	0.6					
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤B<4.0)	m ²	—					
埋戻(最大埋戻幅 B<1.0)	m ²	0.2					
基面整正	m	1.2					
構造物撤去工							
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²	0.2					
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²	—					
舗装版破砕	左側(m)	右側(m)					
717x81舗装 (t=4cm)	1.6	0.6					
717x81舗装 (t=15cm)	0.5	1.4					

切削断面
切削幅員 0.76 m²
15.95 m

NO. 3		道路土工		舗装工(車道部)		左側	右側
掘削 (F-P)	m ²	—	表層 (t=5cm)	m	—	—	—
掘削 (片切)	m ²	0.4	基層 (t=5cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (B<2.5)	m ²	—	上層路盤 (t=9cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—	上層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路体盛土 (4.0≤B)	m ²	—	下層路盤 (t=15cm)	m	0.30	0.30	0.30
路床盛土 (B<2.5)	m ²	—	路床	m ²	0.05	0.05	0.05
路床盛土 (2.5≤B<4.0)	m ²	—					
路床盛土 (4.0≤B)	m ²	—					
強コンクリート	m ²	—					
作業土工							
床掘(土砂)	m ²	0.1					
埋戻(最大埋戻幅 1.0≤B<4.0)	m ²	—					
埋戻(最大埋戻幅 B<1.0)	m ²	0.1					
基面整正	m	0.8					
構造物撤去工							
コンクリート構造物取壊し(無筋)	m ²	0.1					
コンクリート構造物取壊し(鉄筋)	m ²	—					
舗装版破砕	左側(m)	右側(m)					
717x81舗装 (t=4cm)	—	0.6					
717x81舗装 (t=15cm)	—	2.0					

切削断面
切削幅員 0.63 m²
15.77 m

地下埋設物 凡例	
—	上水道
—	下水道
—	ガス管 (低圧管)
—	ガス管 (中圧管)

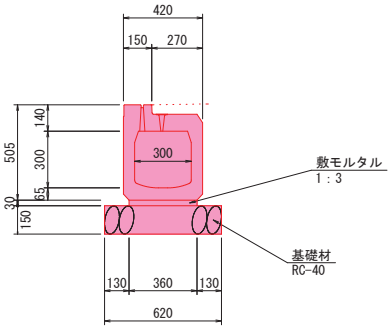
※ A 1 用紙印刷時

図面番号	8 / 20	縮尺	1 : 20
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	構造図	番 号	1 / 2
路線 河川	大 門 1 号 幹 線 ・ 7-2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

令和7年度
国補

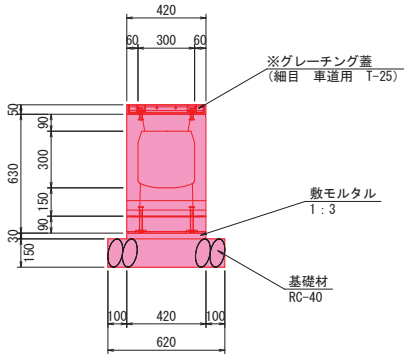
管渠型側溝
標準

図渠側溝タイプ 標準 B300×H300×L2000



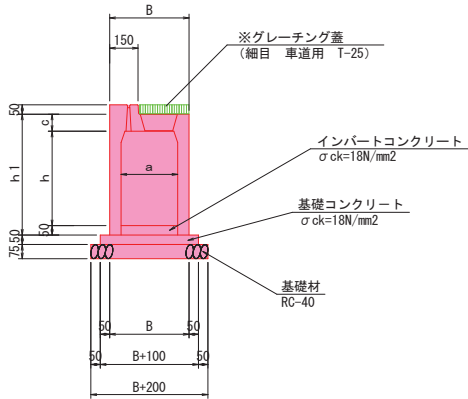
管渠型側溝
管理桧

グレーチング使用 B300×L1000×150



自由勾配側溝

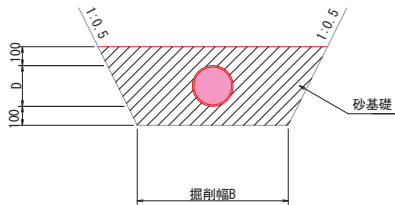
標準 B300×H600×L2000



自由勾配側溝サイズ

サイズ a×h	B	h1	c	重量(kg)
300×400	420	540	90	469
300×500	420	640		525
300×600	420	740		581
300×700	420	840		637
300×800	420	940		693
300×900	420	1040		750
300×1000	420	1140		806
300×1100	420	1240		862

塩ビ管（VU, VP）

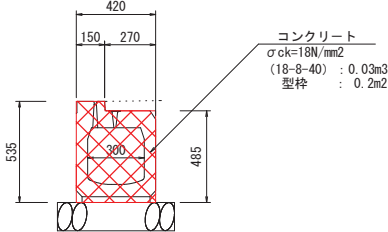


VU管, VP管砂基礎（10mあたり）

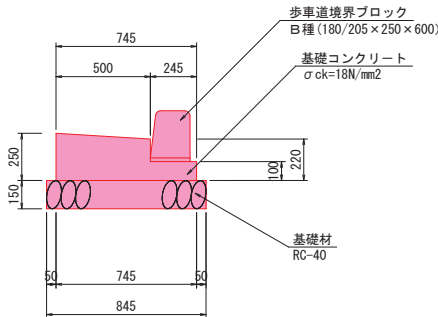
呼び径	B	D	砂基礎(m3)
φ 50	700	60	2.13
φ 65	700	76	2.27
φ 75	700	89	2.38
φ 100	750	114	2.75
φ 125	750	140	2.81
φ 150	750	165	3.19
φ 200	800	216	3.83

止水壁

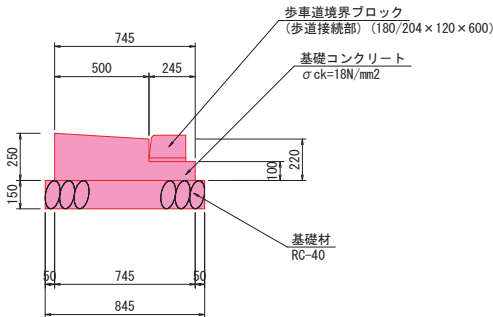
コンクリート厚=15cm



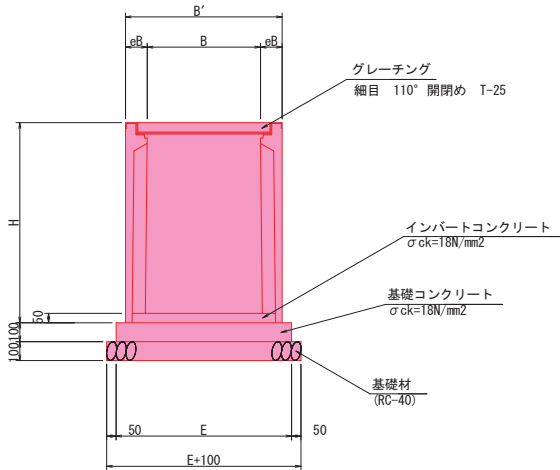
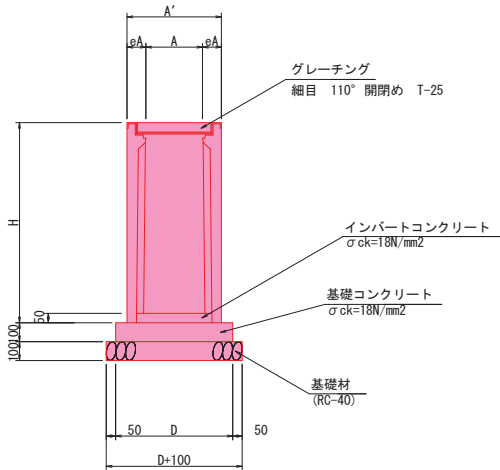
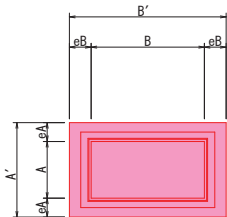
L 型側溝 A



L 型側溝 B



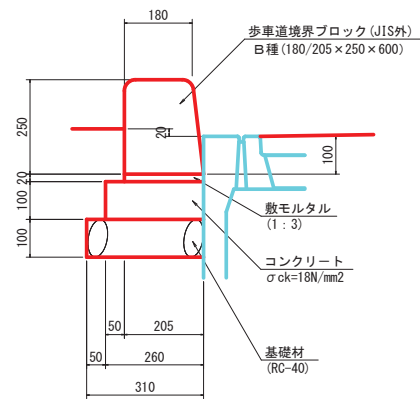
集水桧



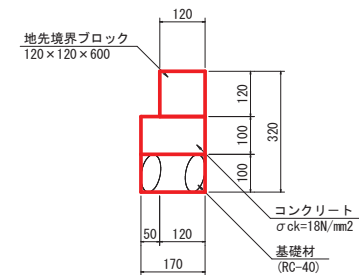
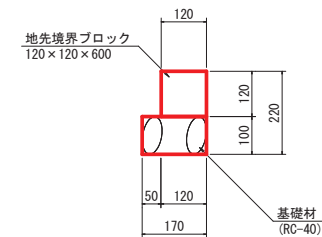
集水樹本体（左側）										基礎数量						
集水樹	サイズ	A	A′	B	B′	H	eA	eB	足掛金具	呼び名	D	E	ｼﾊﾞｰﾄ(m3)	基礎Co(m3)	型枠(m2)	基礎砕石(m2)
L35号、R35号集水樹	300×600×1000	300	500	600	830	1060	100	115	—	300×600	620	930	0.009	0.058	0.310	0.74

縁石工構造図

縁石工A



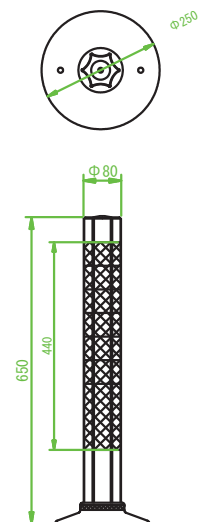
地先境界ブロックA



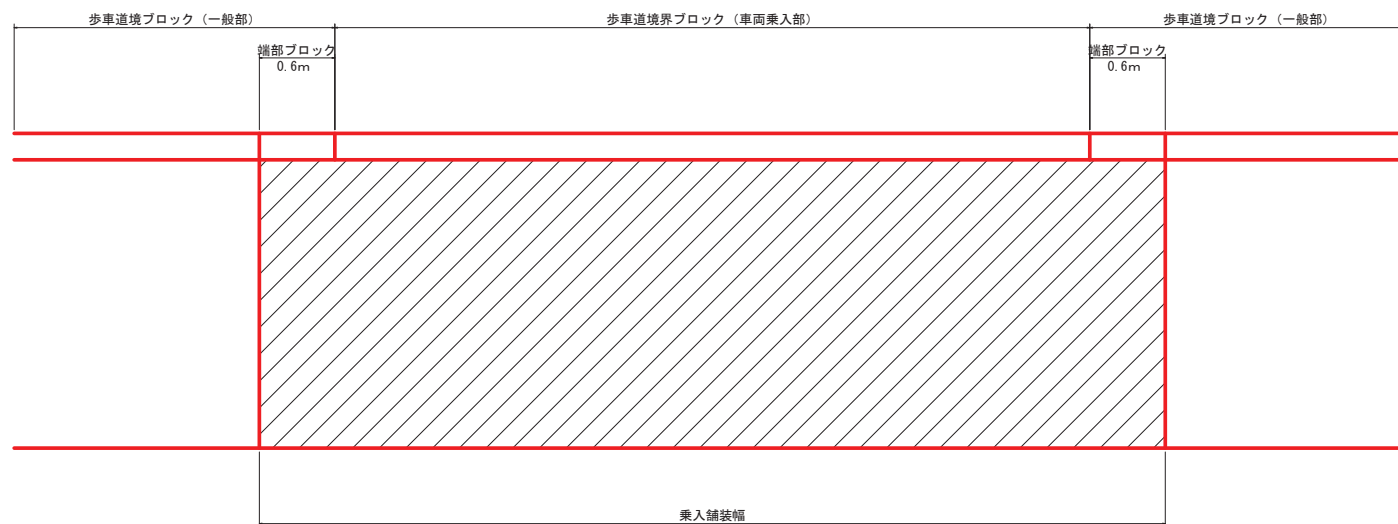
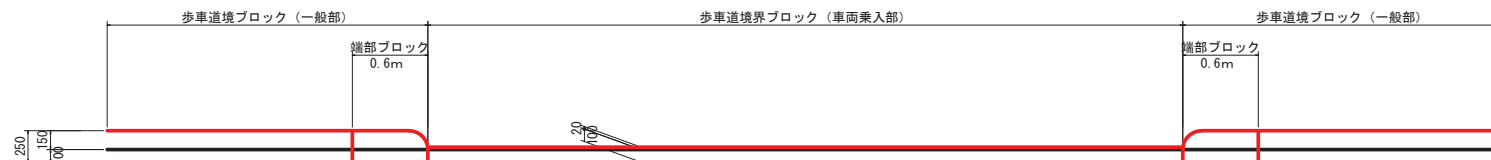
車線分離標

(ラバーボール)

＜4mピッチ＞



車兩乗入部標準図



※ A 1 用紙印刷時

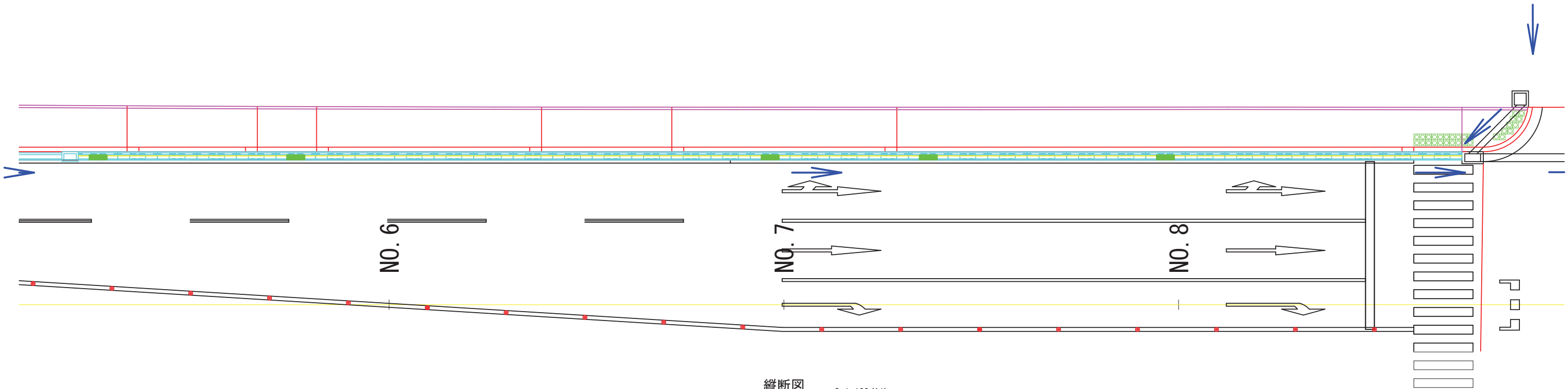
図面番号	10 / 20	縮尺	図 示	
工 種	道 路 改 良 工 事			
種 別	自由勾配側溝展開図		番 号	1 / 2
路線 河川	大門 1 号幹線・7-2			
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内			
福 山 市				

令和7年度
国補

No. 5+4. 36~No. 8+14. 36 (左側)

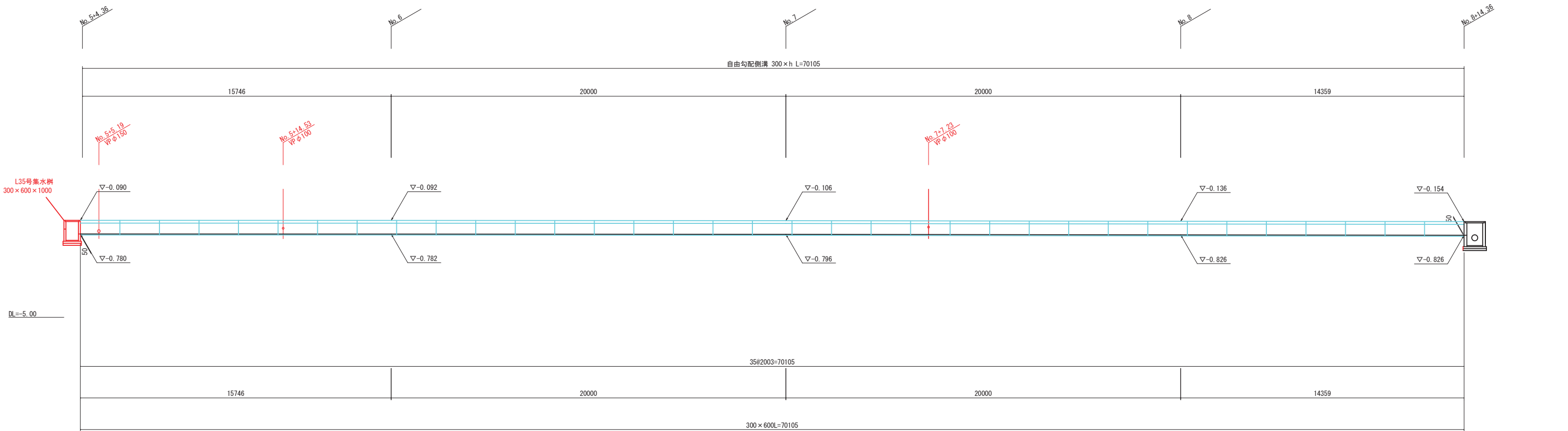
平面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



縦断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



※ A 1 用紙印刷時

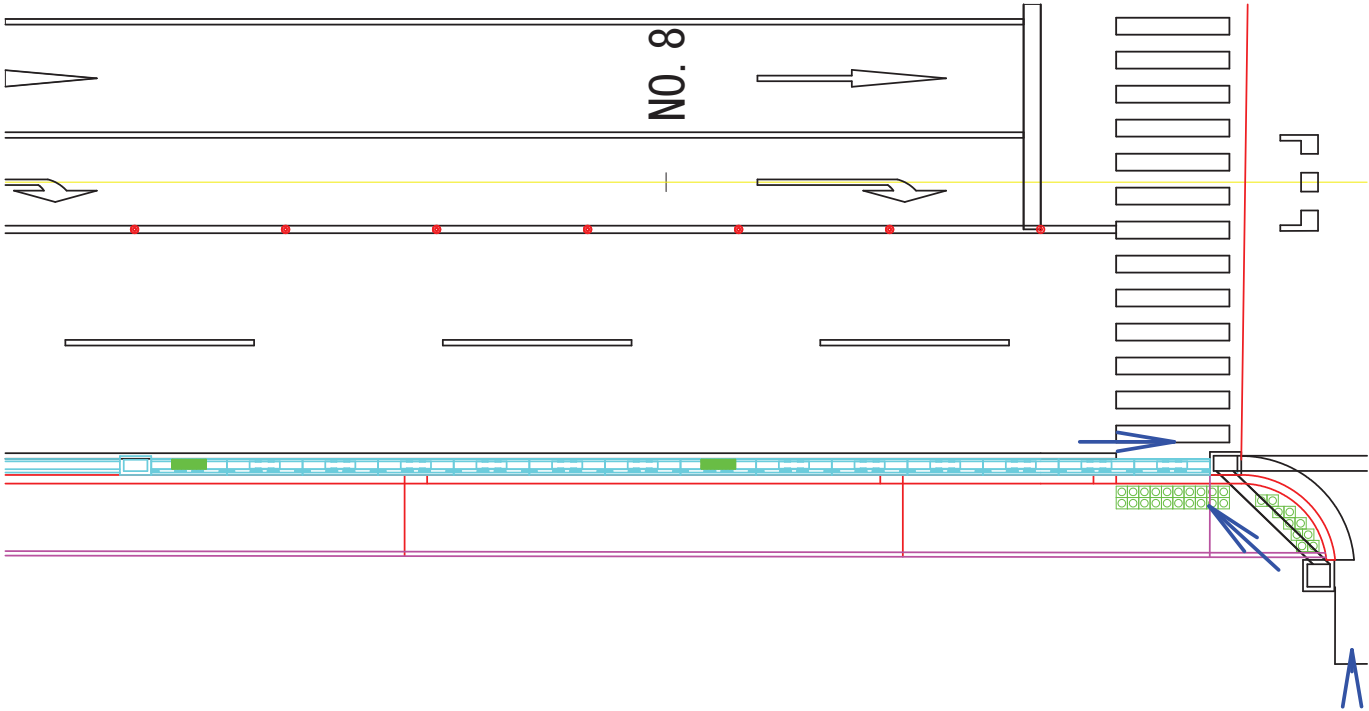
図面番号	11 / 20	縮尺	図 示
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	自由勾配側溝展開図	番号	2 / 2
路線 河川	大 門 1 号 幹 線 ・ 7-2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			



No. 7+6. 36~No. 8+14. 40 (右側)

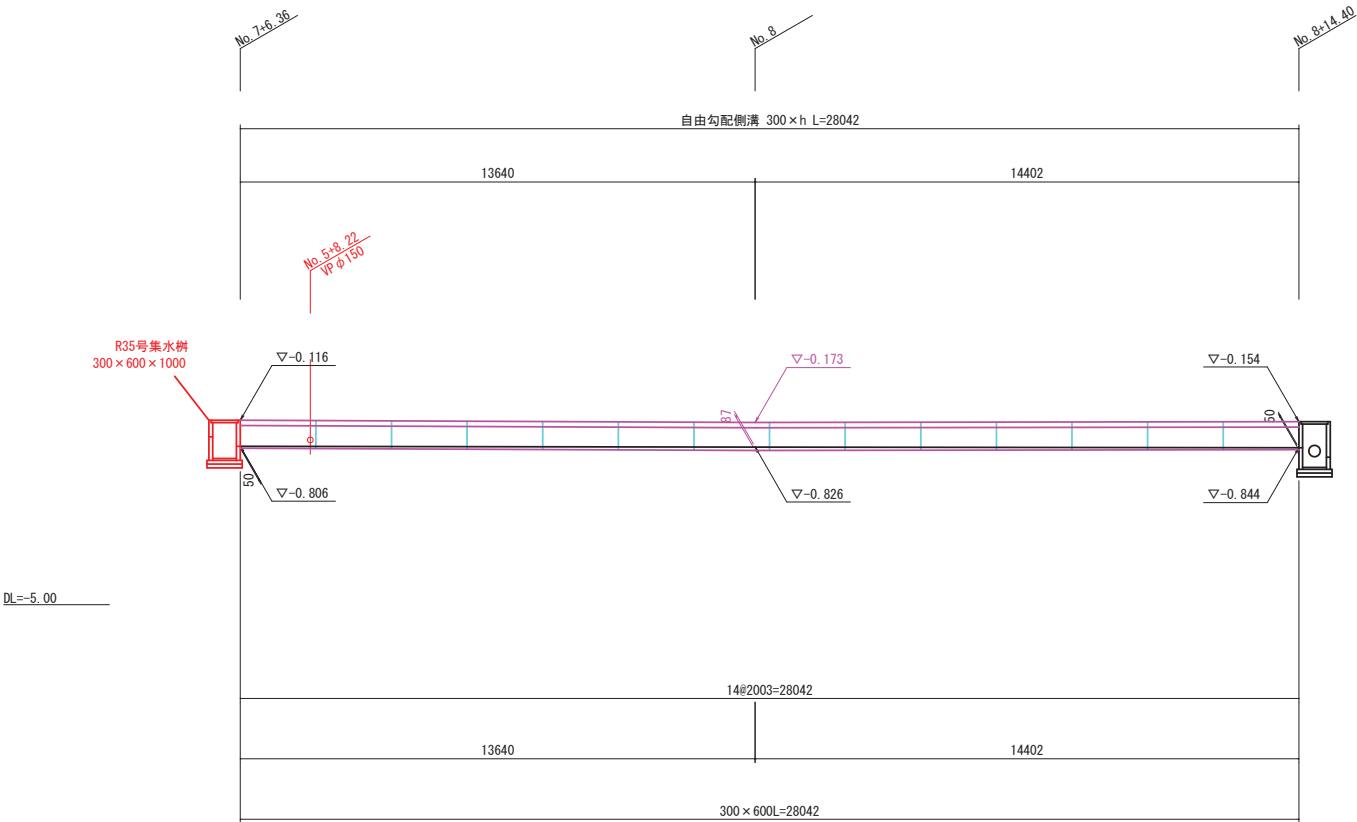
平面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



縦断面図

S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)

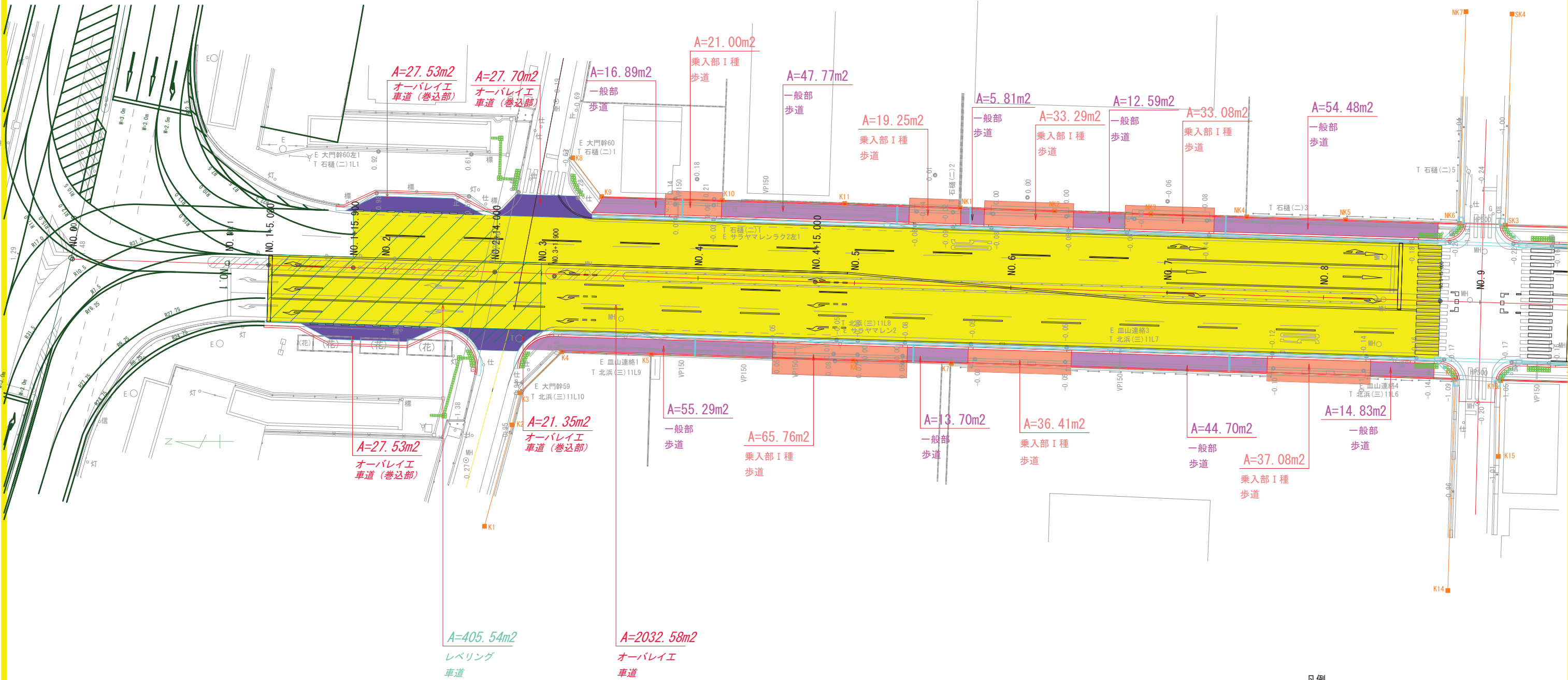


※ A 1 用紙印刷時

図面番号	12 / 20	縮尺	1:250
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	舗装工平面図	番 号	1 / 1
路線 河川	大 門 1 号 幹 線 ・ 7 - 2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

令和7年度
国補

※面積はCAD計測による



凡例

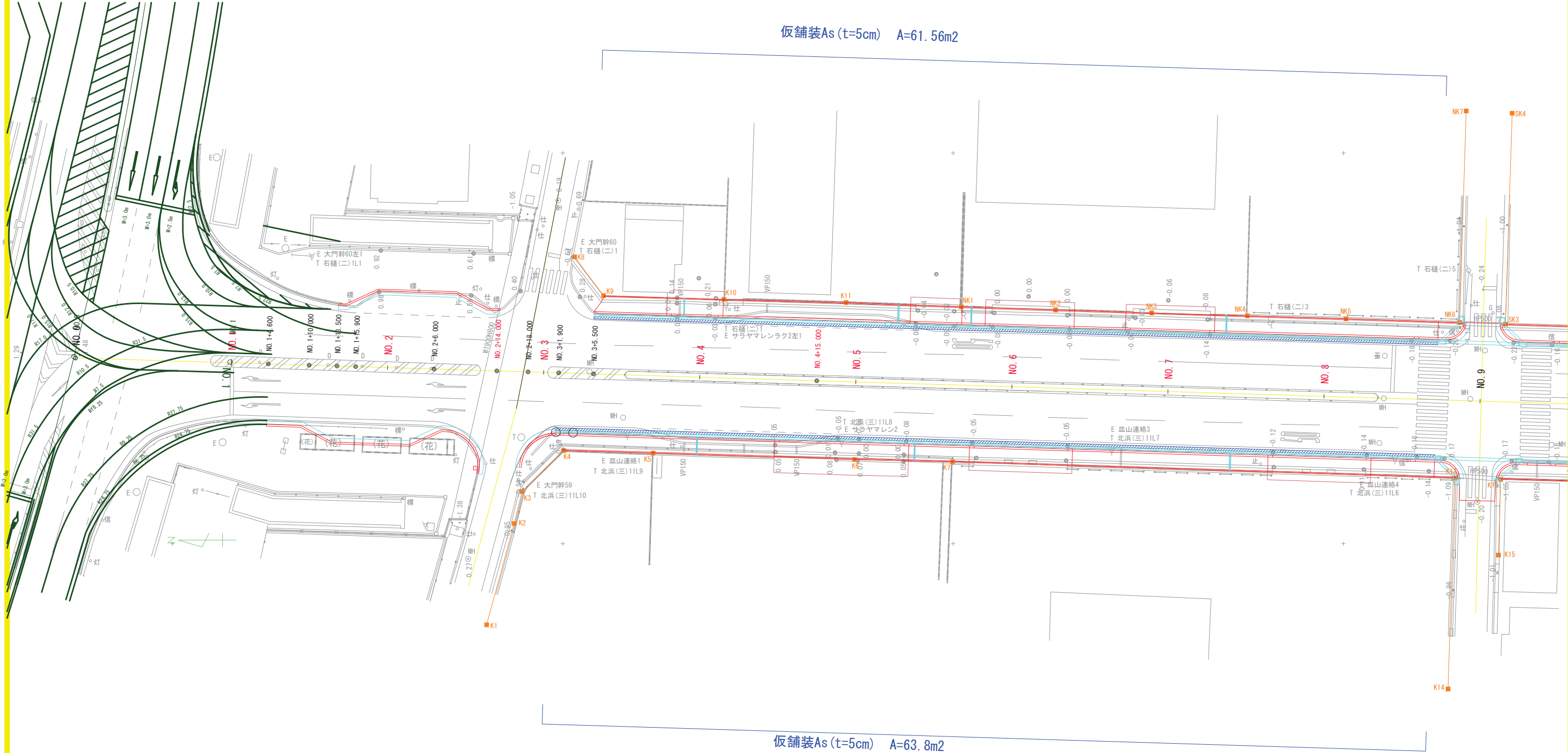
	ポリマー改質アスファルト 1層
	ポリマー改質アスファルト1層 (巻込部)
	歩道舗装 (一般部)
	歩道舗装 (乗入部 I 種)
	レベリング 平均 t=4.9cm

※ポリマー改質アスファルトは (シナヤカファルト) と同等以上の材料を使用する

※ A 1 用紙印刷時

図面番号	13 / 20	縮尺	1:250
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	舗装工平面図 (仮舗装)	番 号	1 / 1
路線 河川	大 門 1 号 幹 線 ・ 7 - 2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

令和7年度
国補

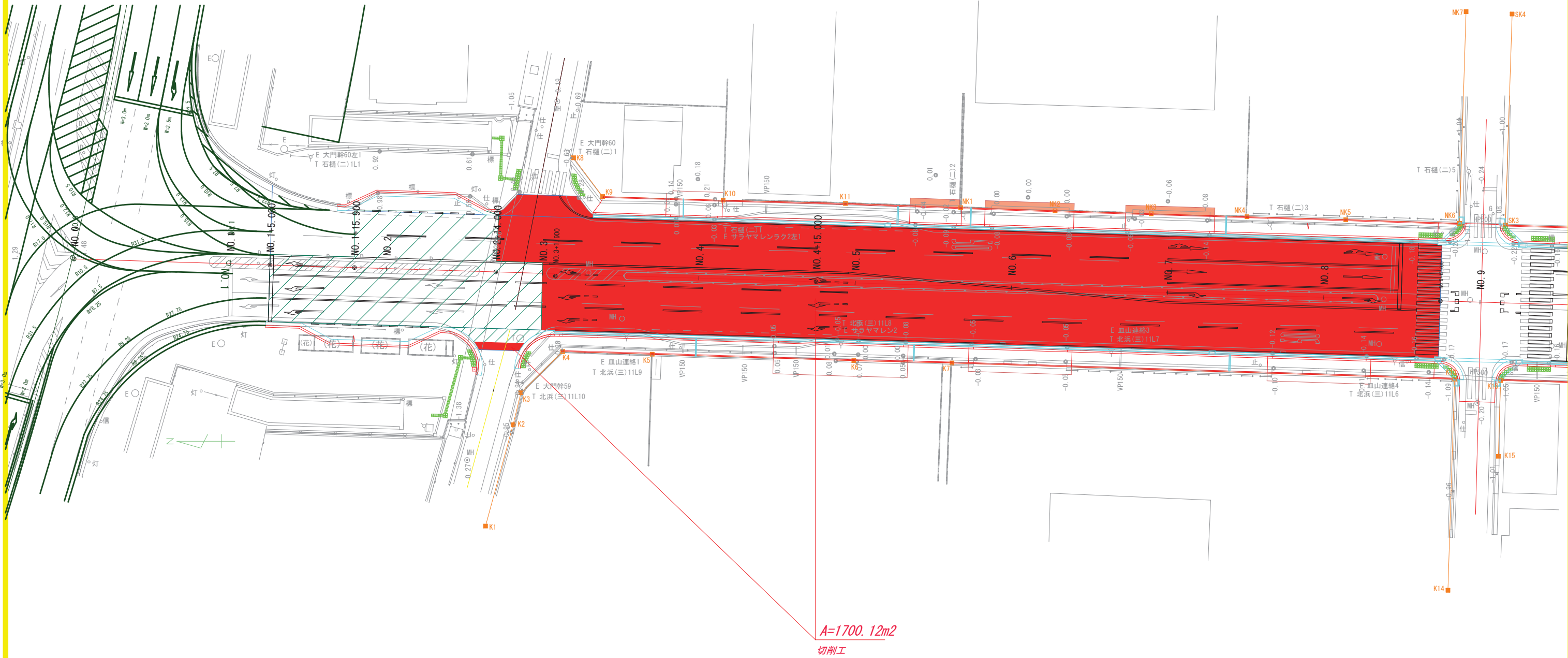


※ A 1 用紙印刷時

図面番号	14 / 20	縮尺	1:250
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	切削工平面図	番 号	1 / 1
路線 河川 名	大門 1 号幹線・7-2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

令和7年度
国補

※面積はCAD計測による



凡例

	切削工 平均 t = 7.8cm
	レベリング箇所

※ A 1 用紙印刷時

図面番号	15 / 20	縮尺	1:250
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	区画線工平面図 誘導ブロック配置計画図	番 号	1 / 1
路線 河川 名	大 門 1 号 幹 線 ・ 7 - 2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

令和7年度
国補

境界線 白色 破線 (W=15cm) L=8.0m

外側線 白色 実線 (W=15cm) L=111.2m

横断歩道 白色 実線
(W=45cm) L=48.0m

矢印(実線)直進左折 N=2 直進 N=2 右折 N=2

境界線 白色 破線 (W=15cm) L=50.0m

境界線 白色 実線 (W=15cm) L=29.6m

境界線 白色 実線 (W=15cm) L=29.6m

停止線 白色 破線 (W=45cm) L=1.5m
境界線 白色 破線 (W=15cm) L=2.0m
停止線 白色 実線 (W=45cm) L=8.5m

中央線 白色 実線 (W=20cm) L=146.9m

点状タイル (N=13枚)
線状タイル (N=9枚)

点状タイル (N=9枚)

点状タイル (N=10枚)

点状タイル (N=11枚)
線状タイル (N=14枚)

点状タイル (N=7枚)

点状タイル (N=10枚)

境界線 白色 実線 (W=15cm) L=30.0m

境界線 白色 破線 (W=15cm) L=22.6m

境界線 白色 実線 (W=15cm) L=30.0m

境界線 白色 破線 (W=15cm) L=58.6m

境界線 白色 破線 (W=15cm) L=8.0m

外側線 白色 実線 (W=15cm) L=110.1m

矢印(実線)左折 N=2 右折 N=1 矢印(破線)左折 N=4 右折 N=2

停止線 白色 実線 (W=45cm) L=8.5m

矢印
S=1:100 (A1)
<各寸法は道路標識標示必携による>

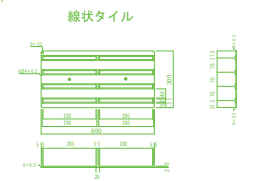
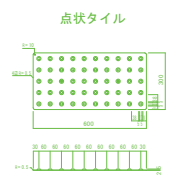
直道 (実線)
(W=15cm換算)
4 m

直進左折(実線)
(W=15cm換算)
7 m

【右折・左折】(実線)
(W=15cm換算)
5 m

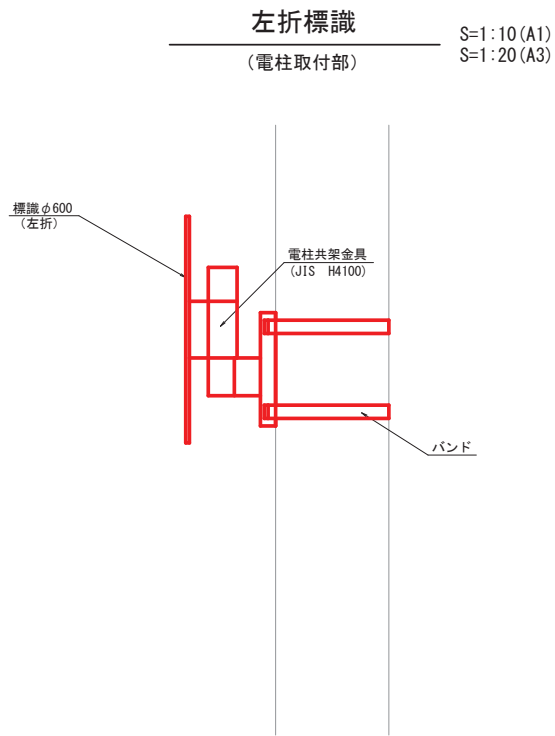
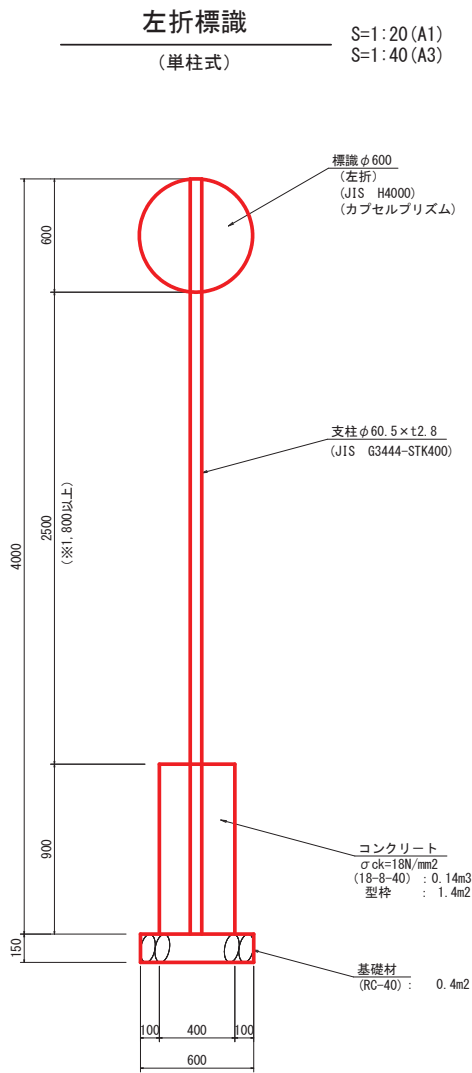
【右折・左折】(破線)
(W=15cm換算)
4 m

誘導ブロック
S=1:20 (A1)



※ A 1 用紙印刷時

図面番号	16 / 20	縮尺	図 示	
工 種	道 路 改 良 工 事			
種 別	標識工構造図		番 号	1 / 1
路線 河川 名	大 門 1 号 幹 線 ・ 7 - 2			
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内			
福 山 市				



図面番号	17/20	縮尺	1:250
工種	道路改良工事	種別	撤去工構造図
路線名	大門1号幹線・7-2	番号	1/1
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福山市			

※ A 1 用紙印刷時

令和7年度
国補

コンクリート構造物取壊し(無筋構造物) V=32.7m3

転落防止柵 L=39.0m

As舗装版破碎(t=4cm) A=14.1m2
As舗装版切断(t=4cm) L=22.2m

As舗装版破碎(t=4cm) A=146.0m2
As舗装版切断(t=4cm) L=3.0m (端部1.5+端部1.5)

As舗装版破碎(t=15cm) A=20.0m2
As舗装版切断(t=15cm) L=23.6m

As舗装版破碎(t=15cm) A=76.6m2
As舗装版切断(t=15cm) L=132.5m

車線分離標 N=5本

蓋版撤去 一式

蓋版工(撤去)
<地番-286>
⑨ Co蓋 500*700*100 N= 4 +
⑩ 縞鋼板 900*600*5 N= 15

蓋版工(撤去)
<地番-284-2>
⑯ Co蓋 500*900*150 N= 12
⑰ グレーチング 500*900*100 N= 4

蓋版工(撤去)
<地番-284-1>
⑱ Co蓋 500*900*150 N= 4
⑲ Co蓋 500*900*150 N= 5

蓋版工(撤去)
<地番-251>

⑥ 縞鋼板 1350*420*5 N= 6
⑦ 縞鋼板 750*420*5 N= 1
⑧ 縞鋼板 1250*420*5 N= 10

蓋版工(撤去)
<地番-285>

⑪ 縞鋼板 900*600*5 N= 7
⑫ 縞鋼板 1850*600*5 N= 1
⑬ 縞鋼板 1300*600*5 N= 1
⑭ Co蓋 600*700*100 N= 8
⑮ グレーチング 1000*700*50 N= 1

蓋版工(撤去)
<地番-283>

⑳ Co蓋 500*900*150 N= 11
㉑ グレーチング 500*900*100 N= 4

蓋版工(撤去)
<地番-250>

① Co蓋 600*450*100 N= 13
② 縞鋼板 1500*750*10 N= 2

蓋版工(撤去)
<地番-251>

③ Co蓋 700*600*100 N= 8
④ グレーチング 1000*700*50 N= 2

蓋版工(撤去)
<地番-252+253+254>

⑤ グレーチング 1000*450*50 N= 4

ガードレール L=15.0m

As舗装版破碎(t=15cm) A=12.5m2
As舗装版切断(t=15cm) L=8.0m

As舗装版破碎(t=15cm) A=2.0m2
As舗装版切断(t=15cm) L=6.2m

As舗装版破碎(t=15cm) A=10.8m2
As舗装版切断(t=15cm) L=13.0m

舗装版破碎(t=4cm) A=88.7m2
舗装版切断(t=4cm) L=32.0m

As舗装版破碎(t=15cm) A=68.6m2
As舗装版切断(t=15cm) L=139.0m

As舗装版破碎(t=4cm) A=147.2m2
As舗装版切断(t=4cm) L=4.0m (端部2.0+端部2.0)

転落防止柵 L=28.0m

転落防止柵 L=6.0m

※ A 用紙印刷時

図面番号	18 / 20	縮尺	1:500
工 種	道 路 改 良 工 事		
種 別	排水系統図		番 号 1 / 1
路線 河川	大門 1 号幹線・7-2		
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内		
福 山 市			

令和7年度
国補

本線シフト町 115m (5.25×60/3)

テーパー長 L=50.0m
(60×3/6=30)

左折滞留長 L=50.0m

右折滞留長 L=130m
本線シフト L=55m (60×2.65/3=53)

本線シフト L=95m (60×3.1/3=62)
テーパー長 L=60m (60×6/6=60)
テーパー長 L=30m (60×3/6=30)

シフト L=50m (60×2.4/3=48)

L35号集水樹
300×600×1000
① -0.530
③ -0.780
⑤ -1.100

L1号集水樹
400×800×1200
① -0.826
② -1.123
③ -1.123
⑤ -1.369

L2号集水樹
600×600×1200
② -1.120
④ -1.120
⑤ -1.401

L3号集水樹
600×600×1200
② -1.080
④ -1.080
⑤ -1.402

L4号集水樹
400×800×1200
① -1.142
② -1.084
③ -1.142
⑤ -1.369

L5号集水樹
400×800×1200
① -1.251
② -1.251
③ -1.251
⑤ -1.412

L6号集水樹
500×500×1200
② -1.240
④ -1.240
⑤ -1.423

R35号集水樹
300×600×1000
① -0.556
③ -0.806
⑤ -1.126

R1号集水樹
400×600×1200
① -0.844
② -1.080
③ -1.093
⑤ -1.364

R2号集水樹
600×600×1000
② -1.070
④ -1.070
⑤ -1.235

R3号集水樹
600×600×1200
② -1.050
③ -1.050
⑤ -1.384

R4号集水樹
400×600×1200
① -1.122
③ -1.122
④ -1.054
⑤ -1.369

R5号集水樹
400×400×600
① -0.905
⑤ -1.055

R6号集水樹
500×600×1400
① -1.340
② -1.330
③ -1.340
⑤ -1.607

R7号集水樹
600×600×1200
② -1.325
④ -1.325
⑤ -1.423

高さ表示位置



起点側 中心線 終点側

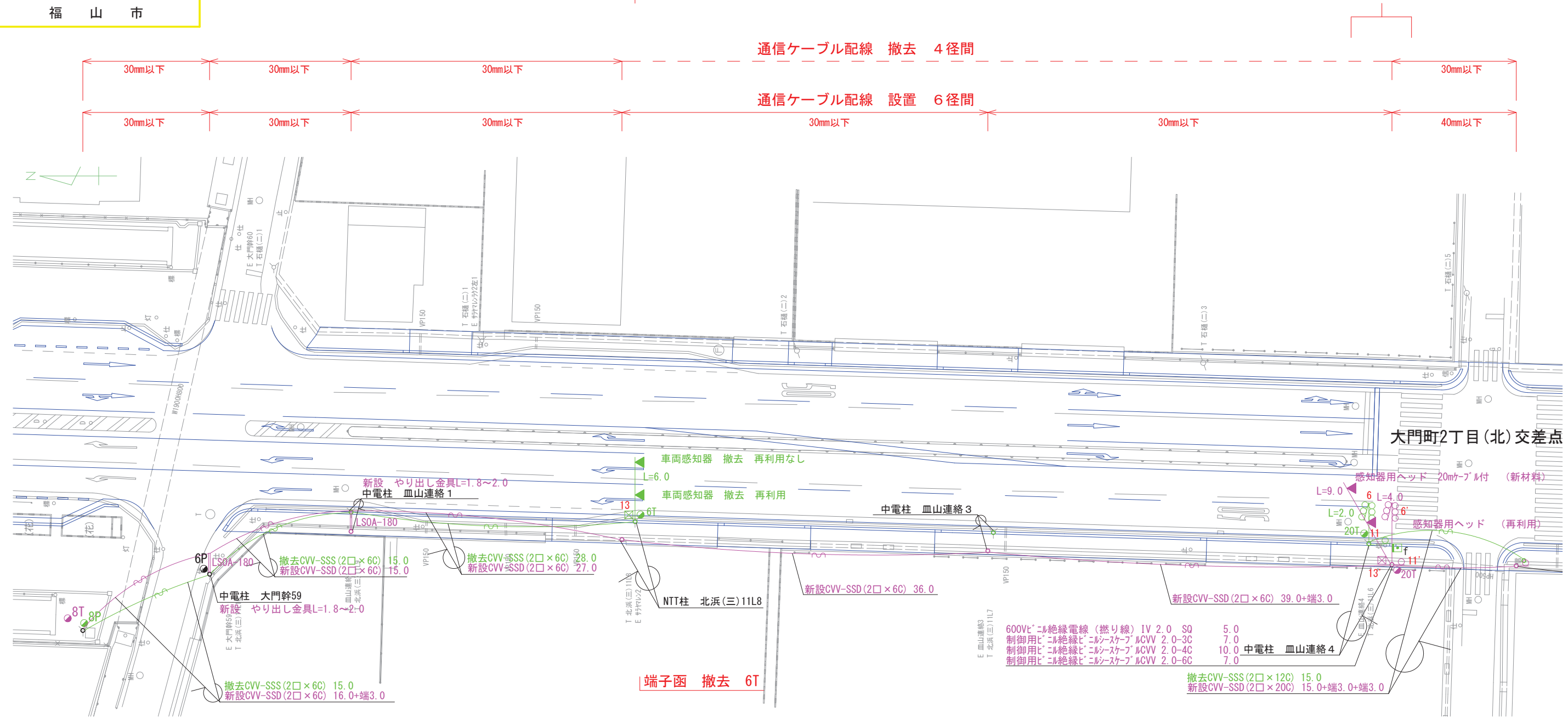
※ A 1 用紙印刷時

図面番号	19 / 20	縮尺	図 示	
工 種	道 路 改 良 工 事			
種 別	信号等移設工		番 号	1 / 1
路線 河川	大 門 1 号 幹 線 ・ 7-2			
工事箇所	福山市 大門町一丁目 地内			
福 山 市				

令和7年度
国補

車両感知装置 撤去 1台 再利用なし
車両感知装置 撤去 1台 再利用

交通信号装置 撤去・据付 1台 再利用
交通信号装置 撤去・据付 1台 再利用
交通信号装置 調整 1台
交通信号装置 調整 1台
車両感知装置 据付 2台
車両感知装置 調整 2台



端子函 撤去 8P
端子函 設置 8T

■信号機等移設工 一式
○移設機材

車両用灯器（両面用） 1台 6→6'
歩行者用灯器 1台 11→11'
車両感知装置 2台 13→13'

端子函 撤去 20T
端子函 設置 20T

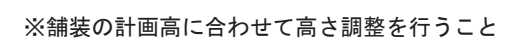
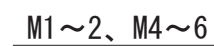
凡	制御機(側柱式)	車両感知器	押ボタン箱側柱式	車両用信号灯器	端子函	架空制御ケーブル	露出配管	埋設用信号機用材加設器用機	灯火式可変標識
例	制御機(自立式)	送受器	押ボタン箱自立式	歩行者用信号灯器	信号柱(新設)	架空通信ケーブル	ハンドホール	埋設用信号機用材加設器用機	反射式可変標識
	端末信号送信装置	光学式感知器	配電盤	縦型信号灯器	信号柱(既設)	埋設配管	ブルボックス	可変標識制御機	

令和7年度
国補

M1~2、M4~6



既設構造物取壊し数量表

M3

こ れ 以 降
参 考 図 書

施工単価表

掘削			SPK24040001			単第0 -0001 表			頁0 -0034		
土砂 上記以外(小規模)			標準			1			m3 当り		
機械構成比: 27.26%			労務構成比: 61.70%			材料構成比: 11.04%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 1,212.30000											
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考		
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3			27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3				MTPC00062 MTPT00062		
運転手(特殊)			61.70%		運転手(特殊)				RTPC00006 RTPT00006		
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油			11.04%		軽油バトロール給油				TTPC00013 TTPT00013		
積算単価					積算単価				EP001		
A=1 土砂 E=7 標準					B=5 上記以外(小規模)						

施工単価表

路体盛土			SPK24040004			単第0 -0002 表			頁0 -0035		
施工幅員2.5m未満						1			m3 当り		
機械構成比: 0.70%			労務構成比: 99.06%			材料構成比: 0.24%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 6,330.20000											
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考		
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t			0.70%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t				KTPC00008 KTPT00008		
普通作業員			90.63%		普通作業員				RTPC00002 RTPT00002		
特殊作業員			8.43%		特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001		
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油			0.24%		軽油バトロール給油				TTPC00013 TTPT00013		
積算単価					積算単価				EP001		
A=1 施工幅員2.5m未満											

施工単価表

コンクリート			SPK24040153			単第0 -0003 表			頁0 -0036		
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB			人力打設			1			m3 当り		
機械構成比: 0.00%			労務構成比: 29.40%			材料構成比: 70.60%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 28,051.00000			代表機材規格(積算地区)			代表機材規格(東京地区)			備考		
普通作業員			13.20%			普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
特殊作業員			7.51%			特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
土木一般世話役			6.69%			土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)						その他(労務)			ER009		
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)			70.60%			生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343		
積算単価						積算単価			E9999		
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)						B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -					

施工単価表

土砂等運搬			SPK24040002			単第0 -0004 表			頁0 -0037		
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			DID区間有り 距離0.2km以下			現場→仮置き場			1		
機械構成比: 24.45%			労務構成比: 63.42%			材料構成比: 12.13%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 706.58000			代表機材規格(積算地区)			代表機材規格(東京地区)			備考		
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			24.45%			ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00017T1 MTPT00017T1		
運転手(一般)			63.42%			運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007		
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油			12.13%			軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		
積算単価						積算単価			EP001		
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=1 距離0.2km以下						B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り					

施工単価表

積込(ルーズ)					
土砂			土量50,000m3未満		
機械構成比: 43.43%			労務構成比: 37.88%		
材料構成比: 18.69%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
バックホウ(クローラ型)				バックホウ(クローラ型)	
標準型・排2014		43.43%		標準型・排2014	
山積0.8/平積0.6m3				山積0.8/平積0.6m3)	
運転手(特殊)		37.88%		運転手(特殊)	
軽油				軽油バトロール給油	
バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		18.69%			
積算単価				積算単価	
A=1 土砂				B=1 土量50,000m3未満	

施工単価表

土砂等運搬					
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			土量50,000m3未満		
機械構成比: 24.45%			労務構成比: 63.42%		
材料構成比: 12.13%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]				ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	
4t積級		24.45%		4t積級	
(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)				(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	
運転手(一般)		63.42%		運転手(一般)	
軽油				軽油バトロール給油	
バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		12.13%			
積算単価				積算単価	
A=2 小規模				B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)	
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)				D=2 DID区間有り	
F=14 距離3.0km以下(2.0km超)					

施工单価表

頁0 -0040

路面切削

SPK24040303

单第0 -0007 表

1

m2 当り

全面切削6cmを超え12cm以下

段差すりつけの撤去作業無し

夜間

夜間

1

m2 当り

機械構成比: 50.56%

勞務構成比：

38. 60%

材料構成比: 10.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

600.83000

機械構成比: 50.56%	労務構成比: 38.60%	材料構成比: 10.84%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価: 600.8300	
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm	27.27%		路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm		MTPC00136 MTPT00136
路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3	5.58%		路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3		MTPC00072 MTPT00072
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	11.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)	3.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)	3.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)	3.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油, 2～4KL積載車給油	7.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0041

路面切削

SPK24040303

單第0 -0007 表

1

m2 当り

全面切削6cmを超え12cm以下

段差すりつけの撤去作業無し

夜間

夜間

1

m2 当り

機械構成比: 50.56%

勞務構成比：

38. 60%

材料構成比: 10.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

600.83000

[illegible]

施工単価表

殻運搬(路面切削)		SPK24040304		単第0 -0008 表		頁0 -0042	
DID区間有り		運搬距離3.0km以下(2.5km超)		夜間		1 m3 当り	
機械構成比: 41.76%		労務構成比: 44.84%		材料構成比: 13.40%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 749.61000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		41.76%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般) 設計労務単価の補正割増し(1.5)		44.84%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油		13.40%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=2 DID区間有り C=1 -(全ての費用)				B=7 運搬距離3.0km以下(2.5km超)			

施工単価表

表層(車道・路肩部)		SPK24040241		単第0 -0009 表		頁0 -0043	
平均幅員3.0m超		1層当り平均仕上厚50mm		夜間		1 m2 当り	
機械構成比: 1.43%		労務構成比: 9.93%		材料構成比: 88.64%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 1,750.50000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3〜6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		0.91%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3〜6.0m			KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8〜20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		0.14%		タイヤローラ 質量8〜20t			KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10〜12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)		0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t〜12t			KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)				その他(機械)			EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		3.56%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)		2.04%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		1.98%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)		0.70%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)		SPK24040241		単第0 -0009 表		頁0 -0044	
平均幅員3.0m超		1層当り平均仕上厚50mm		夜間		1 m2 当り	
機械構成比: 1.43%		労務構成比: 9.93%		材料構成比: 88.64%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		標準単価:	備考
長寿命化舗装用ポリマー混合物(13) シナヤカファルト混合物相当品 夜間		85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			F0000000001 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油		0.49%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=4 C=25 E=1 H=1	平均幅員3.0m超 材料各種(2.30以上2.40t/m3未満) PK-4 -			B=50 D=1 G=1 I=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 【F】As混合物(t) - -(全ての費用)		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

レベリング		SPK24040241		単第0 -0010 表		頁0 -0045	
平均幅員3.0m超		1層当り平均仕上厚49mm		夜間		1 m2 当り	
機械構成比: 1.43%		労務構成比: 9.93%		材料構成比: 88.64%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		標準単価:	備考
<賃>アスファルトフィニッシャー(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		0.91%		アスファルトフィニッシャー [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m			KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		0.14%		タイヤローラ 質量8~20t			KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)		0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t			KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)				その他(機械)			EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		3.56%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)		2.04%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		1.98%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)		0.70%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009

施工単価表

レベリング		SPK24040241		単第0 -0010 表		頁0 -0046	
平均幅員3.0m超		1層当り平均仕上厚49mm		夜間		1 m2 当り	
機械構成比: 1.43%		労務構成比: 9.93%		材料構成比: 88.64%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		標準単価:	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)		85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油		0.49%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=4 C=7 G=1 I=1	平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(13) - -(全ての費用)			B=49 E=1 H=2	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 夜間割増有		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):49.000(mm)							

施工単価表

路床盛土		SPK24040005		単第0 -0011 表		頁0 -0047	
施工幅員2.5m未満						1 m3 当り	
機械構成比: 0.81%		労務構成比: 98.92%		材料構成比: 0.27%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		標準単価:	備考
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8〜1.1t		0.81%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8〜1.1t			KTPC00008 KTPT00008
普通作業員		89.26%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		9.66%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油		0.27%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=1	施工幅員2.5m未満						

施工単価表

頁0 -0048

下層路盤(車道・路肩部)		SPK24040232		単第0 -0012 表			
全仕上り厚150mm 1層施工		RC-40		1		m2 当り	
機械構成比: 4.67%		労務構成比: 15.69%		材料構成比: 79.64%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 1,202.10000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		1.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m			MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		1.48%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m			MTPC00135 MTPT00135
〈貨〉タイヤローラ 質量8〜20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		0.48%		タイヤローラ 質量8〜20t			KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)				その他(機械)			EK009
運転手(特殊)		7.32%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員		2.44%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
普通作業員		2.38%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		0.72%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009

施工単価表

頁0 -0049

下層路盤(車道・路肩部)		SPK24040232		単第0 -0012 表			
全仕上り厚150mm 1層施工		RC-40		1		m2 当り	
機械構成比: 4.67%		労務構成比: 15.69%		材料構成比: 79.64%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 1,202.10000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
再生クラッシャラン 40〜0mm		78.02%		クラッシャラン 40〜0mm [標準数量]全仕上り厚150mm			TTPC00008 TTPT00346
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		1.33%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)				B=4 RC-40			
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)							

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)			SPK24040234		単第0 -0013 表		頁0 -0050	
RM-30			全仕上り厚150mm 1層施工		1		m2 当り	
機械構成比: 9.88%			労務構成比: 33.13%		材料構成比: 56.99%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 569.67000								
代表機材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m			3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m			MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m			3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m			MTPC00135 MTPT00135
〈貨〉タイヤローラ 質量8〜20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音			1.01%		タイヤローラ 質量8〜20t			KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)					その他(機械)			EK009
運転手(特殊)			15.46%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員			5.15%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
普通作業員			5.03%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役			1.52%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)					その他(労務)			ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)			SPK24040234		単第0 -0013 表		頁0 -0051	
RM-30			全仕上り厚150mm 1層施工		1		m2 当り	
機械構成比: 9.88%			労務構成比: 33.13%		材料構成比: 56.99%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 569.67000								
代表機材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30〜0mm			53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm			TTPC00010 TTPT00357
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油			2.81%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)					その他(材料)			EZ009
積算単価					積算単価			E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)					E=150 全仕上り厚(mm)			
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)								

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)		SPK24040234		単第0 -0014 表		頁0 -0052	
再生瀝青安定処理材		平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下		1		m2 当り	
機械構成比: 0.33%		労務構成比: 36.80%		材料構成比: 62.87%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 3,867.40000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		0.19%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t			MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		0.10%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg			MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)				その他(機械)			EK009
特殊作業員		18.01%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
普通作業員		10.74%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		3.25%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
再生加熱アスファルト安定処理路盤材		59.34%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚80mm			TTPCD0025 TTPT00356
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		3.35%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)		SPK24040234		単第0 -0014 表		頁0 -0053	
再生瀝青安定処理材		平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下		1		m2 当り	
機械構成比: 0.33%		労務構成比: 36.80%		材料構成比: 62.87%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 3,867.40000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.13%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油		0.03%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=2 再生瀝青安定処理材 D=90 1層当り平均仕上り厚(mm) H=1 -(全ての費用)				C=2 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下 F=2 PK-3			
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):90.000(mm)							

施工単価表

基層(車道・路肩部)		SPK24040239		単第0 -0015 表		頁0 -0054	
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)		1層当り平均仕上厚50mm		1		m2 当り	
機械構成比: 0.49%		労務構成比: 48.59%		材料構成比: 50.92%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 2,484.50000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		0.27%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t			MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		0.15%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg			MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)				その他(機械)			EK009
特殊作業員		21.49%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
普通作業員		15.39%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		4.65%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)		48.88%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		1.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

基層(車道・路肩部)		SPK24040239		単第0 -0015 表		頁0 -0055	
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)		1層当り平均仕上厚50mm		1		m2 当り	
機械構成比: 0.49%		労務構成比: 48.59%		材料構成比: 50.92%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 2,484.50000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.19%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油		0.04%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)				B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -			
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

上層路盤(歩道部)			SPK24040235			単第0 -0016 表			頁0 -0056		
全仕上り厚100mm 1層施工			RC-30			1			m2 当り		
機械構成比: 5.20%			労務構成比: 67.43%			材料構成比: 27.37%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 848.39000			代表機材規格(積算地区)			代表機材規格(東京地区)			備考		
構成比			単価(積算地区)			単価(東京地区)					
〈賃〉小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音			2.69%			小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)			KTPC00001 KTPT00001		
〈賃〉振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3〜4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音			2.36%			振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3〜4t			KTPC00009 KTPT00009		
その他(機械)						その他(機械)			EK009		
普通作業員			28.22%			普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
運転手(特殊)			24.35%			運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006		
特殊作業員			12.90%			特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
その他(労務)						その他(労務)			ER009		
再生クラッシャラン 30〜0mm			25.44%			再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm			F0000000002 TTPT00360		
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油			1.88%			軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		

施工単価表

上層路盤(歩道部)			SPK24040235			単第0 -0016 表			頁0 -0057		
全仕上り厚100mm 1層施工			RC-30			1			m2 当り		
機械構成比: 5.20%			労務構成比: 67.43%			材料構成比: 27.37%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 848.39000			代表機材規格(積算地区)			代表機材規格(東京地区)			備考		
構成比			単価(積算地区)			単価(東京地区)					
その他(材料)						その他(材料)			EZ009		
積算単価						積算単価			E9999		
A=100 全仕上り厚(mm) C=2 【F】路盤材(m3)						B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)					
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)											

施工単価表

頁0 -0058

表層(歩道部)		SPK24040244		単第0 -0017 表	
平均幅員1.4m以上		1層当り平均仕上厚40mm		夜間	
機械構成比: 2.65%		労務構成比: 23.01%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	標準単価: 1
アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4～3.0m		1.99%		アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4～3.0m	備考 MTPC00052 MTPT00052
〈賃〉振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		0.38%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t	KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)				その他(機械)	EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		8.67%		普通作業員	RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		5.80%		特殊作業員	RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)		4.00%		運転手(特殊)	RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)		2.08%		土木一般世話役	RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)	ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)		65.08%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm	TTPC00024 TTPT00293

施工単価表

頁0 -0059

表層(歩道部)		SPK24040244		単第0 -0017 表	
平均幅員1.4m以上		1層当り平均仕上厚40mm		夜間	
機械構成比: 2.65%		労務構成比: 23.01%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	標準単価: 1
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		8.85%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	備考 TTPC00026 TTPT00026
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油		0.37%		軽油バトロール給油	TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
積算単価				積算単価	E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)				B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=2 夜間割増有	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

上層路盤(歩道部)			SPK24040235		単第0 -0018 表		頁0 -0060	
全仕上り厚150mm 1層施工			路盤材(各種)		1		m2 当り	
機械構成比: 5.20%			労務構成比: 67.43%		材料構成比: 27.37%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 848.39000			代表機材規格(積算地区)		代表機材規格(東京地区)		備考	
構成比			単価(積算地区)		単価(東京地区)			
〈賃〉小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音			2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001	
〈賃〉振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3〜4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音			2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3〜4t		KTPC00009 KTPT00009	
その他(機械)					その他(機械)		EK009	
普通作業員			28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002	
運転手(特殊)			24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006	
特殊作業員			12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001	
その他(労務)					その他(労務)		ER009	
再生クラッシャラン 30〜0mm			25.44%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		F0000000002 TTPT00360	
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油			1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013	

施工単価表

上層路盤(歩道部)			SPK24040235		単第0 -0018 表		頁0 -0061	
全仕上り厚150mm 1層施工			路盤材(各種)		1		m2 当り	
機械構成比: 5.20%			労務構成比: 67.43%		材料構成比: 27.37%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 848.39000			代表機材規格(積算地区)		代表機材規格(東京地区)		備考	
構成比			単価(積算地区)		単価(東京地区)			
その他(材料)					その他(材料)		EZ009	
積算単価					積算単価		E9999	
A=150 全仕上り厚(mm) C=2 【F】路盤材(m3)					B=4 路盤材(各種) D=1 -(全ての費用)			
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)								

施工単価表

頁0 -0062

表層(歩道部)		SPK24040244		単第0 -0019 表	
平均幅員1.4m以上		1層当り平均仕上厚50mm		夜間	
機械構成比: 2.65%		労務構成比: 23.01%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	標準単価: 1
アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4～3.0m		1.99%		アスファルトフィニッシャー クローラ型 舗装幅1.4～3.0m	備考 MTPC00052 MTPT00052
〈賃〉振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		0.38%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t	KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)				その他(機械)	EK009
普通作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		8.67%		普通作業員	RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員 設計労務単価の補正割増し(1.5)		5.80%		特殊作業員	RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊) 設計労務単価の補正割増し(1.5)		4.00%		運転手(特殊)	RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役 設計労務単価の補正割増し(1.5)		2.08%		土木一般世話役	RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)	ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)		65.08%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm	TTPC00024 TTPT00293

施工単価表

頁0 -0063

表層(歩道部)		SPK24040244		単第0 -0019 表	
平均幅員1.4m以上		1層当り平均仕上厚50mm		夜間	
機械構成比: 2.65%		労務構成比: 23.01%		市場単価構成比: 0.00%	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	標準単価: 1
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		8.85%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	備考 TTPC00026 TTPT00026
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油		0.37%		軽油バトロール給油	TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)	EZ009
積算単価				積算単価	E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)				B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=2 夜間割増有	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

表層(車道・路肩部)			SPK24040241			単第0 -0020 表			頁0 -0064		
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)			1層当り平均仕上厚50mm			1			m2 当り		
機械構成比: 0.44%			労務構成比: 43.60%			材料構成比: 55.96%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 2,767.40000			代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			備考		
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t			構成比 0.24%			振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t			MTPC00047 MTPT00047		
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg			構成比 0.14%			振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg			MTPC00049 MTPT00049		
その他(機械)						その他(機械)			EK009		
特殊作業員			構成比 19.29%			特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
普通作業員			構成比 13.81%			普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役			構成比 4.17%			土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)						その他(労務)			ER009		
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)			構成比 54.13%			密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			TTPC00023 TTPT00284		
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			構成比 1.60%			アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			TTPC00027 TTPT00027		

施工単価表

表層(車道・路肩部)			SPK24040241			単第0 -0020 表			頁0 -0065		
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)			1層当り平均仕上厚50mm			1			m2 当り		
機械構成比: 0.44%			労務構成比: 43.60%			材料構成比: 55.96%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 2,767.40000			代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			備考		
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			構成比 0.17%			ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014		
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油			構成比 0.03%			軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		
その他(材料)						その他(材料)			EZ009		
積算単価						積算単価			E9999		
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)						B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -					
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)											

施工単価表

床掘り		SPK24040015		単第0 -0021 表		頁0 -0066	
土砂 上記以外(小規模)				1		m3 当り	
機械構成比: 19.87%		労務構成比: 72.99%		材料構成比: 7.14%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 2,170.70000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3			MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)		39.96%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006
普通作業員		33.03%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		7.14%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)				B=5 上記以外(小規模)			

施工単価表

埋戻し		SPK24040020		単第0 -0022 表		頁0 -0067	
土砂 上記以外(小規模)				1		m3 当り	
機械構成比: 9.48%		労務構成比: 86.47%		材料構成比: 4.05%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 3,871.10000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3			MTPC00083 MTPT00083
タンバ及びランマ ランマ 質量60〜80kg		0.58%		タンバ及びランマ タンバ及びランマ 質量60〜80kg			MTPC00048 MTPT00048
普通作業員		49.42%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		19.17%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)		17.88%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		3.20%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油		0.85%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
積算単価				積算単価			EP001
A=5 上記以外(小規模) D=1 -(全ての費用)				B=1 土砂			

施工単価表

頁0 -0068

埋戻し				SPK24040020	単第0 -0022 表	
土砂		上記以外(小規模)		1 m3 当り		
機械構成比:	9.48%	労務構成比:	86.47%	材料構成比:	4.05%	市場単価構成比: 0.00%
				標準単価:	3,871.10000	

[illegible]

施工単価表

頁0 -0069

L型側溝A 歩車道境界ブロックAを含む	V0000000001	単第0 -0023 表	10	m	当り
------------------------	-------------	-------------	----	---	----

[illegible]

施工单価表

頁0 -0070

歩車道境界ブロック

SPK24040287

單第0 -0024 表

B種(180/205×250×600) 片斜両面R

設置 基礎碎石無し

機械構成比: 2.39% 勞務構成比:

57.61%

材料構成比: 40.00%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価：

1

m 当り

5.545.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.39%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
特殊作業員	22.42%		特殊作業員		RTFC00001 RTPT00001
普通作業員	20.04%		普通作業員		RTFC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.12%		土木一般世話役		RTFC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(JISA5371)B 180/205×250×600 片斜両面R,参考質量69kg	39.27%		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTTCH0036 TTTPT00102
軽油 バトロール給油,2~4KL積載車給油	0.73%		軽油バトロール給油		TTTCH00013 TTTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1 設置 E=2 基礎砕石無し			B=4 B種(180/205×250×600)片斜両面R F=4 生コンクリート無し		

施工単価表

頁0 -0071

歩車道境界ブロック

SPK24040287

單第0 -0024 表

B種(180/205×250×600) 片斜両面R

設置 基礎碎石無し

機械構成比: 2.39% 勞務構成比:

57.61%

材料構成比: 40.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：1

1

m 当り

5.545.40000

[illegible]

施工単価表

コンクリート			SPK24040153			単第0 -0025 表			頁0 -0072		
小型構造物 18-8-40BB			人力打設			1			m3 当り		
機械構成比: 0.00%			労務構成比: 42.01%			材料構成比: 57.99%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価:			33,825.00000								
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考		
普通作業員			22.75%		普通作業員				RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役			9.31%		土木一般世話役				RTPC00009 RTPT00009		
特殊作業員			7.89%		特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001		
その他(労務)					その他(労務)				ER009		
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)			57.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%				TTPCD0010 TTPT00343		
積算単価					積算単価				E9999		
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)					B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -						

施工単価表

型枠			SPK24040155			単第0 -0026 表			頁0 -0073		
一般型枠			小型構造物			1			m2 当り		
機械構成比: 0.00%			労務構成比: 100.00%			材料構成比: 0.00%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価:			8,483.40000								
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考		
型わく工			43.77%		型わく工				RTPC00010 RTPT00010		
普通作業員			31.27%		普通作業員				RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役			11.92%		土木一般世話役				RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)					その他(労務)				ER009		
積算単価					積算単価				EP001		
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)					B=2 小型構造物						

施工单価表

頁0 -0074

基礎碎石

SPK24040034

单第0 -0027 表

1

m2 当り

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.27% 勞務構成比:

73.08%

材料構成比: 21.65%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1.278.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014	5.24%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャラン 40～0mm	16.89%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 バトロール給油, 2～4KL積載車給油	4.73%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0075

基礎碎石

SPK24040034

单第0 -0027 表

1

m2 当り

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.27% 勞務構成比:

73.08%

材料構成比: 21.65%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1.278.10000

[illegible]

施工単価表

L型側溝B
歩車道境界ブロックBを含む

V0000000002

単第0 -0028 表

10
m
当り

頁0 -0076

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
歩車道境界ブロック 歩道接続部(180/204×120×600) 設置 基礎碎石無し	10	m			単第0-0029 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	1. 42	m3			単第0-0025 表
型枠 一般型枠 小型構造物	3. 50	m2			単第0-0026 表
基礎碎石 碎石の厚さ12. 5cmを超え17. 5cm以下 RC-40	8. 45	m2			単第0-0027 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

歩車道境界ブロック
歩道接続部(180/204×120×600)

SPK24040287

単第0 -0029 表

1
m
当り

頁0 -0077

設置 基礎碎石無し

機械構成比: 0. 00% 労務構成比: 66. 25% 材料構成比: 33. 75% 市場単価構成比: 0. 00%

標準単価: 4, 472. 10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	28. 92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17. 46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	16. 13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(歩道接続部) 180/204×120×600 参考質量32kg	33. 75%		歩車道境界ブロック A種 150/170×200×600		TTPCH0040 TTPT00218
積算単価			積算単価		E9999
A=1 設置 E=2 基礎碎石無し			B=8 歩道接続部(180/204×120×600) F=4 生コンクリート無し		

施工单価表

頁0 -0078

管(函)渠型側溝

SPK24040094

單第0 -0030 表

1 m 当り

据付 200mm以上300mm以下

円形側溝(各種) 基礎碎石有り

機械構成比:	1.77%	勞務構成比:	21.01%	材料構成比:	77.22%	市場單価構成比:	0.00%	標準單価:	18,751.00000
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	--------------

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.31%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	4.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.42%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
(材料別途)	76.30%		円形側溝 縦断用 内径250mm T-25		F100000000 TTPT00375
軽油 バトロール給油,2~4KL積載車給油	0.68%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0079

管(函)渠型側溝

SPK24040094

單第0 -0030 表

1 m 当り

据付 200mm以上300mm以下

円形側溝(各種) 基礎碎石有り

機械構成比:	1.77%	労務構成比:	21.01%	材料構成比:	77.22%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	18,751.00000
--------	-------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	--------------

[illegible]

施工单価表

【材料】自由勾配側溝

V0000000004

單第0 -0033 表

頁0 -0082

式 当り

[illegible]

施工单価表

蓋版
材料別途 40 ≥ 重量

SDT00017

單第0 -0034 表

頁0 -0083

枚 当り

[illegible]

施工单価表

止水壁

V0000000005

單第0 -0035 表

頁0 -0084

箇所 当り

[illegible]

施工单価表

プレキャスト集水桝
管渠型側溝（管理桝）

V0000000015

單第0 -0036 表

頁0 -0085

基 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0086

プレキャスト集水桝

SPK24040095

单第0 -0037 表

1

基 当り

据付 基礎碎石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

機械構成比: 12.79% 勞務構成比:

84.51% 材料構成比: 2.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

5.895.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	10.32%		バックホウ クローラ型クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	37.63%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	16.21%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.52%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 バトロール給油,2~4KL積載車給油	2.18%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0087

プレキャスト集水桝

SPK24040095

单第0 -0037 表

1

基 当り

据付 基礎碎石有り

製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下

機械構成比: 12.79% 勞務構成比:

84.51% 材料構成比: 2.70%

市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

5,895.60000

[illegible]

施工单価表

【材料】管渠型側溝管理柵

V0000000016

單第0 -0038 表

頁0 -0088

式 当り

[illegible]

施工单価表

プレキャスト集水桝
L35号、R35号集水桝

V0000000013

單第0 -0039 表

頁0 -0089

基 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0090

底部コンクリート

SPK24040153

單第0 -0040 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

勞務構成比：

35.68%

材料構成比：

市場單價構成比：

0.00%

標準単価：

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜賃＞バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3, 2011, 2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 バトロール給油, 2～4KL積載車給油	1.73%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0091

底部コンクリート

SPK24040153

單第0 -0040 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

勞務構成比：

35.68%

材料構成比：

市場單價構成比：

0.00%

標準単価：

33,754.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0092

基礎コンクリート		SPK24040153		単第0 -0041 表		1		m3 当り	
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB		バックホウ(クレーン機能付) 打設						33,754.00000	
機械構成比: 3.79%		労務構成比: 35.68%		材料構成比: 60.53%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価:	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1〜3, 2011, 2014		3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t			KTPC00006 KTPT00006		
その他(機械)				その他(機械)			EK009		
特殊作業員		10.28%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
普通作業員		9.55%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役		7.10%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009		
運転手(特殊)		6.64%		運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006		
その他(労務)				その他(労務)			ER009		
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)		58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343		
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油		1.73%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		

施工単価表

頁0 -0093

基礎コンクリート		SPK24040153		単第0 -0041 表		1		m3 当り	
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB		バックホウ(クレーン機能付)打設						33,754.00000	
機械構成比: 3.79%		労務構成比: 35.68%		材料構成比: 60.53%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価:	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
その他(材料)				その他(材料)			EZ009		
積算単価				積算単価			E9999		
A=1	無筋・鉄筋構造物			B=2	バックホウ(クレーン機能付)打設				
C=2	18-8-40BB			F=2	一般養生				
J=1	-			K=1	-(全ての費用)				

施工単価表

暗渠排水管

V0000000006

単第0 -0044 表

頁0 -0096

1式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm	2. 4	m			単第0-0045 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径77mm以上90mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	1	孔			単第0-0046 表
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm	9. 2	m			単第0-0047 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径110mm以上128mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	4	孔			単第0-0048 表
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm	4. 4	m			単第0-0049 表
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径160mm以上180mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満	2	孔			単第0-0050 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

暗渠排水管

SPK24040092

単第0 -0045 表

頁0 -0097

据付 直管 50～150mm

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm

1m 当り

機械構成比: 0. 00%

労務構成比: 43. 69%

材料構成比: 56. 31%

市場単価構成比: 0. 00%

標準単価: 690. 65000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	31. 14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12. 55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径50(60×4. 1) 参考質量1. 122kg/m	56. 31%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0391 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50～150mm G=1 -			B=1 直管 D=41 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)			SPK24040120			単第0 -0046 表			頁0 -0098		
削孔径77mm以上90mm未満			削孔深さ50mm以上200mm未満			1			孔 当り		
機械構成比: 2.93%			労務構成比: 65.53%			材料構成比: 31.54%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 5,830.80000			代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			備考		
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大孔径 φ 25cm			1.50%			コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大孔径 φ 25cm			MTPC00093 MTPT00093		
〈貨〉発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音			0.88%			〈貨〉発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音			KTPC00042 KTPT00042		
その他(機械)						その他(機械)			EK009		
特殊作業員			37.60%			特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
普通作業員			10.24%			普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役			5.45%			土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)						その他(労務)			ER009		
ダイヤモンドビット 外径90.8mm, 一般用 コンクリート削孔用			28.58%			ダイヤモンドビット φ 90.8mm			TTPC00234 TTPT00234		
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			2.41%			ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014		

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)			SPK24040120			単第0 -0046 表			頁0 -0099		
削孔径77mm以上90mm未満			削孔深さ50mm以上200mm未満			1			孔 当り		
機械構成比: 2.93%			労務構成比: 65.53%			材料構成比: 31.54%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 5,830.80000			代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			備考		
その他(材料)						その他(材料)			EZ009		
積算単価						積算単価			EP001		
A=3 削孔径77mm以上90mm未満						B=1 削孔深さ50mm以上200mm未満					

施工単価表

暗渠排水管			SPK24040092			単第0 -0047 表			頁0 -0100		
据付 直管 50～150mm			硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm			1			m 当り		
機械構成比: 0.00%			労務構成比: 43.69%			材料構成比: 56.31%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 690.65000			代表機材規格(積算地区)			代表機材規格(東京地区)			備考		
普通作業員			31.14%			普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役			12.55%			土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009		
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径100(114×6.6) 参考質量3.409kg/m			56.31%			暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管			TTPCD0394 TTPT00188		
積算単価						積算単価			E9999		
A=1 据付 C=1 50～150mm G=1 -						B=1 直管 D=44 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径100mm I=1 -(全ての費用)					

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)			SPK24040120			単第0 -0048 表			頁0 -0101		
削孔径110mm以上128mm未満			削孔深さ50mm以上200mm未満			1			孔 当り		
機械構成比: 2.58%			労務構成比: 57.77%			材料構成比: 39.65%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 6,612.90000			代表機材規格(積算地区)			代表機材規格(東京地区)			備考		
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ25cm			1.32%			コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ25cm			MTPC00093 MTPT00093		
〈貸〉発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音			0.78%			〈貸〉発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音			KTPC00042 KTPT00042		
その他(機械)						その他(機械)			EK009		
特殊作業員			33.15%			特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
普通作業員			9.03%			普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役			4.80%			土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)						その他(労務)			ER009		
ダイヤモンドビット 外径128.5mm, 一般用 コンクリート削孔用			37.03%			ダイヤモンドビット 外径128.5mm, 一般用 コンクリート削孔用			TTPC00260 TTPT00260		
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			2.13%			ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014		

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)			SPK24040120			単第0 -0048 表			頁0 -0102		
削孔径110mm以上128mm未満			削孔深さ50mm以上200mm未満			1			孔 当り		
機械構成比: 2.58%			労務構成比: 57.77%			材料構成比: 39.65%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)			構成比			単価(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)		
その他(材料)						その他(材料)			標準単価: 6,612.90000		
積算単価						積算単価			備考		
A=6 削孔径110mm以上128mm未満						B=1 削孔深さ50mm以上200mm未満					

施工単価表

暗渠排水管			SPK24040092			単第0 -0049 表			頁0 -0103		
据付 直管 50～150mm			硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm			1			m 当り		
機械構成比: 0.00%			労務構成比: 43.69%			材料構成比: 56.31%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)			構成比			単価(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)		
普通作業員			31.14%			普通作業員			標準単価: 690.65000		
									備考		
土木一般世話役			12.55%			土木一般世話役					
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径150(165×8.9) 参考質量6.701kg/m			56.31%			暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管					
積算単価						積算単価					
A=1 据付 C=1 50～150mm G=1 -						B=1 直管 D=46 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径150mm I=1 -(全ての費用)					

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)			SPK24040120			単第0 -0050 表			頁0 -0104	
削孔径160mm以上180mm未満			削孔深さ50mm以上200mm未満			1			孔 当り	
機械構成比: 2.27%			労務構成比: 50.91%			材料構成比: 46.82%			標準単価: 7,505.60000	
市場単価構成比: 0.00%			標準単価:			1			7,505.60000	
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考	
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ 25cm			1.16%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ 25cm				MTPC00093 MTPT00093	
〈貸〉発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音			0.69%		〈貸〉発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音				KTPC00042 KTPT00042	
その他(機械)					その他(機械)				EK009	
特殊作業員			29.21%		特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001	
普通作業員			7.96%		普通作業員				RTPC00002 RTPT00002	
土木一般世話役			4.23%		土木一般世話役				RTPC00009 RTPT00009	
その他(労務)					その他(労務)				ER009	
ダイヤモンドビット 外径180.0mm, 一般用 コンクリート削孔用			44.52%		ダイヤモンドビット 外径180.0mm, 一般用 コンクリート削孔用				TTPC00262 TTPT00262	
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油			1.87%		ガソリンレギュラースタンド				TTPC00014 TTPT00014	

施工単価表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)			SPK24040120			単第0 -0050 表			頁0 -0105	
削孔径160mm以上180mm未満			削孔深さ50mm以上200mm未満			1			孔 当り	
機械構成比: 2.27%			労務構成比: 50.91%			材料構成比: 46.82%			標準単価: 7,505.60000	
市場単価構成比: 0.00%			標準単価:			1			7,505.60000	
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考	
その他(材料)					その他(材料)				EZ009	
積算単価					積算単価				EP001	
A=8 削孔径160mm以上180mm未満					B=1 削孔深さ50mm以上200mm未満					

施工単価表

頁0 -0106

歩車道境界ブロック			SPK24040287		単第0 -0051 表		1		m 当り	
B種(180/205×250×600) 片斜両面R			設置 RC-40 養生工有り		緑石工A		標準単価:		8,355.90000	
機械構成比: 1.90%			労務構成比: 61.42%		材料構成比: 36.68%		市場単価構成比: 0.00%			
代表機労材規格(積算地区)			構成比		単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区) 備考	
〈賃〉後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07) 吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音			1.58%				小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3) 吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053	
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3, 2011, 2014			0.32%				バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018	
普通作業員			20.29%				普通作業員		RTPC00002 RTPT00002	
特殊作業員			16.79%				特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001	
土木一般世話役			10.38%				土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009	
型わく工			8.55%				型わく工		RTPC00010 RTPT00010	
その他(労務)							その他(労務)		ER009	
歩車道境界(JISA5371)B 180/205×250×600 片斜両面R, 参考質量69kg			26.06%				歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTPCH0036 TTPT00102	
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)			9.16%				生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003	

施工単価表

頁0 -0107

歩車道境界ブロック		SPK24040287		単第0 -0051 表		1		m		当り	
B種(180/205×250×600) 片斜両面R		設置 RC-40 養生工有り		縁石工A		標準単価:		8,355.90000			
機械構成比: 1.90%		労務構成比: 61.42%		材料構成比: 36.68%		市場単価構成比: 0.00%					
代表機労材規格(積算地区)		構成比		単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)		備考	
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		0.77%				軽油バトロール給油				TTPC00013 TTPT00013	
再生クラッシュヤラン 40〜0mm		0.69%				再生クラッシュヤラン RC-40				TTPC00008 TTPT00008	
積算単価						積算単価				E9999	
A=1 設置 E=1 RC-40 G=2 養生工有り						B=4 B種(180/205×250×600) 片斜両面R F=2 18-8-40BB H=1 -					

施工単価表

頁0 -0108

歩車道境界ブロック		SPK24040287		単第0 -0052 表	
水抜きB種 (H250用箱型 L600) 片斜両面R		設置 RC-40 養生工有り		緑石工A	
機械構成比: 1.90%		労務構成比: 61.42%		市場単価構成比: 0.00%	
材料構成比: 36.68%		標準単価: 1 m 当り		8,355.90000	
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.58%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3, 2011, 2014	0.32%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	20.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.79%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
型わく工	8.55%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(水抜き)B H250用(箱型), L600 片斜両面R, 参考質量56kg	26.06%		歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600)		TTPCH0043 TTPT00102
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	9.16%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003

施工単価表

頁0 -0109

歩車道境界ブロック		SPK24040287		単第0 -0052 表	
水抜きB種 (H250用箱型 L600) 片斜両面R		設置 RC-40 養生工有り		緑石工A	
機械構成比: 1.90%		労務構成比: 61.42%		市場単価構成比: 0.00%	
材料構成比: 36.68%		標準単価: 1 m 当り		8,355.90000	
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油	0.77%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
再生クラッシュヤラン 40〜0mm	0.69%		再生クラッシュヤラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
積算単価			積算単価		E9999
A=1 設置 E=1 RC-40 G=2 養生工有り			B=11 水抜きB種 (H250用箱型 L600) 片斜両面R F=2 18-8-40BB H=1 -		

施工単価表

頁0 -0110

歩車道境界ブロック		SPK24040287		単第0 -0053 表			
端部B種 (H250用 L600) 片斜両面R		設置 RC-40 養生工有り		緑石工A		1 m 当り	
機械構成比: 1.90%		労務構成比: 61.42%		材料構成比: 36.68%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 8,355.90000		代表機労材規格 (積算地区)		代表機労材規格 (東京地区)		備考	
構成比		単価 (積算地区)		単価 (東京地区)			
〈賃〉後方超小旋回小型バックホウ (クローラ) 山積0.09m3 (平積0.07) 吊能力0.9t 排出ガス対策型 (第1, 2, 3次基準値) 低騒音		1.58%		小型バックホウ (クローラ型) 〔後方超小旋回型・クレーン機能付〕 山積0.09m3 (平積0.07m3) 吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053	
〈賃〉バックホウ (クローラ型) 山積0.8m3 (平積0.6) 排1〜3, 2011, 2014		0.32%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3 (平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018	
普通作業員		20.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002	
特殊作業員		16.79%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001	
土木一般世話役		10.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009	
型わく工		8.55%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010	
その他 (労務)				その他 (労務)		ER009	
歩車道境界 (端部) B H250用, L600 片斜両面R, 参考質量65kg		26.06%		歩車道境界ブロック B種 (180/205×250×600)		TTPCH0041 TTPT00102	
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C (60%), 種別 (高炉)		9.16%		生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003	

施工単価表

頁0 -0111

歩車道境界ブロック		SPK24040287		単第0 -0053 表			
端部B種 (H250用 L600) 片斜両面R		設置 RC-40 養生工有り		緑石工A		1 m 当り	
機械構成比: 1.90%		労務構成比: 61.42%		材料構成比: 36.68%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 8,355.90000		代表機労材規格 (積算地区)		代表機労材規格 (東京地区)		備考	
構成比		単価 (積算地区)		単価 (東京地区)			
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		0.77%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013	
再生クラッシュヤラン 40〜0mm		0.69%		再生クラッシュヤラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008	
積算単価				積算単価		E9999	
A=1 設置 E=1 RC-40 G=2 養生工有り				B=9 端部B種 (H250用 L600) 片斜両面R F=2 18-8-40BB H=1 -			

施工单価表

頁0 -0112

歩車道境界ブロック

SPK24040287

單第0 -0054 表

歩道接続部(180/204×120×600)

設置 RC-40 養生工有り

縁石工B

1 m 当り

機械構成比: 0.34% 勞務構成比:

67.92% 材料構成比: 31.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

7.103.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1〜3, 2011, 2014	0.34%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	25.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	12.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
型わく工	10.06%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
歩車道境界(歩道接続部) 180/204×120×600 参考質量32kg	21.25%		歩車道境界ブロック A種 150/170×200×600		TTPCH0040 TTPT00218
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランブ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	9.43%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
再生クラッシュラン 40〜0mm	0.75%		再生クラッシュラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008

施工単価表

頁0 -0113

歩車道境界ブロック

SPK24040287

單第0 -0054 表

歩道接続部(180/204×120×600)

設置 RC-40 養生工有り

縁石工B

1 m 当り

機械構成比: 0.34% 勞務構成比:

67.92% 材料構成比: 31.74%

市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

7,103.30000

[illegible]

施工单価表

頁0 -0114

地先境界ブロック A

SPK24040288

單第0 -0055 表

一般部

1

m 当り

機械構成比: 0

79.26%

材料構成比：

20.22%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価：

4,115.50000

代表機勞材規

賣算地区)

	構
--	---

	単価(積
--	------

区)	代表機労材規格(東京地区)
----	---------------

単価(東京地区)

備考

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3, 2011, 2014	0.52%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	34.91%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	19.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	19.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.38%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
地先境界(JISA5371)A 120×120×600 参考質量21kg	18.64%		地先境界ブロック A種(120×120×600)		TTPC00103 TTPT00103
再生クラッシュラン 40～0mm	1.11%		再生クラッシュラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 バトロール給油, 2～4KL積載車給油	0.47%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0115

A種(120×120×600)

0

場单価精

单位

4,115.50000

機械構成比: 0

79.26%

材料構成比：

20.22%

市場單價構成比：

0.00%

標準単価：

4,115.50000

代表機勞材規

賣算地区)

	構
--	---

	単価(積
--	------

区)	代表機労材規格(東京地区)
----	---------------

単価(東京地区)

備考

[illegible]

施工単価表

地先境界ブロック B		SPK24040288		単第0 -0056 表		頁0 -0116	
A種 (120×120×600)		設置 RC-40 養生工有り		車両乗入部		1 m 当り	
機械構成比: 0.34%		労務構成比: 77.05%		材料構成比: 22.61%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 6,136.10000		代表機材規格 (積算地区)		代表機材規格 (東京地区)		備考	
構成比		単価 (積算地区)		単価 (東京地区)			
〈賃〉バックホウ (クローラ型) 山積0.8m3 (平積0.6) 排1〜3, 2011, 2014		0.34%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3 (平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018	
普通作業員		29.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002	
土木一般世話役		15.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009	
特殊作業員		13.74%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001	
型わく工		11.65%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010	
その他 (労務)				その他 (労務)		ER009	
地先境界 (JISA5371) A 120×120×600 参考質量21kg		12.50%		地先境界ブロック A種 (120×120×600)		TTPC00103 TTPT00103	
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C (60%), 種別 (高炉)		9.05%		生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003	
再生クラッシャーラン 40〜0mm		0.75%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008	

施工単価表

地先境界ブロック B		SPK24040288		単第0 -0056 表		頁0 -0117	
A種 (120×120×600)		設置 RC-40 養生工有り		車両乗入部		1 m 当り	
機械構成比: 0.34%		労務構成比: 77.05%		材料構成比: 22.61%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 6,136.10000		代表機材規格 (積算地区)		代表機材規格 (東京地区)		備考	
構成比		単価 (積算地区)		単価 (東京地区)			
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油		0.31%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013	
積算単価				積算単価		E9999	
A=1 設置 E=1 RC-40 G=2 養生工有り				B=1 A種 (120×120×600) F=2 18-8-40BB H=1 -			

施工单価表

頁0 -0118

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0057 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 バトロール給油, 2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合 G=1 - I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工单価表

頁0 -0119

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0057 表

1000 m 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0120

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0058 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_20cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	798.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	34.650	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	34.650	kg			
軽油 バトロール給油, 2～4KL積載車給油	45.150	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=2 実線_20cm E=1 アスファルトに設置の場合 G=1 - I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工单価表

頁0 -0121

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0058 表

1000 m 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0122

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0059 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 破線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油	46.200	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=5 破線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工单価表

頁0 -0123

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0059 表

1000 m 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0124

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0060 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	93.450	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=12 ゼブラ_45cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工单価表

頁0 -0125

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0060 表

1000 m 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0126

区画線設置(溶融式)
矢印・記号・文字 15cm換算

SDT00001

單第0 -0061 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油	105.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合 G=1 - I=1 -			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工单価表

頁0 -0127

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0061 表

1000 m 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0128

標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] SS000067
単柱式 下地亜鉛メッキ+静電粉体塗装(白色) 柱径φ60.5 [規]2基以下

單第0 -0062 表

1 基 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0129

標識板設置 SS000223
警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下

單第0 -0063 表

1 基 当り

[illegible]

施工単価表

車線分離標(固定式)(貼付式)
設置 高さ 650mm [規]30本以上

SS0000095

単第0 -0064 表

頁0 -0130

1
本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
車線分離標設置(ラバーボール)【材工共】 固定式(貼付式) 本体径φ80mm高さ650mm	1.000	本			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 設置 C=1 [規]30本以上 E=1 -			B=2 高さ_650mm D=1 - F=1 -		

施工単価表

視覚障がい者誘導タイル設置工
MMA樹脂製 300*600 相当品

V0000000007

単第0 -0065 表

頁0 -0131

10
m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
MMA点字タイル SM630-J Y / J Z	56.0	枚			
専用接着剤 SM-201 (貼付用)	7.0	セット			
専用プライマー SM-203 (下地用)	2.0	セット			
雑材料	1	式			
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	3.0	人			
普通作業員	4.0	人			
雑材料	7	%			#03
*** 合計 ***	10	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工单価表

頁0 -0132

道路鋏(貼付式)

SS000091

單第0 -0066 表

1 個 当り

設置 両面反射 [規]10個以上30個未満

[illegible]

施工单価表

頁0 -0133

防護柵撤去

SS000127

單第0 -0067 表

1 m 当り

土中建込

A, B, C (支柱間隔4m)

ガードレール

[illegible]

施工単価表

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

単第0 -0070 表

頁0 -0136

機械施工

1

m3

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_無筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1. 000	m3			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施工単価表

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0071 表

頁0 -0137

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

標準単価：1 m 当り

機械構成比：15. 42% 労務構成比：57. 13% 材料構成比：27. 45% 市場単価構成比：0. 00%

673. 26000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10. 49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19. 60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10. 55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8. 73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23. 29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2. 83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工单価表

頁0 -0138

鋪裝版切斷

SPK24040306

單第0 -0071 表

1 m 当り

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

機械構成比:	15.42%	勞務構成比:	57.13%	材料構成比:	27.45%	市場単価構成比:	0.00%
--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	-------

標準単価： 673.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0139

鋪裝版破碎

SPK24040305

單第0 -0072 表

1 m2 当り

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

機械構成比: 13.49% 勞務構成比: 80.49% 材料構成比: 6.02% 市場單價構成比: 0.00%

標準單價： 207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) 〔後方超小旋回型〕 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油,2〜4KL積載車給油	6.02%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工单価表

蓋版撤去

V0000000008

單第0 -0073 表

頁0 -0140

1 式 当り

[illegible]

施工单価表

再利 用 撤 去

SDT00019

單第0 -0074 表

頁0 -0141

蓋版 コンクリート・鋼製 40を超え170kg/枚 グレーチング

1 枚 当り

[illegible]

施工単価表

蓋版撤去
蓋版 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚 Co蓋

SDT00019

単第0 -0075 表

1
枚 当り

頁0 -0142

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_蓋版【手間のみ】 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 時間的制約なし 1枚当り	1.000	枚			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 昼間施工 C=7 コンクリート・鋼製_40を超え170kg/枚以下 F=1 -			B=2 蓋版 D=1 時間的制約なし		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎

SPK24040151

単第0 -0076 表

1
m3 当り

頁0 -0143

機械構成比: 44.95%	労務構成比: 38.97%	材料構成比: 16.08%	市場単価構成比: 0.00%	標準単価: 1,345.00000			
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)		38.97%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油		16.08%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=3 C=2 E=1	舗装版破碎 DID区間有り -(全ての費用)			B=2 D=12	機械積込(騒対不要, 15cm超)又(騒対要) 運搬距離3.0km以下(2.0km超)		

施工単価表

殻運搬		SPK24040151		単第0 -0077 表		頁0 -0144	
Co(無筋)構造物とりこわし		DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		1		m3 当り	
機械構成比: 41.69%		労務構成比: 43.88%		材料構成比: 14.43%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 1,225.40000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)		43.88%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油		14.43%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)				B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)			

施工単価表

殻運搬		SPK24040151		単第0 -0078 表		頁0 -0145	
Co(鉄筋)構造物とりこわし		DID区間有り 運搬距離3.3km以下(1.6km超)		1		m3 当り	
機械構成比: 41.69%		労務構成比: 43.88%		材料構成比: 14.43%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 1,531.70000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)		43.88%		運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油		14.43%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
積算単価				積算単価			EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)				B=1 機械積込 D=14 運搬距離3.3km以下(1.6km超)			

施工単価表

頁0 -0146

現場発生品_積み込み・荷卸し			SPK24040411			単第0 -0079 表			1 t 当り		
クレーン装置付BT2t級2.9t吊			ガードレール、転落防止柵			標準単価:			9,082.20000		
機械構成比: 13.52%			労務構成比: 83.62%			材料構成比: 2.86%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考	
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t			13.52%			トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t				MTPC00154 MTPT00154	
運転手(特殊)			42.39%			運転手(特殊)				RTPC00006 RTPT00006	
特殊作業員			40.83%			特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001	
その他(労務)						その他(労務)				ER009	
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油			2.86%			軽油パトロール給油				TTPC00013 TTPT00013	
積算単価						積算単価				EP001	
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊											

施工単価表

頁0 -0147

現場発生品運搬			SPK24040410			単第0 -0080 表			1 t 当り		
クレーン装置付BT2t級2.9t吊			片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)			標準単価:			3,711.80000		
機械構成比: 13.58%			労務構成比: 83.54%			材料構成比: 2.88%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考	
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t			13.58%			トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t				MTPC00154 MTPT00154	
運転手(特殊)			42.54%			運転手(特殊)				RTPC00006 RTPT00006	
特殊作業員			41.00%			特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001	
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油			2.88%			軽油パトロール給油				TTPC00013 TTPT00013	
積算単価						積算単価				EP001	
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=7 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)						B=2 DID区間有り					

施工单価表

頁0 -0148

現場発生品運搬

SPK24040410

单第0 -0081 表

1 t 当り

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)

機械構成比: 13.58% 勞務構成比: 83.54% 材料構成比: 2.88%

市場單價構成比: 0.00%

標準単価：

8,986.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=14	クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離17.0km以下(14.0km超)		B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0149

信号機等移設

V0000000009

單第0 -0082 表

1 式 当り

[illegible]

施工单価表

信号機等移設_労務

V0000000010

單第0 -0083 表

頁0 -0150

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通信号機装置（車両灯器）_撤去 再利用	1	台			単第0-0084 表
交通信号機装置（車両灯器）_設置	1	台			単第0-0086 表
交通信号機装置（歩行者灯器）_撤去 再利用	1	台			単第0-0087 表
交通信号機装置（歩行者灯器）_設置	1	台			単第0-0088 表
交通信号機装置（車両灯器）_調整	1	台			単第0-0089 表
交通信号機装置（歩行者灯器）_調整	1	台			単第0-0090 表
車両感知装置_撤去 再利用なし	1	台			単第0-0091 表
車両感知装置_撤去 再利用	1	台			単第0-0092 表
車両感知装置_設置	2	台			単第0-0093 表
車両感知装置_調整	2	台			単第0-0094 表
通信ケーブル配線_撤去 30mm以下	4	径間			単第0-0095 表
通信ケーブル配線_設置 30mm以下	5	径間			単第0-0096 表

施工单価表

信号機等移設_労務

V0000000010

單第0 -0083 表

頁0 -0151

式 当り

[illegible]

施工单価表

交通信号機装置（車両灯器）_撤去
再利用

VR0001

單第0 -0084 表

頁0 -0152

$$\frac{1}{2}$$

台	当り

[illegible]

施工单価表

高所作業車
作業床高さ12m

VR0000

單第0 -0085 表

頁0 -0153

時間 当り

[illegible]

施工单価表

通信ケーブル配線 設置

VR0012

單第0 -0096 表

頁0 -0164

30mm以下

径間 当り

[illegible]

施工单価表

通信ケーブル配線 設置

VR0013

單第0 -0097 表

頁0 -0165

40mm以下

径間 当り

[illegible]

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電工	0.15	人			
*** 単位当たり ***	1	個			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
端子函（屋外用差込式） 8T	1	個			
600Vビニル絶縁電線（撚り線） IV 2.0 SQ	5.0	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-3C	7.0	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-4C	10.0	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV 2.0-6C	7.0	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-6C	139.0	m			
制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル CVV-SSD 2.0-20C	21.0	m			
薄鋼電線管 31	2	本			
エントランスキャップ（薄鋼） 31	1	個			
パイプ留金物 KBP-40（33～42）	3	個			
自在ハント（ケーブル引留） 4BD-HD-17（170～265）	1	本			
自在ハント（ケーブル引留） 4BD-HD-23（230～325）	3	本			

施工单価表

信号機等移設_機器

V0000000011

單第0 -0102 表

頁0 -0172

式 当り

[illegible]

施工单価表

建設機械の貨物自動車等による運搬

S1000013

單第0 -0103 表

頁0 -0173

路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 片道運搬距離 23.3km 往復運搬

1	回	当り
---	---	----

[illegible]

施工单価表

基本運賃料金

S1000015

單第0 -0104 表

頁0 -0174

片道運搬距離 23.3km

$$\frac{1}{2}$$

式 当り

[illegible]

施工单価表

運搬される建設機械の運搬中の損料

S1000015

單第0 -0105 表

頁0 -0175

路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付)

式 当り

[illegible]

施工单価表

機械掘削工(小型バックホウ)

SG1D0001001

單第0 -0106 表

頁0 -0176

1 m3 当り

[illegible]

施工单価表

機-18 小型バックホウ運転

SM1802010

單第0 -0107 表

頁0 -0177

113_標準型 排2	山積0.13m ³ (平積0.10m ³)
------------	--

1 目 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)

SG1D0002002

単第0 -0108 表

1
m3 当り

頁0 -0178

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0107 表 100/65
タンバ締固め	100	m3			単第0-0109 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3			B=6 材料別途		

施工単価表

タンバ締固め

SPK24040021

単第0 -0109 表

1
m3 当り

頁0 -0179

機械構成比: 1.24% 労務構成比: 97.05% 材料構成比: 1.71% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,564.30000					
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈賃〉タンバ(ランマ) 質量60〜80kg	1.24%		タンバ及びランマ 質量60〜80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.22%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.71%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)

SG1E0003002

単第0 -0110 表

頁0 -0180

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 011_オンロード ディーゼル 2t積級 1m3当り(計/10m3)	0.90	日			単第0-0111 表
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=3 山積0.13m3 D=6 3.0以下			C=2 [有]DID区間 E=1 路面状況:良好		

施工単価表

ダンプトラック運転
011_オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0111 表

頁0 -0181

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油	21.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=1 2t積級 D=21 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工单価表

頁0 -0184

ブロック据付工
(斜壁, 直壁等又はスラブの作業)

SG1D0044003

單第0 -0114 表

個 当り

[illegible]

施工单価表

頁0 -0185

蓋(受枠とも)及び調整Coブロック撤去工

VG1D0044005

單第0 -0115 表

組 当り

[illegible]

施工単価表

ブロック撤去工
(斜壁,直壁等又はスラブの作業)

VG1D0044003

単第0 -0116 表

1
個 当り

頁0 -0186

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.05	人			
特殊作業員	0.05	人			
普通作業員	0.1	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	0.05	日			
*** 単位当たり ***	1	個			

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし

SPK24040151

単第0 -0117 表

1
m3 当り

頁0 -0187

機械構成比: 41.69%

労務構成比: 43.88%

材料構成比: 14.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 3,216.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油,2〜4KL積載車給油	14.43%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し			SPK24040411			単第0 -0118 表			頁0 -0188		
クレーン装置付BT2t級2.9t吊						1			t 当り		
機械構成比: 13.52%			労務構成比: 83.62%			材料構成比: 2.86%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 9,082.20000											
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考	
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t			13.52%			トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t				MTPC00154 MTPT00154	
運転手(特殊)			42.39%			運転手(特殊)				RTPC00006 RTPT00006	
特殊作業員			40.83%			特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001	
その他(労務)						その他(労務)				ER009	
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油			2.86%			軽油パトロール給油				TTPC00013 TTPT00013	
積算単価						積算単価				EP001	
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊											

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬			SPK24040410			単第0 -0119 表			頁0 -0189		
クレーン装置付BT2t級2.9t吊			片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)			1			t 当り		
機械構成比: 13.58%			労務構成比: 83.54%			材料構成比: 2.88%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 3,711.80000											
代表機労材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考	
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t			13.58%			トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t				MTPC00154 MTPT00154	
運転手(特殊)			42.54%			運転手(特殊)				RTPC00006 RTPT00006	
特殊作業員			41.00%			特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001	
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油			2.88%			軽油パトロール給油				TTPC00013 TTPT00013	
積算単価						積算単価				EP001	
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=7 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)						B=2 DID区間有り					

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)			SPK24040018			単第0 -0120 表			頁0 -0190		
機械構成比: 20.80%			労務構成比: 71.28%			材料構成比: 7.92%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			標準単価: 1 m2 当り			1,690.80000		
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3			小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3			備考			MTPC00077 MTPT00077		
運転手(特殊)			運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006					
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油			軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013					
積算単価			積算単価			EP001					
A=1 -(全ての費用)											

施工単価表

殻運搬			SPK24040151			単第0 -0121 表			頁0 -0191		
舗装版破砕			DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)			標準単価: 1 m3 当り			3,220.30000		
機械構成比: 18.57%			労務構成比: 72.35%			材料構成比: 9.08%			市場単価構成比: 0.00%		
代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			備考					
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)			MTPC00016T1 MTPT00016T1					
運転手(一般)			運転手(一般)			RTPC00007 RTPT00007					
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油			軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013					
積算単価			積算単価			EP001					
A=3 舗装版破砕 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=13 運搬距離3.0km以下(2.5km超)								

施工単価表

下層路盤(歩道部)			SPK24040233			単第0 -0122 表			頁0 -0192		
全仕上り厚150mm 1層施工			RC-40			1			m2 当り		
機械構成比: 5.62%			労務構成比: 72.88%			材料構成比: 21.50%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 784.89000											
代表機材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考		
〈賃〉小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音			2.91%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)				KTPC00001 KTPT00001		
〈賃〉振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3〜4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音			2.55%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3〜4t				KTPC00009 KTPT00009		
その他(機械)					その他(機械)				EK009		
普通作業員			30.50%		普通作業員				RTPC00002 RTPT00002		
運転手(特殊)			26.32%		運転手(特殊)				RTPC00006 RTPT00006		
特殊作業員			13.94%		特殊作業員				RTPC00001 RTPT00001		
その他(労務)					その他(労務)				ER009		
再生クラッシャーラン 40〜0mm			19.41%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm				TTPC00008 TTPT00352		
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油			2.03%		軽油パトロール給油				TTPC00013 TTPT00013		

施工単価表

下層路盤(歩道部)			SPK24040233			単第0 -0122 表			頁0 -0193		
全仕上り厚150mm 1層施工			RC-40			1			m2 当り		
機械構成比: 5.62%			労務構成比: 72.88%			材料構成比: 21.50%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 784.89000											
代表機材規格(積算地区)			構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)			単価(東京地区)	備考		
その他(材料)					その他(材料)				EZ009		
積算単価					積算単価				E9999		
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)					B=4 RC-40						
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)											

施工単価表

上層路盤(歩道部)			SPK24040235			単第0 -0123 表			頁0 -0194		
全仕上り厚150mm 1層施工			RM-30			1			m2 当り		
機械構成比: 5.20%			労務構成比: 67.43%			材料構成比: 27.37%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 848.39000			代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			備考		
構成比			単価(積算地区)			単価(東京地区)					
〈賃〉小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音			2.69%			小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)			KTPC00001 KTPT00001		
〈賃〉振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3〜4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音			2.36%			振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3〜4t			KTPC00009 KTPT00009		
その他(機械)						その他(機械)			EK009		
普通作業員			28.22%			普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
運転手(特殊)			24.35%			運転手(特殊)			RTPC00006 RTPT00006		
特殊作業員			12.90%			特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
その他(労務)						その他(労務)			ER009		
再生粒度調整碎石 30〜0mm			25.44%			再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm			TTPC00010 TTPT00360		
軽油 パトロール給油,2〜4KL積載車給油			1.88%			軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		

施工単価表

上層路盤(歩道部)			SPK24040235			単第0 -0123 表			頁0 -0195		
全仕上り厚150mm 1層施工			RM-30			1			m2 当り		
機械構成比: 5.20%			労務構成比: 67.43%			材料構成比: 27.37%			市場単価構成比: 0.00%		
標準単価: 848.39000			代表機労材規格(積算地区)			代表機労材規格(東京地区)			備考		
構成比			単価(積算地区)			単価(東京地区)					
その他(材料)						その他(材料)			EZ009		
積算単価						積算単価			E9999		
A=150 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)						B=1 RM-30					
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):150.000(mm)											

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)			SPK24040234		単第0 -0124 表		頁0 -0196	
再生瀝青安定処理材			平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下		1		m2 当り	
機械構成比: 0.33%			労務構成比: 36.80%		材料構成比: 62.87%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 3,867.40000			代表機労材規格(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)		備考	
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t			構成比 0.19%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047	
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg			0.10%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049	
その他(機械)					その他(機械)		EK009	
特殊作業員			18.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001	
普通作業員			10.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002	
土木一般世話役			3.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009	
その他(労務)					その他(労務)		ER009	
再生加熱アスファルト安定処理路盤材			59.34%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚80mm		TTPCD0025 TTPT00356	
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			3.35%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026	

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)			SPK24040234		単第0 -0124 表		頁0 -0197	
再生瀝青安定処理材			平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下		1		m2 当り	
機械構成比: 0.33%			労務構成比: 36.80%		材料構成比: 62.87%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 3,867.40000			代表機労材規格(積算地区)		代表機労材規格(東京地区)		備考	
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油			構成比 0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014	
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油			0.03%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013	
その他(材料)					その他(材料)		EZ009	
積算単価					積算単価		E9999	
A=2 再生瀝青安定処理材 D=88 1層当り平均仕上り厚(mm) H=1 -(全ての費用)			C=2 平均幅員1.4m未満 平均厚50mm超100mm以下 F=2 PK-3					
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):88.000(mm)								

施工単価表

基層(歩道部)		SPK24040242		単第0 -0125 表		頁0 -0198	
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)		1層当り平均仕上厚50mm		1		m2 当り	
機械構成比: 0.44%		労務構成比: 47.28%		材料構成比: 52.28%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 2,327.60000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		0.29%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t			MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		0.08%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg			MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)				その他(機械)			EK009
特殊作業員		18.35%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
普通作業員		16.42%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		4.96%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)		50.22%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		1.90%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用			TTPC00027 TTPT00027

施工単価表

基層(歩道部)		SPK24040242		単第0 -0125 表		頁0 -0199	
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)		1層当り平均仕上厚50mm		1		m2 当り	
機械構成比: 0.44%		労務構成比: 47.28%		材料構成比: 52.28%		市場単価構成比: 0.00%	
標準単価: 2,327.60000							
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.10%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 バトロール給油,2～4KL積載車給油		0.04%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)				B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -			
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

頁0 -0200

表層(歩道部)		SPK24040244		単第0 -0126 表		1		m2 当り	
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)		1層当り平均仕上厚50mm						1,956.60000	
機械構成比: 0.47%		労務構成比: 50.62%		材料構成比: 48.91%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価:	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t			MTPC00047 MTPT00047		
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		0.09%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg			MTPC00049 MTPT00049		
その他(機械)				その他(機械)			EK009		
特殊作業員		21.87%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001		
普通作業員		19.54%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役		5.90%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)				その他(労務)			ER009		
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)		48.73%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm			TTPC00023 TTPT00293		
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.12%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014		

施工単価表

頁0 -0201

表層(歩道部)		SPK24040244		単第0 -0126 表		1		m2 当り	
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)		1層当り平均仕上厚50mm						1,956.60000	
機械構成比: 0.47%		労務構成比: 50.62%		材料構成比: 48.91%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価:	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
軽油 バトロール給油, 2～4KL積載車給油		0.05%		軽油バトロール給油			TTPC00013 TTPT00013		
その他(材料)				その他(材料)			EZ009		
積算単価				積算単価			E9999		
A=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)			B=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C=8	再生粗粒度アスファルト混合物(20)			E=5	瀝青材料無し				
G=2	小型車割増有			H=1	-				
I=1	-(全ての費用)								
【アスファルト混合物単価】									
1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値)									
1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)									

§ 1. 積算数量総括表

[illegible]

工事区分：道路改良

積 算 数 量 総 括 表

工事区分: 道路改良

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	当 初 数 量		変 更 数 量		摘 要
					計算数量	積算数量	計算数量	積算数量	
排水構造物工									
	作業土工								
		床掘り	土砂 上記以外（小規模）	m3	94.1	90			
		埋戻し	土砂 上記以外（小規模）	m3	43.1	40			
		基面整正		m2	179.4				床掘り「上記以外（小規模）」 に含む
	側溝工								
		L型側溝A		m	50.7	51			
		L型側溝B		m	11.2	11			
		管渠型側溝	手間	m	115.5	116			
		管渠型側溝	材料	式	1	1			
		自由勾配側溝	手間	m	98.1	98			
		自由勾配側溝	材料	式	1	1			
		止水壁		箇所	2	2			
	集水柵工								
		プレキャスト集水柵 管渠型側溝（管理柵）	手間	基	5	5			
		プレキャスト集水柵 管渠型側溝（管理柵）	材料	式	1	1			
		プレキャスト集水柵 L, R35号集水柵	手間	基	2	2			
		プレキャスト集水柵 L, R35号集水柵	材料	式	1	1			
	管渠工								
		暗渠排水管	直管	式	1	1			排水構造物工 数量集計表
縁石工									
	縁石工								
		歩車道境界ブロック	縁石工A 一般部	m	116.4	116			
		歩車道境界ブロック	縁石工A 水抜き用	m	17.4	17			
		歩車道境界ブロック	縁石工A 端部	m	10.2	10			
		歩車道境界ブロック	縁石工B 車両乗入部, 歩道接続部	m	76.7	77			
		地先境界ブロック	地先境界ブロックA 一般部	m	135.3	135			
		地先境界ブロック	地先境界ブロックB 車両乗入部	m	80.2	80			
区画線工									
	区画線工								
		溶融式区画線	白色・実線 W=15cm	m	340.5	340			
		溶融式区画線	白色・実線 W=20cm	m	146.9	150			
		溶融式区画線	白色・破線 W=15cm	m	149.2	150			
		溶融式区画線	白色・ゼブラ W=45cm	m	66.5	67			
		溶融式区画線	白色・矢印・記号・文字 W=15cm換算	m	71.0	71			
標識工									
	小型標識工								
		標識柱	標識柱・基礎設置	基	1	1			
		標識板	標識板設置 左折標識・φ600	基	2	2			

工事区分: 道路改良

[illegible]

§ 2. 道路土工

道路土工数量集計表

[illegible]

【土量配分表】

発生土

片切 掘削	工種		土質	地山	地山合計
	【道路土工】		砂質土	181.6	

床掘	工種		土質	地山	地山合計
	【排水構造物工】	E	砂質土	94.1	

必要土量

路体 盛土	工種		土質	締固	変化率による換算					地山合計
	【道路土工】	B<2.5	砂質土	31.7	31.7	=	35.2	×	0.90	

路体 盛土	工種		土質	締固	地山合計
	【道路土工】	B<2.5	単粒 碎石	22.3	

埋戻	工種		土質	締固	変化率による換算					地山合計
	【排水構造物工】	Fu	砂質土	43.1	43.1	=	47.8	×	0.90	

不足土量の検討

発生土		流用土		土砂処分
275.7	-	83.0	=	192.7
		※土砂運搬 現場→仮置き場 ※積込 仮置き場内 ※土砂運搬 仮置き場→現場		※土砂運搬 現場→処分場

数量計算書

道 路 土 工 計 算 書

片切掘削(土砂)				
----------	--	--	--	--

[illegible]

数量計算書

道 路 土 工 計 算 書									
路体盛土(B<2.5) 流用									
測 点	距 離	当 初			測 点	距 離	変 更		
		断 面 長	平 均	体 積			断 面 長	平 均	体 積
No.3 +3.000	17.000	0.30	0.300	5.10					
No.4		0.30							
No.4 +15.000	15.000	0.40	0.350	5.25					
No.5	5.000	0.40	0.400	2.00					
No.6	20.000	0.40	0.300	6.00					
		0.20							
No.7	20.000	0.20	0.200	4.00					
		0.20							
No.8	20.000	0.30	0.250	5.00					
		0.30							
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
合 計				31.7					
				m3					
路体盛土(B<2.5) 单粒									
測 点	距 離	当 初			測 点	距 離	変 更		
		断 面 長	平 均	体 積			断 面 長	平 均	体 積
No.3 +3.000	17.000	0.20	0.200	3.40					
No.4		0.20							
No.4 +15.000	15.000	0.20	0.200	3.00					
No.5	5.000	0.20	0.200	1.00					
		0.20							
No.6	20.000	0.20	0.200	4.00					
		0.20							
No.7	20.000	0.20	0.200	4.00					
		0.20							
No.8	20.000	0.20	0.200	4.00					
		0.20							
No.8 +14.500	14.500	0.20	0.200	2.90					
合 計				22.3					
				m3					

数量計算書

道 路 土 工 計 算 書

張コンクリート

測 点	距 離	当 初			測 点	距 離	变 更		
		断 面 長	平 均	体 積			断 面 長	平 均	体 積
(右) No.3									
No.4	20.000	0.043	0.043	0.86					
No.4 +15.000	15.000	0.043	0.043	0.65					
		0.043							
(左) No.4									
No.4 +15.000	15.000	0.002	0.002	0.03					
No.5	5.000	0.002	0.002	0.01					
		0.002							
(右) No.6									
		0.008							
No.7	20.000	0.008	0.008	0.16					
No.8	20.000	0.008	0.008	0.16					
(左) No.7									
		0.006							
No.8	20.000	0.006	0.006	0.12					
No.8 +14.500	14.500	0.006	0.006	0.09					
合 計	129.500			2.08					
				m3					

§ 3. 鋪 装 工

舗 装 工 数 量 集 計 表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量		摘 要
				当 初	変 更	
路面切削工						
	路面切削	平均切削深さ t=7.8cm	m2	1700.1		
	殻運搬	切削殻	m3	132.6		
	殻処分	切削殻	t	311.6		
オーバーレイ工	(車道部)					
	表 層	ポリマー改質アスファルト t= 5 cm	m2	2136.7		
	レベリング	再生密粒度アスコン (13) 平均t=4.9cm	m2	405.5		
アスファルト舗装工	(車道部)					
	路 床	再生クラッシャーラン (RC-40)	m3	17.3		手間
	再生クラッシャーラン (RC-40)		m3	20.8		材料 *1.2
	下層路盤	再生クラッシャーラン (RC-40) t=15cm	m2	157.3		
	上層路盤	粒度調整碎石 (RM-30) t=15cm	m2	114.6		
	上層路盤	瀝青安定処理材 (加熱混合) t= 9 cm	m2	114.6		
	基 層	再生粗粒度アスコン (20) t= 5 cm	m2	114.6		
	(歩道舗装一般部)					
	路 盤	再生クラッシャーラン (RC-30) t=10cm	m2	266.1		
	表 層	再生密粒度アスコン(13) t= 4 cm	m2	266.1		
	(車両乗入部Ⅰ種)					
	路 盤	再生クラッシャーラン (RC-30) t=15cm	m2	245.9		
	表 層	再生密粒度アスコン(13) t= 5 cm	m2	245.9		
	(仮舗装)					
	仮舗装	再生粗粒度アスコン (20) t= 5 cm	m2	125.4		

舗 装 工 数量計算書 (1)

種別(規格)	算式	数量	算式	数量
路面切削工 路面切削 平均t=7.8cm	当初		変更	
	切削工平面図より	m2		
	A= 1700.12 = 1700.12	m2		
		1700.12		
	V= 1700.12 × 0.078 = 132.61	m3		
		132.61		
	W= 132.61 × 2.35 = 311.63	t		
		311.63		
オーバーレイ工 (車道部) 表層 ポリマー改質アスファルト t=5cm	オーバーレイ 舗装工平面図より			
	A= 2032.58 + 27.53 + 27.70 + 27.53 + 21.35	m2		
		m2		
		2136.69		
レベリング 再生密粒度アスコン(13) 平均t=4.9cm	舗装工平面図より			
	A= 405.54	m2		
		m2		
		405.54		
アスファルト舗装工 (車道部) 路床 再生クラッシャーラン(RC-40)	車道舗装計算書より	m3		
	V= 17.27 = 17.27	m3		
		17.27		
下層路盤 再生クラッシャーラン(RC-40) t=15cm	車道舗装計算書より	m2		
	A= 157.34 = 157.34	m2		
		157.34		
上層路盤 粒度調整碎石(RM-30) t=15cm	車道舗装計算書より	m2		
	A= 114.62 = 114.62	m2		
		114.62		
上層路盤 瀝青安定処理材(加熱混合) t=9cm	車道舗装計算書より	m2		
	A= 114.62 = 114.62	m2		
		114.62		
基層 再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	車道舗装計算書より	m2		
	A= 114.62 = 114.62	m2		
		114.62		
アスファルト舗装工 (歩道舗装一般部) 路盤 再生クラッシャーラン (RC-30)t=10cm	舗装工平面図より			
	A= 16.89 + 47.77 + 5.81 + 12.59 + 54.48 + 55.29 + 13.70 + 44.70 + 14.83	m2		
		m2		
		266.06		
表層 再生密粒度アスコン(13) t=4cm	舗装工平面図より			
	A= 16.89 + 47.77 + 5.81 + 12.59 + 54.48 + 55.29 + 13.70 + 44.70 + 14.83	m2		
		m2		
		266.06		
アスファルト舗装工 (乗入部舗装Ⅰ種) 路盤 再生クラッシャーラン (RC-30)t=15cm	舗装工平面図より			
	A= 21.00 + 19.25 + 33.29 + 33.08 + 65.76 + 36.41 + 37.08	m2		
		m2		
		245.87		
表層 再生密粒度アスコン(13) t=5cm	舗装工平面図より			
	A= 21.00 + 19.25 + 33.29 + 33.08 + 65.76 + 36.41 + 37.08	m2		
		m2		
		245.87		
仮舗装工 (側溝工復旧) 基層 再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	舗装工平面図(仮舗装)より	m2		
	A= 61.56 + 63.80 = 125.36	m2		
		125.36		

数量計算書

舖 装 工 計 算 書

[illegible][illegible]

1現場の平均切削深さ $H=A_v/W \times 100=$ 7.8cm

	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8
切削断面			0.76	1.35	1.49	1.16	1.22
切削幅員			15.95	15.79	14.90	14.86	14.90

$A_v=1$ 現場の平均切削断面積 1.196

W=平均切削幅員 15.28

数量計算書

舗装工計算書									
オーバーレイ（表層） t=5cm									
測 点	距 離	当 初			測 点	距 離	変 更		
		断 面 長	平 均	体 積 面 積			断 面 長	平 均	体 積 面 積
No.1 +5.080 No.8 +15.000		舗装工平面図 図示							
				2032.58					
合 計				2,032.58 m2					
レベリング t=4.9cm									
測 点	距 離	当 初			測 点	距 離	変 更		
		断 面 長	平 均	体 積 面 積			断 面 長	平 均	体 積 面 積
No.1 +5.080 No.3		舗装工平面図 図示							
				405.54					
合 計				405.54 m2					

1現場の平均切削深さ
 $H=Av/W\times 100=$
4.9cm

	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8
切削断面	0.91	0.63					
切削幅員	15.95	15.77					

Av=1現場の平均切削断面積
0.77

W=平均切削幅員
15.86

数量計算書

舗装工計算書									
車道舗装(基層)t=5cm									
当初					変更				
測点	距離	断面長 断法	左側 平均	体積 体面積	測点	距離	断面長 断法	左側 平均	体積 体面積
No.1 +13.500									
No.2	6.500	0.50	0.500	3.25					
No.2 +14.000	14.000	0.50	0.500	7.00					
No.3 +6.400									
No.4	13.600	0.30	0.300	4.08					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
合計				42.68 ^{m2}					
測点	距離	断面長 断法	右側 平均	体積 体面積	測点	距離	断面長 断法	右側 平均	体積 体面積
No.1 +4.600									
No.1 +9.500	4.900	0.50	0.500	2.45					
No.1 +13.500	4.000	0.50	1.275	5.10					
No.2	6.500	2.05	2.050	13.33					
No.2 +3.500	3.500	2.05	2.050	7.18					
No.2 +7.500	4.000	2.05	1.275	5.10					
No.2 +14.000付近	10.000	0.50	0.500	5.00					
No.3 +1.900									
No.4	18.100	0.30	0.300	5.43					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
合計				71.94 ^{m2}					
左+右 合計				114.62 ^{m2}					

数量計算書

舗装工計算書									
車道舗装(上層路盤)t=9cm									
当初					変更				
測点	距離	断面 法長	左側 平均	体積 面積	測点	距離	断面 法長	左側 平均	体積 面積
No.1 +13.500									
No.2	6.500	0.50	0.500	3.25					
No.2 +14.000	14.000	0.50	0.500	7.00					
		0.50							
No.3 +6.400									
No.4	13.600	0.30	0.300	4.08					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
		0.30							
合計				42.68 ^{m2}					
測点	距離	断面 法長	右側 平均	体積 面積	測点	距離	断面 法長	右側 平均	体積 面積
No.1 +4.600									
No.1 +9.500	4.900	0.50	0.500	2.45					
No.1 +13.500	4.000	0.50	1.275	5.10					
No.2	6.500	2.05	2.050	13.33					
No.2 +3.500	3.500	2.05	2.050	7.18					
No.2 +7.500	4.000	2.05	1.275	5.10					
No.2 +14.000付近	10.000	0.50	0.500	5.00					
		0.50							
No.3 +1.900									
No.4	18.100	0.30	0.300	5.43					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
		0.30							
合計				71.94 ^{m2}					
左+右 合計				114.62 ^{m2}					

数量計算書

舗装工計算書									
車道舗装(上層路盤)t=15cm									
当初					変更				
測点	距離	断面 法長	左側		測点	距離	断面 法長	左側	
			平均	体積 面積				平均	体積 面積
No.1 +13.500									
No.2	6.500	0.50	0.500	3.25					
No.2 +14.000	14.000	0.50	0.500	7.00					
		0.50							
No.3 +6.400									
No.4	13.600	0.30	0.300	4.08					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
		0.30							
合計				m ² 42.68					
測点	距離	断面 法長	右側		測点	距離	断面 法長	右側	
			平均	体積 面積				平均	体積 面積
No.1 +4.600									
No.1 +9.500	4.900	0.50	0.500	2.45					
No.1 +13.500	4.000	0.50	1.275	5.10					
No.2	6.500	2.05	2.050	13.33					
No.2 +3.500	3.500	2.05	2.050	7.18					
No.2 +7.500	4.000	2.05	1.275	5.10					
No.2 +14.000付近	10.000	0.50	0.500	5.00					
		0.50							
No.3 +1.900									
No.4	18.100	0.30	0.300	5.43					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
		0.30							
合計				m ² 71.94					
左+右 合計				m ² 114.62					

数 量 計 算 書

舗 装 工 計 算 書									
車道舗装(下層路盤)t=15cm									
当 初					変 更				
測 点	距 離	断 面 長	左側 平 均	体 積 面 積	測 点	距 離	断 面 長	左側 平 均	体 積 面 積
No.1 +13.500		1.30							
No.2	6.500	1.30	1.300	8.45					
No.2 +14.000	14.000	1.30	1.300	18.20					
No.3 +6.400		0.30							
No.4	13.600	0.30	0.300	4.08					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
合 計				m ² 59.08					
測 点	距 離	断 面 長	右側 平 均	体 積 面 積	測 点	距 離	断 面 長	右側 平 均	体 積 面 積
No.1 +4.600		1.30							
No.1 +9.500	4.900	1.30	1.300	6.37					
No.1 +13.500	4.000	2.85	2.075	8.30					
No.2	6.500	2.85	2.850	18.53					
No.2 +3.500	3.500	2.85	2.850	9.98					
No.2 +7.500	4.000	1.30	2.075	8.30					
No.2 +14.000付近	10.000	1.30	1.300	13.00					
No.3 +1.900		0.30							
No.4	18.100	0.30	0.300	5.43					
No.4 +15.000	15.000	0.30	0.300	4.50					
No.5	5.000	0.30	0.300	1.50					
No.6	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.7	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8	20.000	0.30	0.300	6.00					
No.8 +14.500	14.500	0.30	0.300	4.35					
合 計				m ² 98.26					
左+右 合計				m ² 157.34					

数 量 計 算 書

舗 装 工 計 算 書									
車道舗装(路床)									
当 初					変 更				
測 点	距 離	左側			測 点	距 離	左側		
		断 面	平 均	体 積			断 面	平 均	体 積
No.3 +6.400		0.05							
No.4	13.600	0.05	0.050	0.68					
No.4 +15.000	15.000	0.05	0.050	0.75					
No.5	5.000	0.05	0.050	0.25					
No.6	20.000	0.05	0.085	1.70					
		0.12							
No.7	20.000	0.12	0.120	2.40					
		0.12							
No.8	20.000	0.12	0.120	2.40					
		0.12							
No.8 +14.500	14.500	0.12	0.120	1.74					
合 計				m ³ 9.92					
測 点	距 離	右側			測 点	距 離	右側		
		断 面	平 均	体 積			断 面	平 均	体 積
No.3 +1.900		0.05							
No.4	18.100	0.05	0.050	0.91					
No.4 +15.000	15.000	0.05	0.050	0.75					
No.5	5.000	0.05	0.050	0.25					
No.6	20.000	0.05	0.050	1.00					
No.7	20.000	0.05	0.050	1.00					
No.8	20.000	0.05	0.085	1.70					
No.8 +14.500	14.500	0.12	0.120	1.74					
		0.12							
合 計				m ³ 7.35					
左+右 合計				m ³ 17.27					

§ 4. 排水構造物工

排水構造物工 数量集計表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量		摘 要
				当 初	変 更	
作業土工						
	床掘り	土砂	m3	94.1		
	埋戻し	最大埋戻幅 1m未満	m3	43.1		
	基面整正		m2	179.4		
側溝工						
	L型側溝A		m	50.7		
	L型側溝B		m	11.2		
	管渠型側溝	手間	m	115.5		
	管渠型側溝	材料	式	1		
	管渠型側溝	材料 300*300*2000	個	56		
	自由勾配側溝	手間	m	98.1		
	自由勾配側溝	材料	式	1		
	自由勾配側溝	材料 300*600*2000	個	49		
	透水Co蓋	材料 300用	枚	42		
	グレーチング蓋	材料 300用 細目 T-25	枚	7		
	蓋版	40≧重量	枚	49		
	止水壁		箇所	2		
集水樹工						
	管渠型側溝 (管理樹)	手間	基	5		
	管渠型側溝 (管理樹)	材料	式	1		
	管渠型側溝 (管理樹)	材料 300*1000 (GL蓋付)	個	5		
	L, R35号集水樹	手間	基	2		
	L, R35号集水樹	材料	式	1		
	L, R35号集水樹	材料 300*600*1000 110° 開閉 細目 T-25	個	2		
管渠工						
	暗渠排水管		式	1		
	VPφ50 Co削孔	直管 77mm 以上90mm 未満	m 箇所	2.4 1		
	VPφ100 Co削孔	直管 110mm 以上128mm 未満	m 箇所	9.2 4		
	VPφ150 Co削孔	直管 160mm 以上180mm 未満	m 箇所	4.4 2		
	(内訳)					
	VPφ50 Co削孔	直管 77mm 以上90mm 未満	m 箇所	2.4 1		計画平面図
	VPφ100 Co削孔	直管 110mm 以上128mm 未満	m 箇所	2.4 1		〃
	VPφ100 Co削孔	直管 110mm 以上128mm 未満	m 箇所	2.3 1		〃
	VPφ100 Co削孔	直管 110mm 以上128mm 未満	m 箇所	2.4 1		〃
	VPφ100 Co削孔	直管 110mm 以上128mm 未満	m 箇所	2.1 1		〃
	VPφ150 Co削孔	直管 160mm 以上180mm 未満	m 箇所	2.3 1		〃
	VPφ150 Co削孔	直管 160mm 以上180mm 未満	m 箇所	2.1 1		〃

数量計算書

作 業 土 工 計 算 書

床掘り

[illegible]

数量計算書

作 業 土 工 計 算 書

埋戻し(最大埋戻幅 1m未満)

[illegible]

数量計算書

作 業 土 工 計 算 書

基面整正

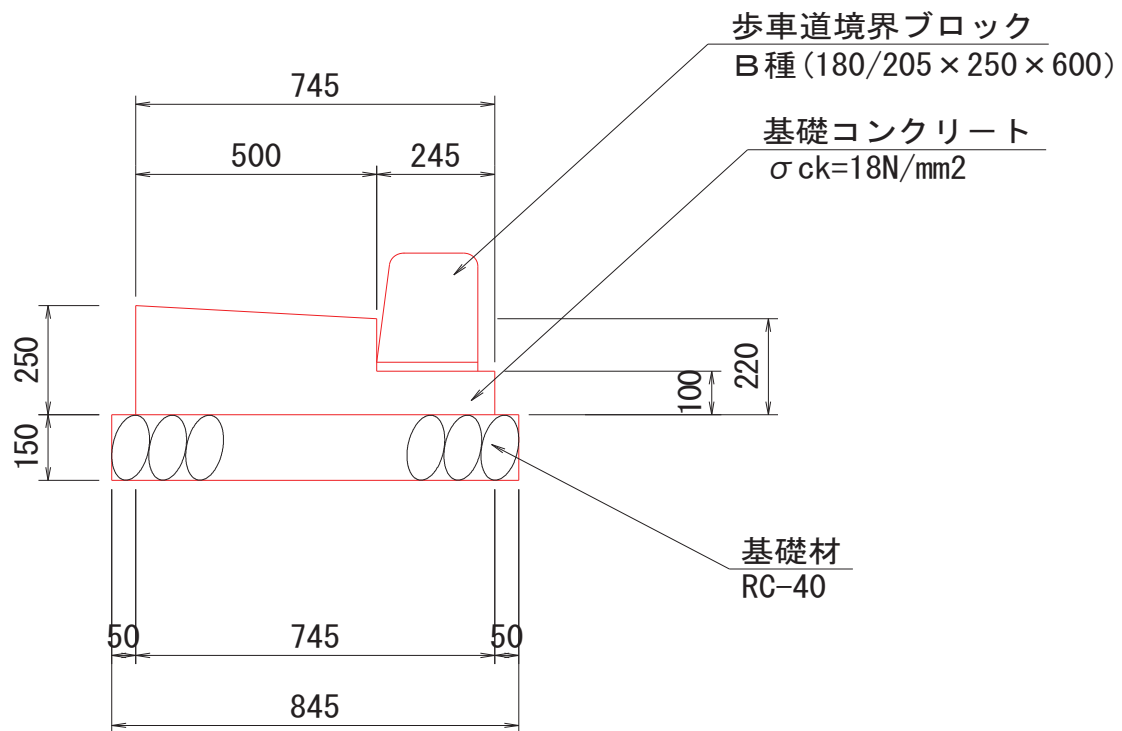
[illegible]

排水構造物工延長調書

当初				変更			
L型側溝A				標準 管理桝			
測 点	延 長	摘要					
No. 1 + 13.50 ～ No. 2 + 14.20	21.6	左					
No. 1 + 4.70 ～ No. 2 + 11.50	29.1	右					
合 計	50.7 m						
L型側溝B							
測 点	延 長	摘要					
No. 2 + 11.50 ～ No. 2 + 12.00	3.7	右					
No. 2 + 17.90 ～ No. 3 + 1.80	7.5	右					
合 計	11.2 m						
管渠型側溝				標準 管理桝			
測 点	延 長	摘要					
No. 3 + 6.30 ～ No. 5 + 3.44	36.0	左	L=2m L=1m 18個 1個				
No. 3 + 1.80 ～ No. 8 + 14.40	79.5	右	L=2m L=1m 38個 4個				
合 計	115.5 m		56個 5個				
自由勾配側溝				GL蓋設置 標準 標準			
測 点	延 長	摘要					
No. 5 + 4.30 ～ No. 8 + 14.30	70.1	左	L=2m L=2m 30個 5個				
No. 3 + 1.80 ～ No. 8 + 14.40	28.0	右	L=2m L=1m 12個 2個				
合 計	98.1 m		42個 7個				
止水壁							
測 点	箇所	摘要					
No. 3 + 6.40	1	左					
No. 3 + 1.90	1	右					
合 計	2 箇所						
L.R 35号集水桝							
測 点	箇所	摘要					
No. 5 + 3.80	1	左					
No. 7 + 6.20	1	右					
合 計	2 箇所						

L型側溝A 数量計算書

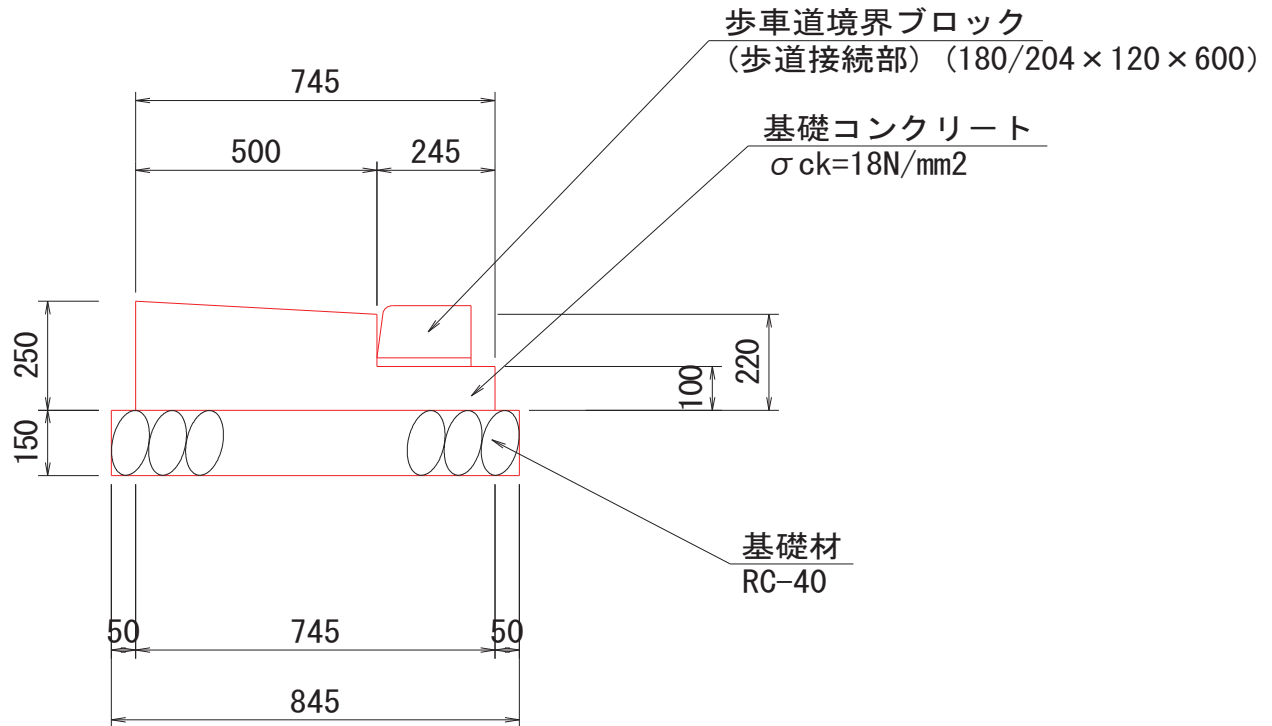
10m当り



種別(規格)	算 式	数 量
L型側溝A 180/205×250×600	L =	m 10.00
基礎コンクリート σ ck=18N/mm2	$V = (\frac{1}{2} \times (0.22 + 0.25) \times 0.50 + 0.10 \times 0.25) \times 10.00$	m3 1.42
型枠	$A = (0.10 + 0.25) \times 10.00$	m2 3.50
基礎材 (RC-40) t=15cm	$A = 0.845 \times 10.00$	m2 8.45

L型側溝B 数量計算書

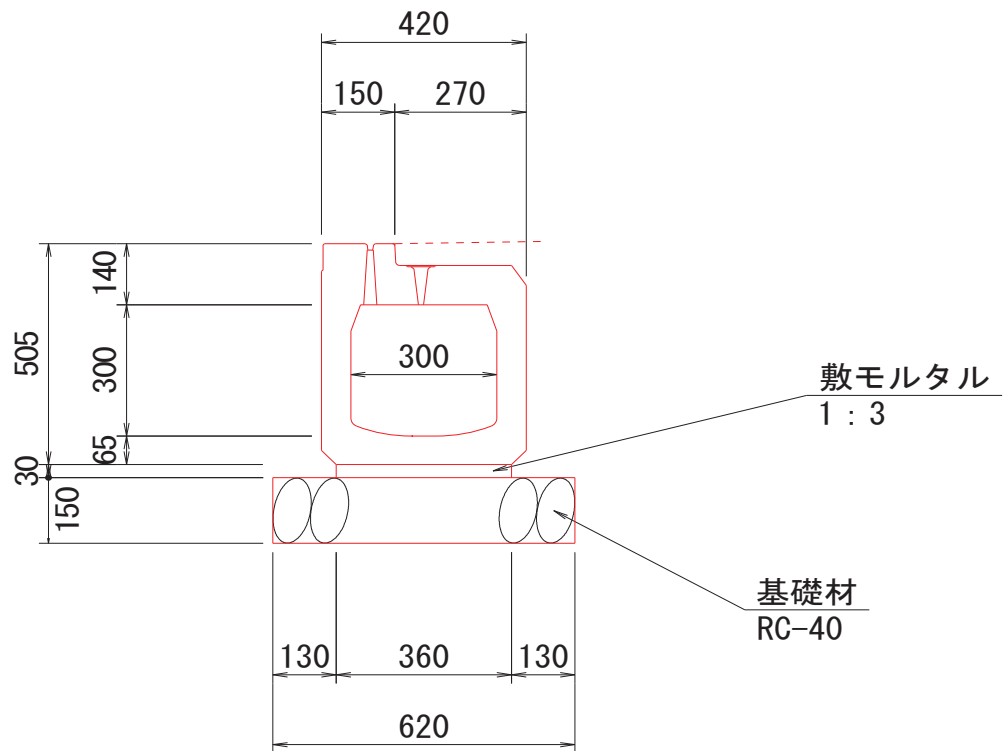
10m当り



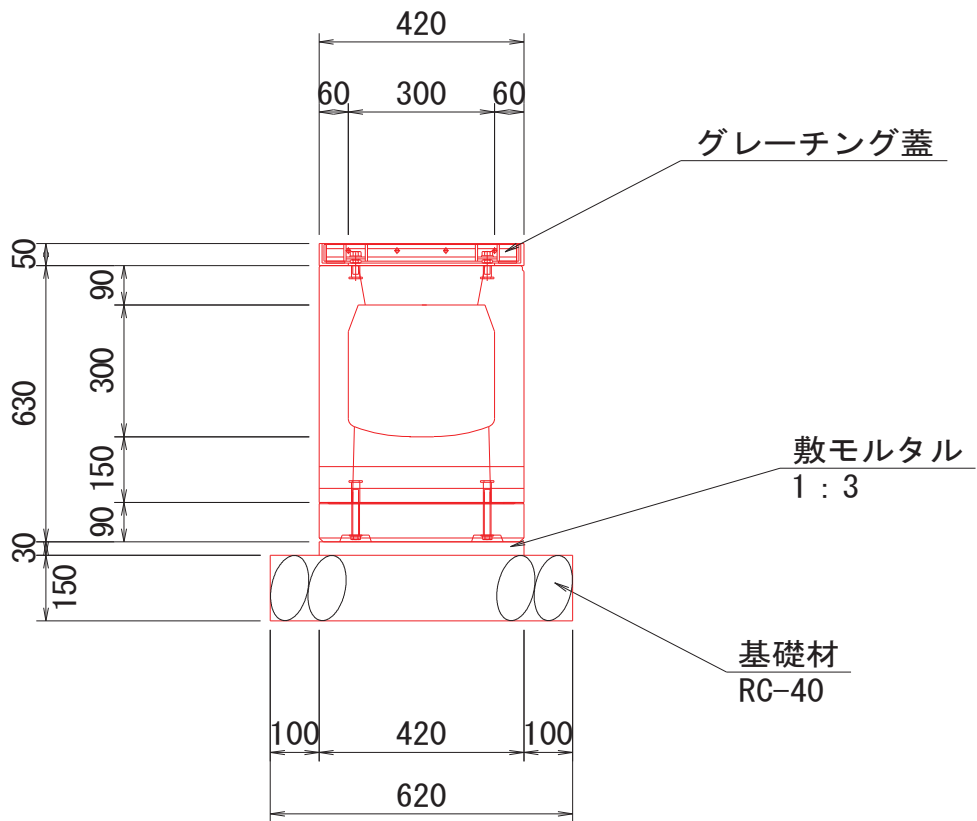
種別(規格)	算 式	数 量
L型側溝B 歩車道境界ブロック 180/204 × 120 × 600	L =	m 10.00
基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = (\frac{1}{2} \times (0.22 + 0.25) \times 0.50 + 0.10 \times 0.245) \times 10.00$	m ³ 1.42
型枠	A = (0.10 + 0.25) × 10.00	m ² 3.50
基礎材 (RC-40) t=15cm	A = 0.845 × 10.00	m ² 8.45

管渠型側溝 数量計算書

10m当り



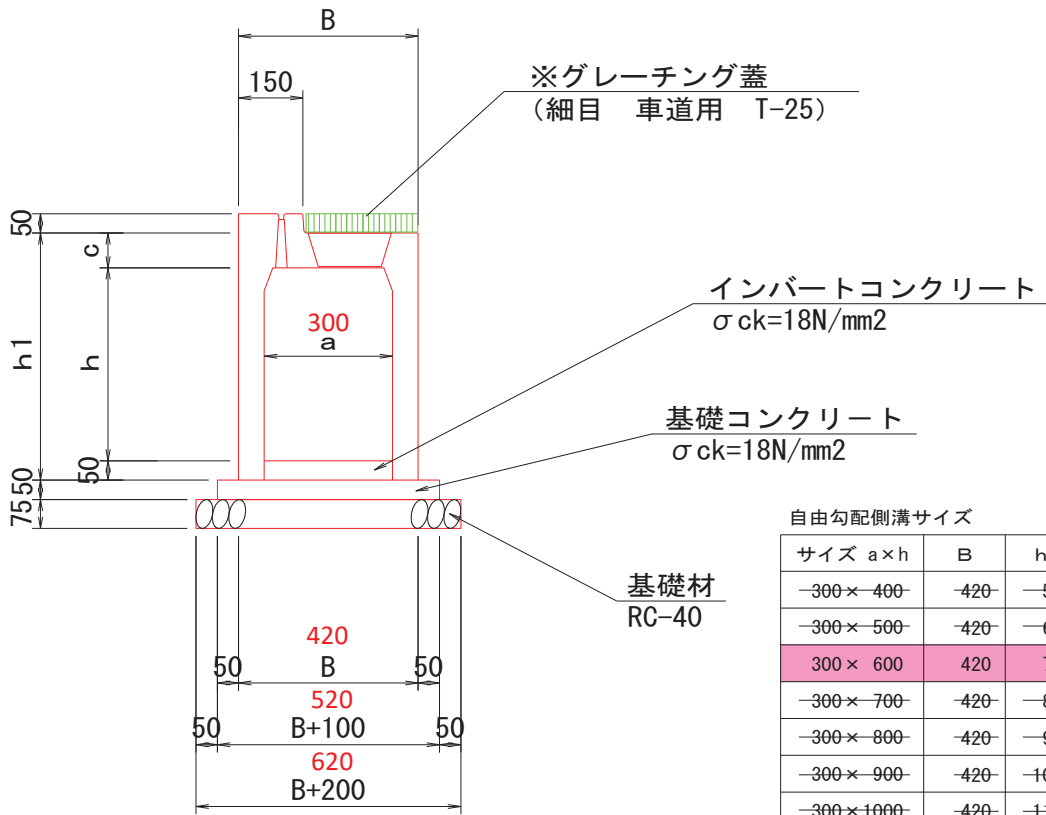
種別(規格)	算 式	数 量
管渠型側溝		
	$L =$	m
		10.00
敷モルタル (1:3)		
	$V = 0.36 \times 0.03 \times 10.00$	m3
		0.11
基礎材 RC-40,t=15cm		
	$A = 0.62 \times 10.00$	m2
		6.20



種別(規格)	算式	数量
管渠型側溝		
	$L =$	m
		1.00
敷モルタル (1:3)		
	$V = 0.42 \times 0.03 \times 1.00$	m3
		0.01
基礎材 RC-40,t=15cm		
	$A = 0.62 \times 1.00$	m2
		0.62

自由勾配側溝 数量計算書

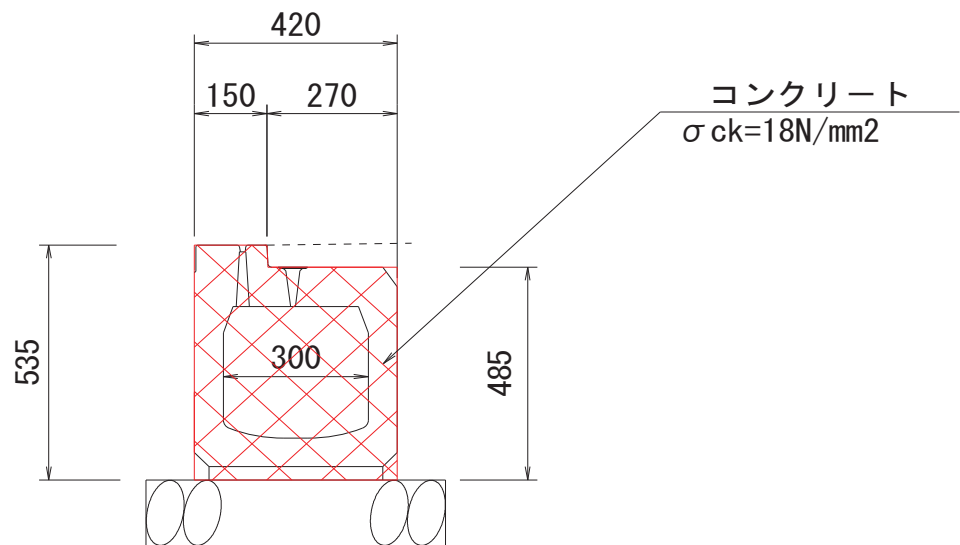
10m当り



種別(規格)	算 式	数 量
自由勾配側溝	L =	m 10.00
(インバート) 底部コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	V = 0.30 × 0.05 × 10.00	m3 0.15
基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	V = 0.52 × 0.05 × 10.00	m3 0.26
基礎材 RC-40,t=7.5cm	A = 0.62 × 10.00 V = 6.20 × 0.08	m2 6.20 m3 0.465

止水壁 数量計算書

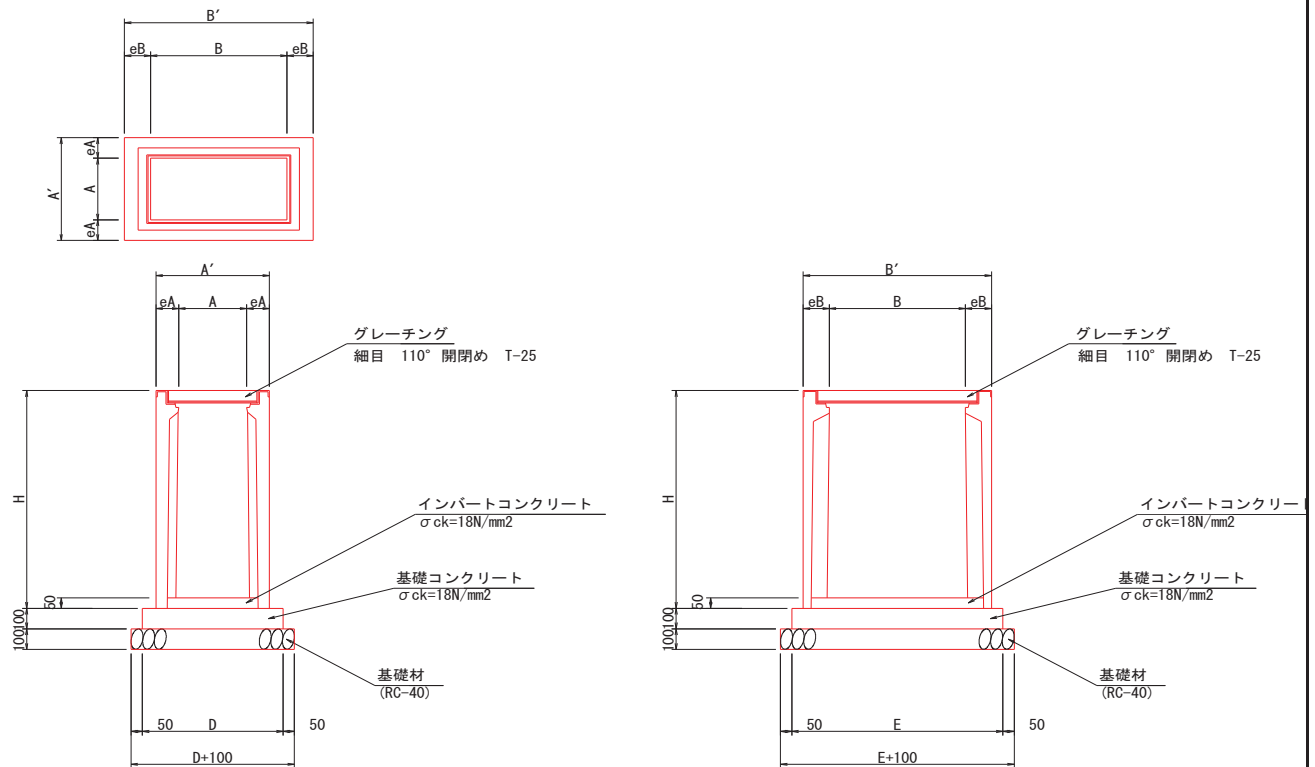
1箇所当り



種別(規格)	算 式	数 量
止水壁		箇所 1
コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$A = (0.15 \times 0.535) + (0.27 \times 0.485) = 0.21$ コンクリート厚 = 0.15 $V = 0.03$	m3 0.03
型枠	$A = (0.15 \times 0.535) + (0.27 \times 0.485) = 0.210$	m2 0.21

集水枳 数 量 計 算 書

1基当り



集水枳本体（左側）

集水枳	サイズ	A	A'	B	B'	H	eA	eB	足掛金具
L35号、R35号集水枳	300 × 600 × 1000	300	500	600	830	1060	100	115	—

種別(規格)	算 式	数 量
集水枳		箇所 1
(インバート) 底部コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = 0.30 \times 0.05 \times 0.60$	m3 0.01
基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$A = 0.62 \times 0.93 = 0.58$ コンクリート厚 = 0.10 $V = 0.06$	m3 0.06
型枠	$A = (0.10 \times 0.62) \times 2 + (0.10 \times 0.93) \times 2 = 0.310$	m2 0.31
基礎材 RC-40, t=7.5cm	$A = 0.72 \times 1.03$ $V = 0.74 \times 0.10$	m2 0.74 m3 0.07
蓋版		枚 1

§ 5. 縁 石 工

縁	石	工	数	量	集	計	表
---	---	---	---	---	---	---	---

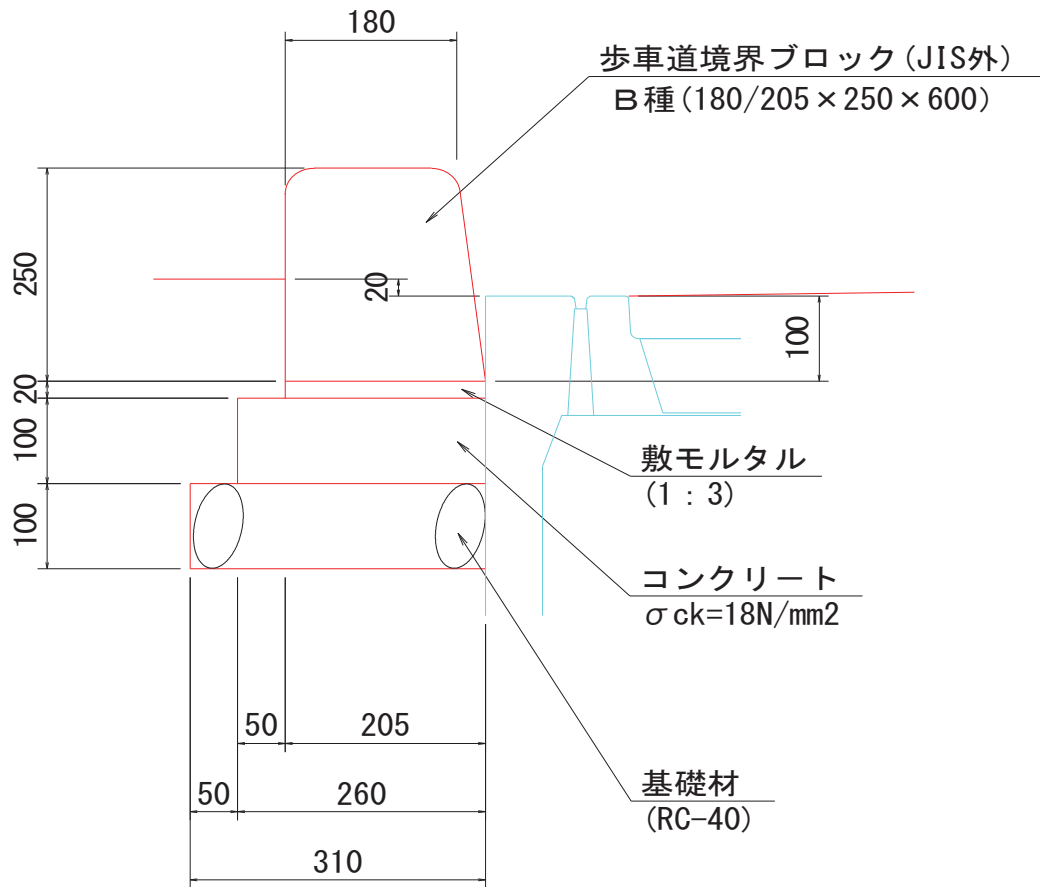
[illegible]

縁石工延長調書

当 初					変 更			
縁石工A			水抜き	端部				
測 点	延 長	摘要			測 点	延 長	摘要	
No. 3 + 6.20 ～ No. 3 + 16.10	8.1	左	1.2	0.6				
No. 4 + 2.10 ～ No. 5 + 7.30	20.4	左	3.6	0.6				
No. 5 + 12.70 ～ No. 5 + 16.90	3.0	左		0.6				
No. 6 + 7.10 ～ No. 6 + 14.90	6.0	左	0.6	0.6				
No. 7 + 5.10 ～ No. 8 + 11.90	22.0	左	3.6	0.6				
No. 3 + 1.80 ～ No. 4 + 10.40	23.8	右	3.6	0.6				
No. 5 + 6.40 ～ No. 5 + 15.40	7.2	右	0.6	0.6				
No. 6 + 7.40 ～ No. 7 + 13.70	21.5	右	3.6	0.6				
No. 8 + 5.70 ～ No. 8 + 11.90	4.4	右	0.6	0.6				
合 計	116.4 m		17.4m	10.2m				
縁石工B								
測 点	延 長	摘要			測 点	延 長	摘要	
No. 3 + 16.10 ～ No. 4 + 2.10	6.0	左						
No. 5 + 7.30 ～ No. 5 + 12.70	5.4	左						
No. 5 + 16.90 ～ No. 6 + 7.10	10.2	左						
No. 6 + 14.90 ～ No. 7 + 5.10	10.2	左						
No. 8 + 11.90 ～ No. 8 + 14.40	2.4	左						
No. 4 + 10.40 ～ No. 5 + 6.40	16.0	右						
No. 5 + 15.40 ～ No. 6 + 7.40	12.0	右						
No. 7 + 13.70 ～ No. 8 + 5.70	12.0	右						
No. 8 + 11.90 ～ No. 8 + 14.40	2.5	右						
合 計	76.7 m							0m
地先境界ブロックA								
測 点	延 長	摘要						
No. 3 + 7.40 ～ No. 3 + 15.50	8.1	左						
No. 4 + 2.70 ～ No. 5 + 6.70	24.0	左						
No. 5 + 13.30 ～ No. 5 + 16.30	3.0	左						
No. 6 + 7.70 ～ No. 6 + 14.30	6.6	左						
No. 7 + 5.70 ～ No. 8 + 14.40	28.7	左						
No. 2 + 18.20 ～ No. 4 + 9.80	27.0	右						
No. 5 + 7.00 ～ No. 5 + 14.80	7.8	右						
No. 6 + 8.00 ～ No. 7 + 13.10	25.1	右						
No. 8 + 6.30 ～ No. 8 + 14.40	5.0	右						
合 計	135.3 m							
地先境界ブロックB								
測 点	延 長	摘要			測 点	延 長	摘要	
No. 3 + 15.50 ～ No. 4 + 2.70	7.2	左						
No. 5 + 6.70 ～ No. 5 + 13.30	6.6	左						
No. 5 + 16.30 ～ No. 6 + 7.70	11.4	左						
No. 6 + 14.30 ～ No. 7 + 5.70	11.4	左						
No. 4 + 9.80 ～ No. 5 + 7.00	17.2	右						
No. 5 + 14.80 ～ No. 6 + 8.00	13.2	右						
No. 7 + 13.10 ～ No. 8 + 6.30	13.2	右						
合 計	80.2 m							

縁石工A(一般部) 数量計算書

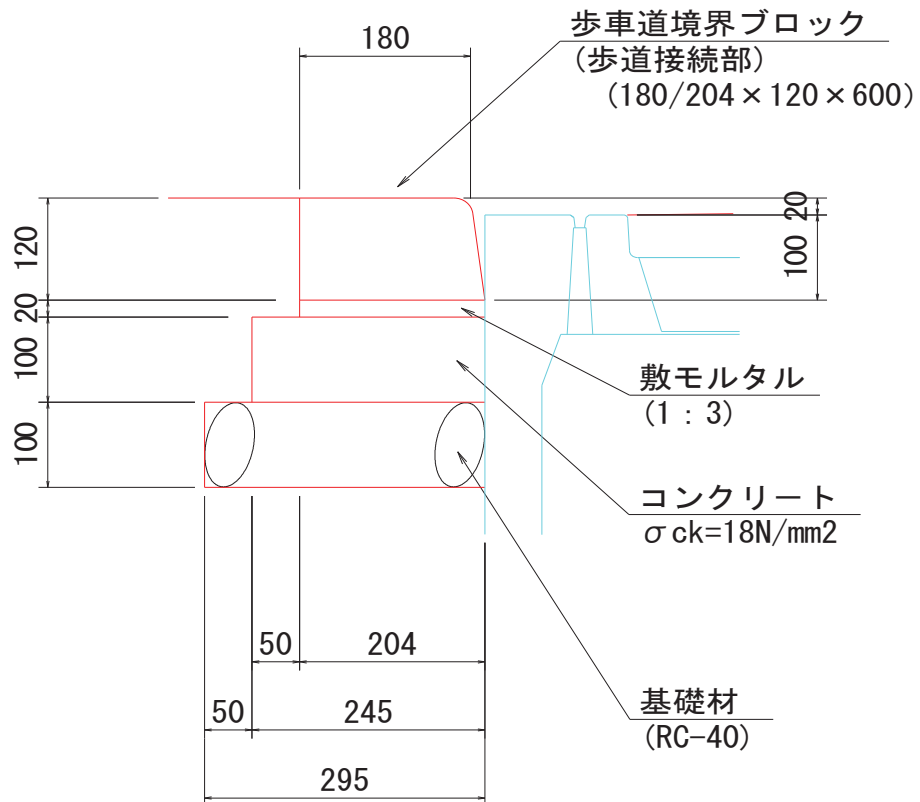
10m当り



種別(規格)	算 式	数 量
歩車道境界ブロック(JIS外) B種(180/230 × 250)	$L = 10.00$	m 10.00
敷モルタル (1:3)	$V = 0.205 \times 0.02 \times 10.00$	m ³ 0.04
基礎コンクリート ($\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$)	$V = 0.260 \times 0.10 \times 10.00$	m ³ 0.26
基礎型枠	$A = 0.10 \times 10.00$	m ² 1.00
基礎材 (RC-40)t=10cm	$A = 0.310 \times 10.00$	m ² 3.10

縁石工B(車両乗入部,歩道接続部) 数量計算書

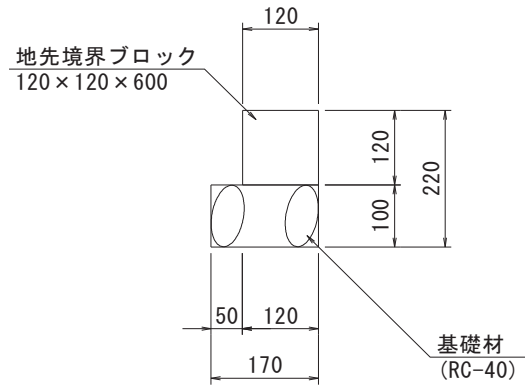
10m当り



種別(規格)	算 式	数 量
歩車道境界ブロック (車両乗入部,歩道接続部)	$L = 10.00$	m 10.00
敷モルタル (1:3)	$V = 0.204 \times 0.02 \times 10.00$	m ³ 0.04
基礎コンクリート ($\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$)	$V = 0.245 \times 0.10 \times 10.00$	m ³ 0.25
基礎型枠	$A = 0.10 \times 10.00$	m ² 1.00
基礎材 (RC-40)t=10cm	$A = 0.295 \times 10.00$	m ² 2.95

地先境界ブロックA 数量計算書

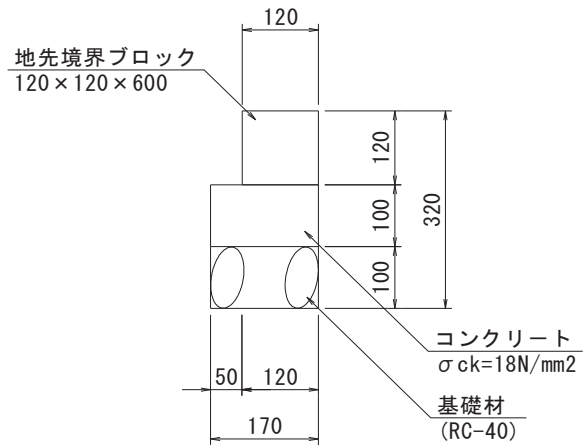
10m当り



種別(規格)	算 式	数 量
地先境界ブロック 120×120×600		
	L = 10.00	m
		10.00
基礎材 (RC-40)t=10cm		
	A = 0.17 × 10.00	m2
		1.70

地先境界ブロックB 数量計算書

10m当り



種別(規格)	算 式	数 量
地先境界ブロック 120×120×600	$L = 10.00$	m 10.00
基礎コンクリート ($\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$)	$V = 0.17 \times 0.10 \times 10.00$	m ³ 0.17
基礎型枠	$A = 0.10 \times 10.00 \times 2$	m ² 2.00
基礎材 (RC-40)t=10cm	$A = 0.17 \times 10.00$	m ² 1.70

§ 6. 区画線工

区画線工数量集計表

[illegible]

[illegible]

m
71.0

区画線工延長調書

溶融式区画線 白色・実線 W=15cm			溶融式区画線 白色・実線 W=20cm			溶融式区画線 白色・破線 W=15cm		
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 6 + 19.90 ～ No. 8 + 9.50	29.60	境界線 左	No. 1 + 5.10 ～ No. 8 + 11.90	146.90	中央線	No. 1 + 16.00 ～ No. 2 + 11.00	8.00	境界線 左
No. 6 + 19.90 ～ No. 8 + 9.50	29.60	境界線 左				No. 2 + 0.00 ～ No. 6 + 19.90	50.00	境界線 左
No. 3 + 1.80 ～ No. 8 + 11.90	111.20	外側線 左				No. 8 + 16.30 ～ No. 8 + 17.30	2.00	境界線 左
No. 1 + 5.50 ～ No. 2 + 15.50	30.00	境界線 右				No. 1 + 10.60 ～ No. 2 + 5.60	8.00	境界線 右
No. 1 + 5.50 ～ No. 2 + 15.50	30.00	境界線 右				No. 2 + 15.50 ～ No. 4 + 19.10	22.60	境界線 右
No. 3 + 1.80 ～ No. 8 + 11.90	110.10	外側線 右				No. 2 + 15.50 ～ No. 8 + 11.90	58.60	境界線 右
合 計	340.50 m		合 計	146.90 m		合 計	149.20 m	
溶融式区画線 白色・ゼブラ W=45cm								
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 8 + 11.90 ～ No. 8 + 14.90	48.00	横断歩道						
No. 8 + 9.90	8.50	停止線 左						
No. 8 + 17.30	1.50	停止線 左						
No. 1 + 5.10	8.50	停止線 右						
合 計	66.50 m		合 計		箇所	合 計		箇所
白色・矢印 直進(実線)			白色・矢印 直進左折(実線)			白色・矢印 左折(実線)		
測 点	箇所	摘要	測 点	箇所	摘要	測 点	箇所	摘要
No. 6 + 19.90 ～ No. 8 + 7.40	2.00	左	No. 6 + 19.90 ～ No. 8 + 7.40	2.00	左	No. 1 + 7.10 ～ No. 1 + 12.10	2.00	右
合 計	2.00 箇所		合 計	2.00 箇所		合 計	2.00 箇所	
白色・矢印 右折(実線)			白色・矢印 左折(破線)			白色・矢印 右折(破線)		
測 点	箇所	摘要	測 点	箇所	摘要	測 点	箇所	摘要
No. 6 + 19.90 ～ No. 8 + 7.40	2.00	左	No. 3 + 2.10 ～ No. 4 + 19.10	4.00	右	No. 3 + 2.10 ～ No. 4 + 19.10	2.00	右
No. 1 + 7.10 ～ No. 1 + 12.10	1.00	右						
合 計	3.00 箇所		合 計	4.00 箇所		合 計	2.00 箇所	

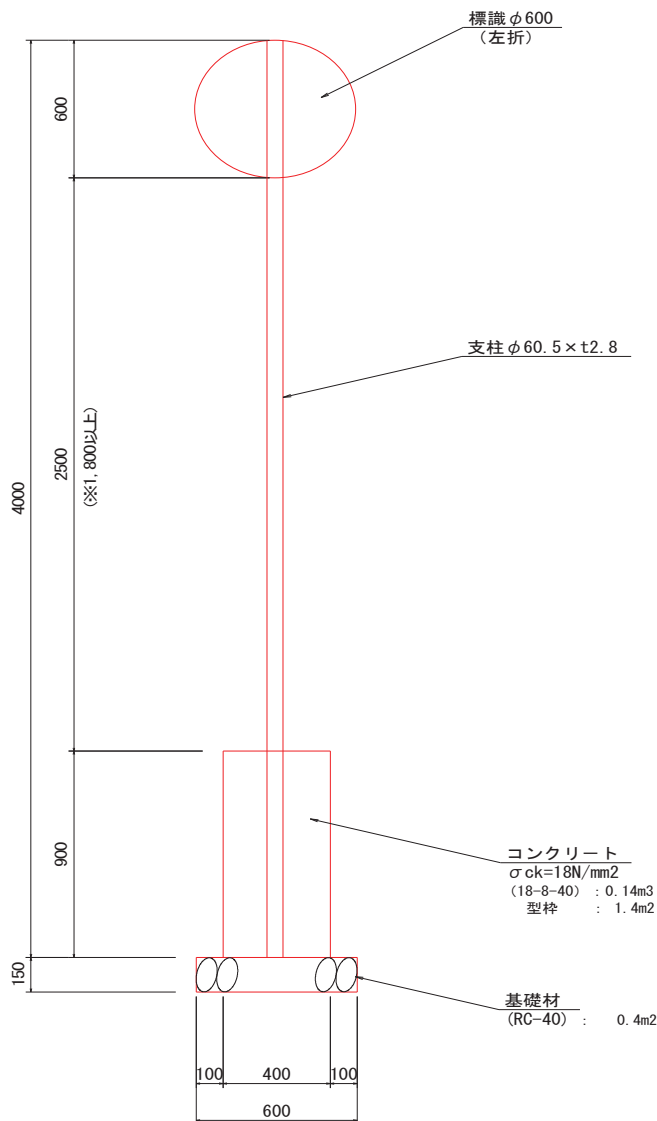
§ 7. 標 識 工

標識工延長調書

左折標識(単柱式)			左折標識(電柱取付部)					
測 点	個 数	摘要	測 点	個 数	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 2 + 12.00	1.00	右	No. 3 + 2.80	1.00	左			
合 計	1.00 基		合 計	1.00 枚		合 計	0.00 m	
測 点	個 数	摘要	測 点	個 数	摘要	測 点	延 長	摘要
合 計	0.00 枚		合 計	0.00 枚		合 計	0.00 m	
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
合 計	0.00 m		合 計	0.00 m		合 計	0.00 m	

左折標識(単柱式) 数 量 計 算 書

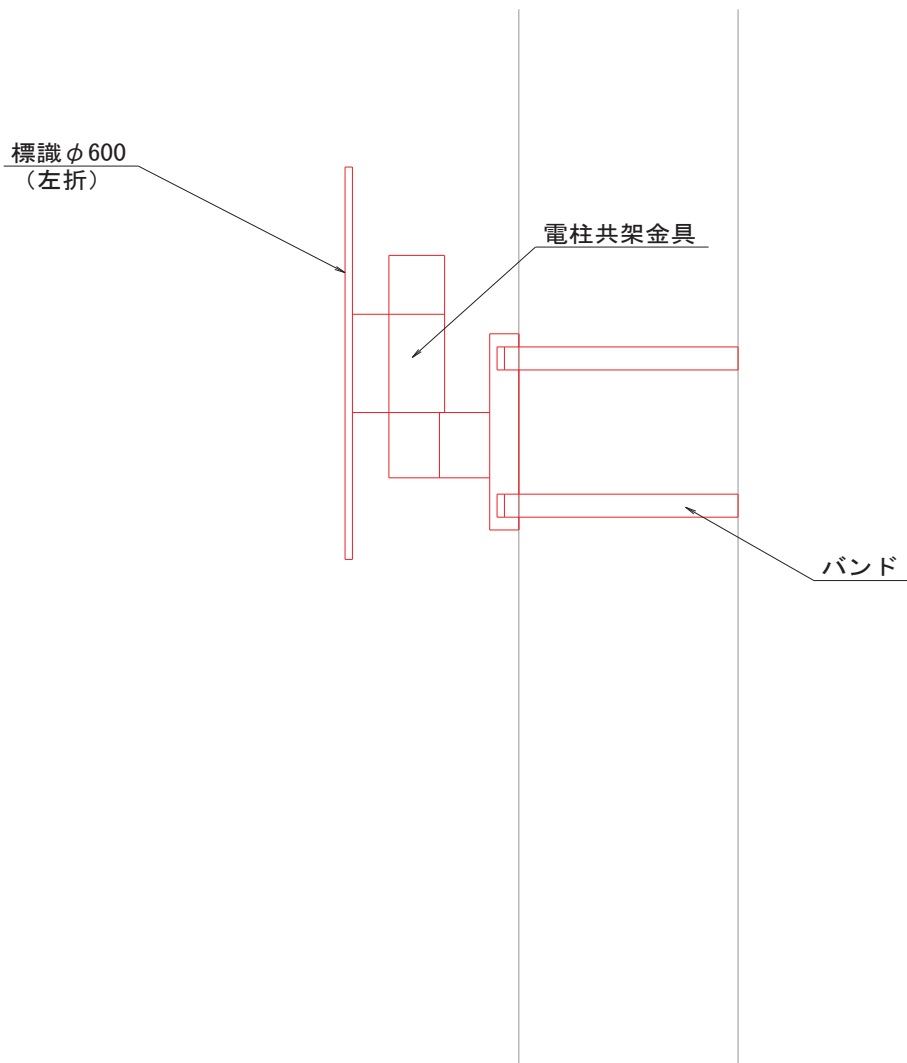
1基当り



種別(規格)	算 式	数 量
標識 φ 600(左折)		
	N = 1	
		枚
		1
支柱 φ 60.5×t2.8		
	N = 1	
		本
		1
コンクリート (σ ck=18N/mm2)		
	V = 0.40 × 0.40 × 0.90	m3
	- (0.03025*0.03025*3.14)	0.14
型枠		
	A = 0.40 × 0.90 × 4	m2
		1.4
基礎材 (RC-40)t=15cm		
	A = 0.60 × 0.60	m2
		0.4

左折標識(電柱取付部) 数 量 計 算 書

1箇所当り



種別(規格)	算 式	数 量
標識 φ 600(左折)		枚 1
	N = 1	
電柱共架金具		個 1
	N = 1	
バンド		個 1
	N = 1	

§ 8. 道路付属施設工

道 路 付 属 施 設 工 数 量 集 計 表

[illegible]

道路付属施設工延長調書

車線分離標			線状タイル			点状タイル		
図 2/20 測 点	個 数	摘要	図 15/20 測 点	個 数	摘要	図 15/20 測 点	個 数	摘要
No. 1 + 5.10 ～ No. 8 + 9.90	38		No. 2 + 13.00 ～ No. 2 + 16.10	9	左	No. 2 + 13.90 ～ No. 2 + 16.90	13	左
			No. 2 + 6.30 ～ No. 2 + 11.00	14	右	No. 3 + 3.30 ～ No. 3 + 5.10	9	左
						No. 8 + 11.90 ～ No. 8 + 14.90	10	左
						No. 2 + 7.80 ～ No. 2 + 11.80	11	右
						No. 2 + 17.60 ～ No. 2 + 18.80	7	右
						No. 8 + 11.90 ～ No. 8 + 14.90	10	右
合 計	38 本		合 計	23 枚		合 計	60 枚	
道路鋸								
図 1/20 測 点	個 数	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
No. 3 ～ No. 8 + 15.00	9	左						
No. 3 ～ No. 8 + 15.00	8	右						
合 計	17 個		合 計	m		合 計	m	
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
合 計	m		合 計	m		合 計	m	

§ 9. 構造物撤去工

構 造 物 撤 去 工 数 量 集 計 表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量		摘 要
				当 初	変 更	
防護柵撤去工						
	防護柵撤去	ガードレール	m	15.0		
	防護柵撤去	転落防止柵	m	73.0		
道路付属物撤去工						
	車線分離標		本	5.0		
構造物取壊し工						
	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m3	32.7		
	舗装版切断	アスファルト舗装版 t ≤ 15cm	m	383.5		
	舗装版破砕	アスファルト舗装版 t ≤ 15cm	m2	586.5		
						m3 15.8
						m3 28.6
排水構造物撤去工						
	蓋版撤去		式	1		再利用撤去 57 枚 撤去 65 枚
		グレーチング蓋 500×900×100	枚	8		返却
		グレーチング蓋 1000×450×50	枚	4		返却
		グレーチング蓋 1000×700×50	枚	2		返却
		Co蓋 500×700×100 (1枚/0.035 m3)	枚	4	鉄筋 3.3	m3 0.140
		Co蓋 500×900×150 (1枚/0.0675 m3)	枚	32		m3 2.160
		Co蓋 600×450×100 (1枚/0.027 m3)	枚	13		m3 0.351
		Co蓋 600×700×100 (1枚/0.042 m3)	枚	8		m3 0.336
		Co蓋 700×600×100 (1枚/0.042 m3)	枚	8		m3 0.336
		縞鋼板 750×420×5	枚	1		返却
		縞鋼板 900×600×5	枚	22		返却
		縞鋼板 1250×420×5	枚	10		返却
		縞鋼板 1300×600×5	枚	1		返却
		縞鋼板 1350×420×5	枚	6		返却
		縞鋼板 1500×750×10	枚	2		返却
		縞鋼板 1850×650×5	枚	1		返却
運搬処理工						
	殻運搬処理	L= km	m3	44.4		(歩道部+車道部)
		アスファルト (歩道部) L= km	m3	15.8		2.2 t/m3 W= 34.8 t
		アスファルト (車道部) L= km	m3	28.6		2.35 t/m3 W= 67.1 t
		コンクリート(無筋構造物) L= km	m3	32.7		2.35 t/m3 W= 76.8 t
		コンクリート(鉄筋構造物) L= km	m3	3.3		2.5 t/m3 W= 8.3 t

構造物撤去工延長調書

ガードレール			転落防止柵			車線分離標		
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	個 数	摘要
No. 1 + 4.60 ～ No. 2	15.00	右	No. 6 + 7.20 ～ No. 8 + 14.40	39.00	左	No. 1 + 3.60 ～ No. 2 + 5.60	5.00	
			No. 3 + 1.90 ～ No. 4 + 9.70	28.00	右			
			No. 5 + 6.60 ～ No. 5 + 12.70	6.00	右			
合 計	15.00 m		合 計	73.00 m		合 計	5.00 本	
測 点	個 数	摘要	測 点	個 数	摘要	測 点	延 長	摘要
合 計	本		合 計	本		合 計	m	
測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要	測 点	延 長	摘要
合 計	m		合 計	m		合 計	m	

[illegible]

32.69

83.50

86.50

$$\Sigma A = 396.01 + 190.49 = 586.50 \text{ m}^2$$

数量計算書

構造物撤去工 計 算 書

コンクリート構造物取壊し(無筋構造物)

[illegible]

数量計算書

構造物撤去工計算書

アスファルト舗装版破碎(t=15cm)

当 初					変 更				
測 点	距 離	左側			測 点	距 離	左側		
		断 面 長	平 均	体 積 積			断 面 長	平 均	体 積 積
No.1 +13.500	乗り場	撤去工平面図 図示							
No.2 +14.000				20.00					
No.3 +6.400	13.600	0.50							
No.4		0.50	0.500	6.80					
No.4 +15.000		1.50	1.000	15.00					
No.5	5.000	1.50	1.500	7.50					
No.6	20.000	0.50	1.000	20.00					
No.7	20.000	0.50	0.500	10.00					
No.8	20.000	0.50	0.500	10.00					
No.8 +14.500	14.500	0.50	0.500	7.25					
			小計	76.55					
合 計	108.100			m2 96.55					
測 点	距 離	右側			測 点	距 離	右側		
		断 面 長	平 均	体 積 積			断 面 長	平 均	体 積 積
No.1 +4.600	乗り場端部	撤去工平面図 図示							
No.1 +10.000				2.00					
No.2 +6.000	乗り場端部	撤去工平面図 図示							
No.2 +14.000付近				10.80					
No.2 +18.000付近	コーナー部	撤去工平面図 図示							
No.3 +1.900				12.50					
No.3 +1.900	18.100	1.40							
No.4		1.40	1.400	25.34					
No.4 +15.000		1.00	1.200	18.00					
No.5	5.000	0.40	0.700	3.50					
No.6	20.000	0.10	0.250	5.00					
No.7	20.000	0.30	0.200	4.00					
No.8	20.000	0.40	0.350	7.00					
No.8 +14.500	14.500	0.40	0.400	5.80					
			小計	68.64					
合 計	112.600			m2 93.9					
左+右 合計				m2 190.49					

数量計算書

構造物撤去工計算書

アスファルト舗装版破碎(t=4cm)

当 初					変 更				
測 点	距 離	左側			測 点	距 離	左側		
		断 面 長	平 均	体 積 面			断 面 長	平 均	体 積 面
No.1 +13.500	停留場	撤去工平面図 図示							
No.2 +14.000				14.10					
No.3 +6.400		1.60							
No.4	13.600	1.60	1.600	21.76					
No.4 +15.000	15.000	0.60	1.100	16.50					
No.5	5.000	0.60	0.600	3.00					
No.6	20.000	1.50	1.050	21.00					
No.7	20.000	1.60	1.550	31.00					
No.8	20.000	1.50	1.550	31.00					
No.8 +14.500	14.500	1.50	1.500	21.75					
			小計	146.01					
合 計				m ² 160.11					
測 点	距 離	右側			測 点	距 離	右側		
		断 面 長	平 均	体 積 面			断 面 長	平 均	体 積 面
No.1 +13.500	停留場	撤去工平面図 図示							
No.2 +14.000				88.70					
No.2 +18.000		0.60							
No.3	2.000	0.60	0.600	1.20					
No.4	20.000	0.60	0.600	12.00					
No.4 +15.000	15.000	1.00	0.800	12.00					
No.5	5.000	1.50	1.250	6.25					
No.6	20.000	1.60	1.550	31.00					
No.7	20.000	1.60	1.600	32.00					
No.8	20.000	1.50	1.550	31.00					
No.8 +14.500	14.500	1.50	1.500	21.75					
			小計	147.20					
合 計				m ² 235.90					
左+右 合計				m ² 396.01					

数量計算書

構造物撤去工計算書

蓋版工(撤去)

整理表

番号	丁目	地番	蓋種類	サイズ				枚数
500×900×100								
17	一丁目	284-2	グレーチング	500	×	900	×	4枚
21	一丁目	283	グレーチング	500	×	900	×	4枚
								計 8枚
1000×450×50								
5	一丁目	252+253+254	グレーチング	1000	×	450	×	4枚
								計 4枚
1000×700×50								
4	一丁目	251	グレーチング	1000	×	700	×	1枚
15	一丁目	285	グレーチング	1000	×	700	×	1枚
								計 2枚
500×700×100								
9	一丁目	286	コンクリート	500	×	700	×	4枚
								計 4枚
500×900×150								
16	一丁目	284-2	コンクリート	500	×	900	×	12枚
18	一丁目	284-1	コンクリート	500	×	900	×	4枚
19	一丁目	284-1	コンクリート	500	×	900	×	5枚
20	一丁目	283	コンクリート	500	×	900	×	11枚
								計 32枚
600×450×100								
1	一丁目	250	コンクリート	600	×	450	×	13枚
								計 13枚
600×700×100								
14	一丁目	285	コンクリート	600	×	700	×	8枚
								計 8枚
700×600×100								
3	一丁目	251	コンクリート	700	×	600	×	8枚
								計 8枚
750×420×5								
7	一丁目	272-2	縞鋼板	750	×	420	×	1枚
								計 1枚
900×600×5								
10	一丁目	286	縞鋼板	900	×	600	×	15枚
11	一丁目	285	縞鋼板	900	×	600	×	7枚
								計 22枚
1250×420×5								
8	一丁目	272-2	縞鋼板	1250	×	420	×	10枚
								計 10枚
1300×600×5								
13	一丁目	285	縞鋼板	1300	×	600	×	1枚
								計 1枚
1350×420×5								
6	一丁目	272-2	縞鋼板	1350	×	420	×	6枚
								計 6枚
1500×750×10								
2	一丁目	250	縞鋼板	1500	×	750	×	2枚
								計 2枚
1850×600×5								
12	一丁目	285	縞鋼板	1850	×	600	×	1枚
								計 1枚

集計表

1	丁目	地番	蓋種類	サイズ				枚数
2	一丁目	250	コンクリート	600	×	450	×	13枚
3			縞鋼板	1500	×	750	×	2枚
4		251	コンクリート	700	×	600	×	8枚
5			グレーチング	1000	×	700	×	1枚
6		252+253+254	グレーチング	1000	×	450	×	4枚
7			縞鋼板	1350	×	420	×	5枚
8		272-2	縞鋼板	750	×	420	×	1枚
9			縞鋼板	1250	×	420	×	10枚
10			コンクリート	500	×	700	×	4枚
11		286	縞鋼板	900	×	600	×	15枚
12			縞鋼板	900	×	600	×	7枚
13			縞鋼板	1850	×	600	×	1枚
14			縞鋼板	1300	×	600	×	1枚
15		285	コンクリート	600	×	700	×	8枚
16			グレーチング	1000	×	700	×	1枚
17			コンクリート	500	×	900	×	12枚
18			グレーチング	500	×	900	×	4枚
19		284-2	コンクリート	500	×	900	×	150枚
20			コンクリート	500	×	900	×	150枚
21		284-1	コンクリート	500	×	900	×	150枚
22			コンクリート	500	×	900	×	11枚
		283	コンクリート	500	×	900	×	150枚
			グレーチング	500	×	900	×	4枚

§ 10. 信号等移設工

信号等移設工数量集計表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量		摘 要
				当 初	変 更	
道路付属物工			式	1		
	交通信号装置 (車両灯器)	両面 撤去	台	1		
	交通信号装置 (車両灯器)	両面 据付	台	1		
	交通信号装置 (歩行者灯器)	撤去	台	1		
	交通信号装置 (歩行者灯器)	据付	台	1		
	交通信号装置 (車両灯器)	両面 調整	台	1		
	交通信号装置 (歩行者灯器)	調整	台	1		
	車両感知装置	再利用なし 撤去	台	1		
	車両感知装置	再利用 撤去	台	1		
	車両感知装置	据付	台	2		
	車両感知装置	調整	台	2		
	通信ケーブル配線	30mm以下 撤去	径間	4		2×6C 2×12C
	通信ケーブル配線	30mm以下 設置	径間	5		2×6C
	通信ケーブル配線	40mm以下 設置	径間	1		2×20C
	端子函	再利用なし 撤去	個	2		
	端子函	再利用 撤去	個	1		
	端子函	設置	個	2		
	(内訳)					
	端子函	6T、再利用なし 撤去	個	1		
	端子函	8P、再利用なし 撤去	個	1		
	端子函	20T、再利用 撤去	個	1		
	端子函	8T 設置	個	1		
	端子函	20T 設置	個	1		

上記に関する、機器・材料については、本工事費 内訳表に記載のとおり

§ 11. 下水マンホール工
(附帯工事)

下水マンホール工 数量計算表

種別	細別	種目	設計数量	合計	数量	単位	規格
管路土工	管路掘削	機械	2	2.3	1.05	m	(1.80 × 1.80 − 0.82 × 0.82) × π / 4 × 0.104 × 5
					0.13	m	(2.00 × 2.00 − 0.82 × 0.82) × π / 4 × 0.05 × 1
					1.10	m	(2.00 × 2.00 − 0.94 × 0.94) × π / 4 × 0.45 × 1
	発生土処理	運搬	2	2.0	2.28	m³	
		受入	2	2.0	2.28	m	
	管路埋戻	埋戻 RM-30	1	1.03	0.82	m³	(1.80 × 1.80 − 0.94 × 0.94) × π / 4 × 0.089 × 5
		埋戻 RC-40			0.21	m	(2.00 × 2.00 − 0.94 × 0.94) × π / 4 × 0.085 × 1
		RM-30	1	0.98	0.98	m³	0.82 × 1.20
		RC-40	0.3	0.3	0.25	m³	0.21 × 1.20
組立マンホール工	1号マンホール	マンホール蓋	6	6	6	組	T-25 φ600 高機能 分流用
		調整リング	1	1	1	個	600×50
		調整リング	2	2	2	個	600×100
		調整リング	2	2	2	個	600×150
		斜壁ブロック	1	1	1	個	H=300
		高さ調整部材	6	6	6	組	
		無収縮モルタル	7	7	6.62	袋	(0.82 × 0.82 − 0.60 × 0.60) × π / 4 × 0.06 × 75 × 6
					0.00	袋	
		型枠	6	6	6	組	
		ブロック設置	1	1	1	組	
		蓋及び調整リング据付	5	5	5	組	
蓋据付	1	1	1	組			
既設構造物撤去工	既設人孔撤去	ブロック撤去	1	1	1	組	
		蓋及び調整リング撤去	6	6	6	組	
		構造物取壊し	0.1	0.09			
		般運搬処分	0.4	0.375	0.088	m³	(0.82 × 0.82 − 0.60 × 0.60) × π / 4 × 0.06 × 6
		0.375×2.3			0.103	m	(1.05 × 1.05 − 0.90 × 0.90) × π / 4 × 0.45 × 1
		=0.9 t			0.184	m³	(0.82 × 0.82 − 0.60 × 0.60) × π / 4 × 0.75 × 1
スクラップ	0.5	0.48	0.48	t	0.08 × 6		
舗装版撤去工	舗装版切断	As舗装	44	44	36.00	m	(1.80 + 1.80) × 2 × 5
					8.00	m	(2.00 + 2.00) × 2 × 1
	舗装版破砕	機械	17	17.0	13.56	m	(1.80 × 1.80 − 0.82 × 0.82 × π / 4) × 5
				3.47	m²	(2.00 × 2.00 − 0.82 × 0.82 × π / 4) × 1	
	般運搬処理	運搬	3	3.41	3.41	m	17.03 × 0.20
受入		8	8.01	8.01	t	3.41 × 2.35	
舗装復旧工	下層路盤	RC-40	2	2.5	2.45	m²	(2.00 × 2.00 − 0.94 × 0.94) × π / 4 × 1
						m²	
	上層路盤	路盤厚 t=15cm		0.5	0.47	m	2.45 × 1.27 × 0.15
		RM-30	12	11.7	9.25	m²	(1.80 × 1.80 − 0.94 × 0.94) × π / 4 × 5
					2.45	m²	(2.00 × 2.00 − 0.94 × 0.94) × π / 4 × 1
	上層路盤	路盤厚 t=15cm		2.2	2.23	m	11.70 × 1.27 × 0.15
		瀝青安定処理材	13	12.7	10.08	m²	(1.80 × 1.80 − 0.82 × 0.82) × π / 4 × 5
					2.61	m²	(2.00 × 2.00 − 0.82 × 0.82) × π / 4 × 1
					m³		
	基層	再生粗粒20	17	17.0	13.56	m	(1.80 × 1.80 − 0.82 × 0.82 × π / 4) × 5
					3.47	m²	(2.00 × 2.00 − 0.82 × 0.82 × π / 4) × 1
仮舗装	再生粗粒20	17	17.0	13.56	m	(1.80 × 1.80 − 0.82 × 0.82 × π / 4) × 5	
				3.47	m²	(2.00 × 2.00 − 0.82 × 0.82 × π / 4) × 1	